



神奈川県
平塚保健福祉事務所

平成26年度 (2014. 4~2015. 3)

平塚保健福祉事務所年報

目 次

ご利用にあたって	1
第1章 概要	
1 地域の概況	3
2 平塚保健福祉事務所の概況	8
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	
1 保健福祉サービス連携調整会議	10
2 保健師活動	10
3 栄養・食生活対策	15
4 歯科保健	20
5 母子保健	24
6 職域保健	28
7 認知症疾患対策	30
8 メンタルヘルス	33
9 エイズ対策	38
10 結核予防	41
11 感染症予防	45
12 難治性疾患対策	50
13 肝臓疾患対策事業	54
14 原爆被爆者援護	55
15 アスベスト（石綿）に関する相談	55
16 健康保持増進	56
17 受動喫煙防止対策	62
第3章 暮らしを支える福祉サービス	
1 地域福祉	63
2 介護保険	66
3 福祉の貸付	67
4 生活保護	68
5 特別障害者手当等の支給	72
6 女性保護、母子・父子福祉	73
7 児童福祉	74

第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり

1	湘南西地区保健医療福祉推進会議	75
2	湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進	76
3	地域医療連携の推進	77
4	高齢者保健福祉計画の推進	78
5	健康危機管理	79
6	救急医療対策の推進	79
7	人材育成	80
8	医務・薬務	82
9	献血	85
10	免許取扱事務	86
11	保健衛生等表彰	87
12	ネットワークづくり	88

第5章 健康で安心できる生活衛生対策

1	環境衛生営業施設等	91
2	生活環境施設	92
3	動物保護	94
4	毒物劇物、麻薬取扱施設等	94
5	食品衛生	96

資料

1	平塚保健福祉事務所の沿革等	101
2	人口	104
3	衛生統計	108
4	市町における健康診査実施状況	118
5	各種委員会委員	121
6	職員研究論文等一覧	129

《 凡 例 》

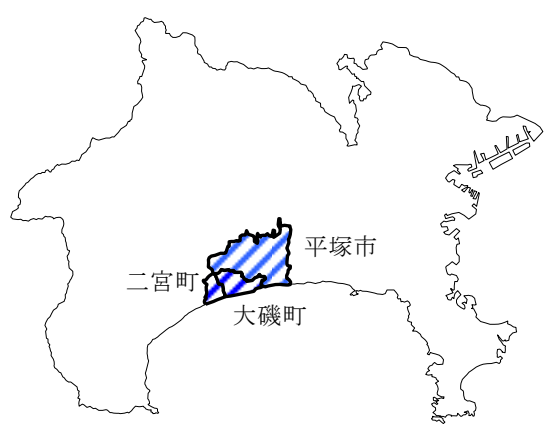
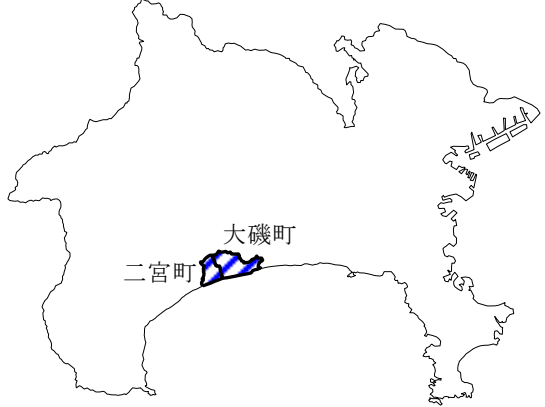
- ・本書は、平成26年度の数値を記載したものです。それ以外の数値の場合、表右上に時点を示しています。
- ・本書中の各項目の〈 〉内は、その業務の担当課を示しています。
- ・本書中で使用した一般的な記号の用途は次のとおりです。
「空欄」…計数のない場合
「 0 」 …小計、合計、総計、及び総数に計数のない場合
「 \ 」 …計数のあり得ない場合
「0.0」 …比率が微小(0.05未満)の場合
「※」, 「注」…注意及び特記事項

ご利用にあたって

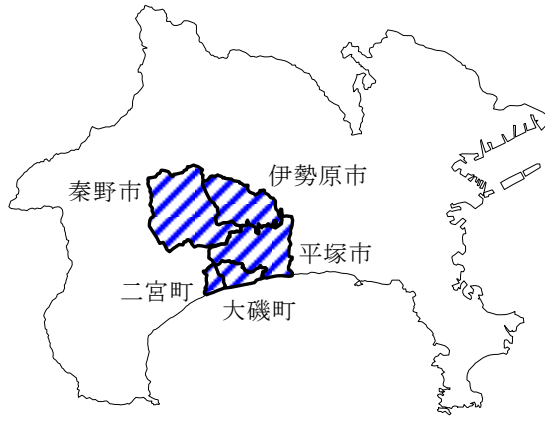
本年報は、平成26（2014）年度の平塚保健福祉事務所の事業内容を取りまとめたものです。当保健福祉事務所の所管区域（業務の対象とする市町）は、「保健所としての業務」及び「福祉に関する事務所としての業務」ごとに対象としている市町が異なっており、具体的には下記1の表のとおりです。

また、当保健福祉事務所が受け持っている「二次保健医療圏」等の区域（対象とする市町）は、下記2の表のとおりです。

1 平塚保健福祉事務所の所管区域

区 分		対象市町名	
平塚保健福祉事務所	「保健所」としての業務	平塚市 大磯町 二宮町	
	「福祉に関する事務所」としての業務	大磯町 二宮町	

2 二次保健医療圏等

湘南西部地区二次保健医療圏	平塚市	
湘南西部保健福祉圏域	秦野市	
湘南西部障害保健福祉圏域	伊勢原市	
	大磯町 二宮町	

3 各章に対応する地域及び市町一覧

区 分	湘南西部地区二次保健医療圏 湘南西部保健福祉圏域 湘南西部障害保健福祉圏域				
	平塚保健福祉事務所				
	「保健所」としての業務				
	「福祉に関する事務 所」としての業務				
	平塚市	大磯町	二宮町	秦野市	伊勢原市
第2章 生涯を通じた健康づくり対策	○	○	○	(○) 「6 職域保健」の対象	(○)
第3章 暮らしを支える福祉サービス					
1 地域福祉	○	○	○	○	○
2 介護保険	○	○	○	○	○
3 福祉の貸付	○	○	○		
4 生活保護		○	○		
5 特別障害者手当等の支給		○	○		
6 女性保護、母子・父子福祉		○	○		
7 児童福祉		○	○		
第4章 保健・医療・福祉の基盤づくり					
1 湘南西地区保健医療福祉推進会議	○	○	○	○	○
2 湘南西部地区地域保健医療推進指 針の推進	○	○	○	○	○
3 地域医療連携の推進	○	○	○		
4 高齢者保健福祉計画の推進	○	○	○	○	○
5 健康危機管理	○	○	○		
6 救急医療対策の推進	○	○	○		
7 人材育成	○	○	○	○	○
8 医務・薬務	○	○	○		
9 献血	○	○	○		
10 免許取扱事務	○	○	○		
11 保健衛生等表彰	○	○	○		
12 ネットワークづくり	○	○	○	○	○
第5章 健康で安心できる生活衛生対策	○	○	○		

*表中の数字は、目次と対応しています。

*○印は、各業務が対象としている市町を表しています。

第1章

概要

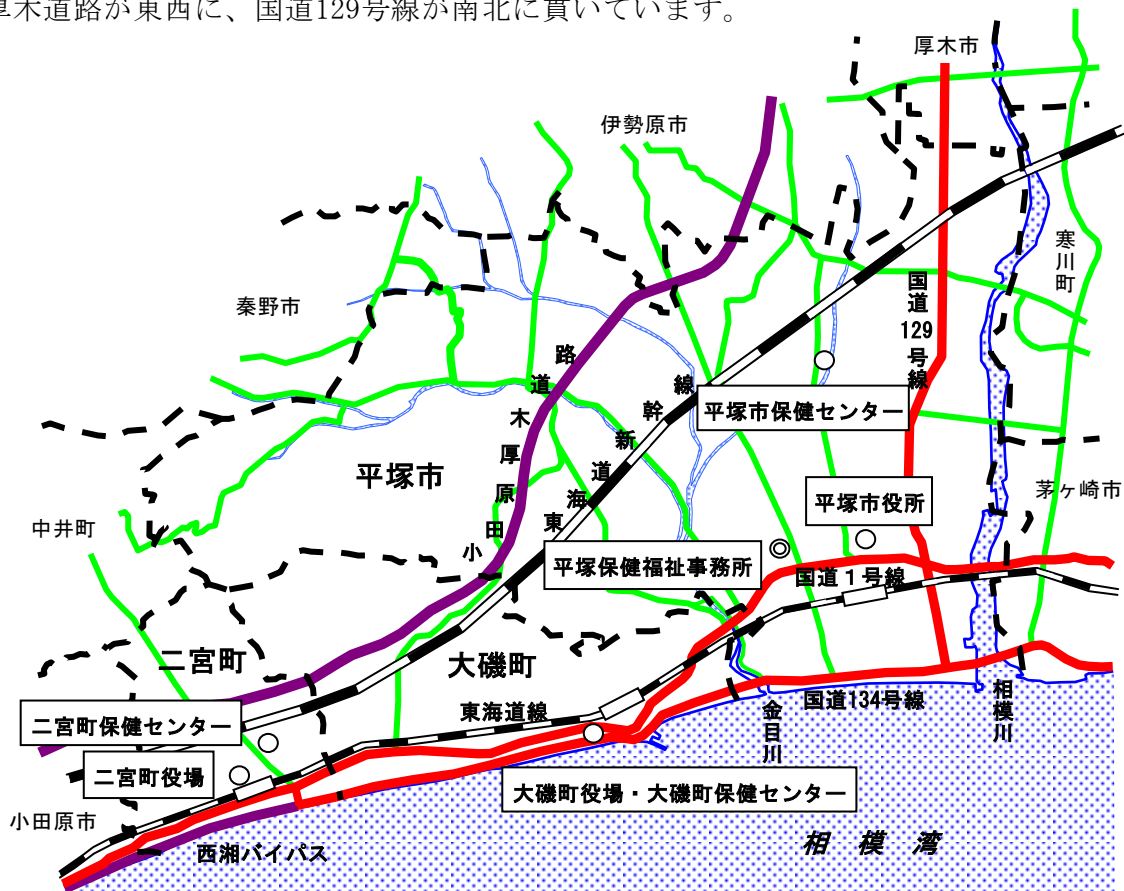
- 1 地域の概況
- 2 平塚保健福祉事務所の概況

1 地域の概況

当所の管轄区域は、平塚市、大磯町、二宮町の1市2町で、神奈川県南部のほぼ中央に位置しており、東は寒川町、茅ヶ崎市に、西は小田原市、中井町に、北は秦野市、伊勢原市、厚木市にそれぞれ境を接し、面積は94.08km²で、県の総面積の約4%を占めています。

地域の北西方向には丹沢・大山山麓が連なる一方、南は相模湾に面して湘南海岸が広がり、温和な気候と恵まれた自然にあふれた地域です。また、一級河川の相模川が地区の東側を流れるとともに、二級河川の金目川水系が地域のほぼ全域を流れており、平坦で肥沃な土地が続く、本県農業の中心となっている一方、産業、研究機関の集積も進んでいます。

交通は、JR東海道線が海岸線を東西に貫くとともに、国道1号線、134号線、小田原厚木道路が東西に、国道129号線が南北に貫いています。



管内保健福祉関係行政機関

名称	所在地	電話番号
平塚保健福祉事務所	〒254-0051 平塚市豊原町 6-21	(0463) 32-0130
平塚市役所	〒254-8686 平塚市浅間町 9-1	(0463) 23-1111
平塚市保健センター	〒254-0082 平塚市東豊田 448-3	(0463) 55-2111
大磯町役場	〒255-8555 大磯町東小磯 183	(0463) 61-4100
大磯町保健センター		
二宮町役場	〒259-0196 二宮町二宮 961	(0463) 71-3311
二宮町保健センター	〒259-0123 二宮町二宮 1410	(0463) 71-3311

(1) 人口及び世帯数等

ア 面積、人口、世帯数

(平成26年10月1日現在)

区 分	面 積 (km ²)	世帯数	人 口			人口密度 (人/km ²)	一世帯 当たり の人員	人 口 増加率 (26/25年)
			総 数	男	女			
平塚市	67.82	106,319	257,200	129,622	127,578	3,794	2.42	99.59
大磯町	17.18	12,820	32,439	15,821	16,618	1,885	2.53	99.82
二宮町	9.08	11,507	28,767	13,907	14,860	3,168	2.50	99.07
管内計	94.08	130,646	318,406	159,350	159,056	3,384	2.44	99.57
神奈川県	2,415.81	3,970,674	9,098,984	4,548,781	4,550,203	3,766	2.29	100.19

(県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。面積は「全国都道府県市区町村別面積調」より。)

※ 平塚市と大磯町の境界は未確定のため、参考値

イ 年齢階級（3区分）別人口と割合

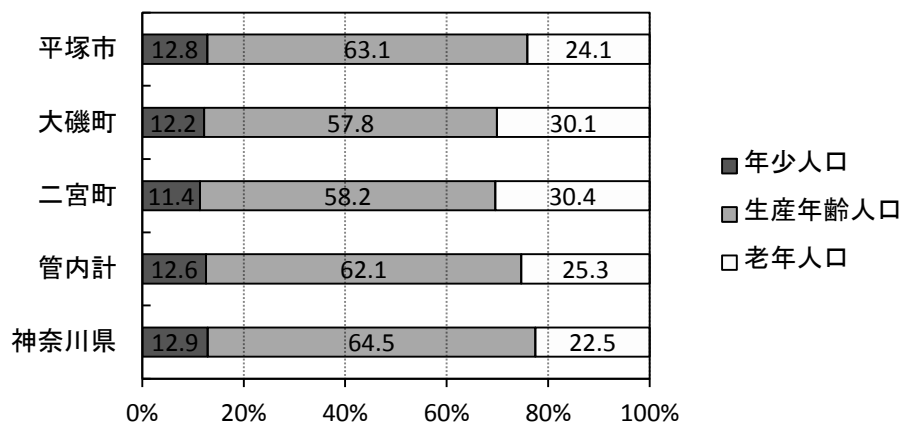
(平成26年1月1日現在)

区 分	総 数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢不詳
		0～14歳		15～64歳		65歳以上		
		人 数	率(%)	人 数	率(%)	人 数	率(%)	人 数
平塚市	258,076	33,027	12.8	162,667	63.1	62,292	24.1	90
大磯町	32,533	3,956	12.2	18,785	57.8	9,771	30.1	21
二宮町	28,918	3,287	11.4	16,818	58.2	8,789	30.4	24
管内計	319,527	40,270	12.6	198,270	62.1	80,852	25.3	135
神奈川県	9,083,839	1,168,050	12.9	5,827,503	64.5	2,036,058	22.5	52,228

(「神奈川県年齢別人口統計調査」より。)

※ 総数には年齢不詳を含んでいるが、年齢3区分構成比は年齢不詳を除いて算出している。

管内年齢階級（3区分）別人口割合



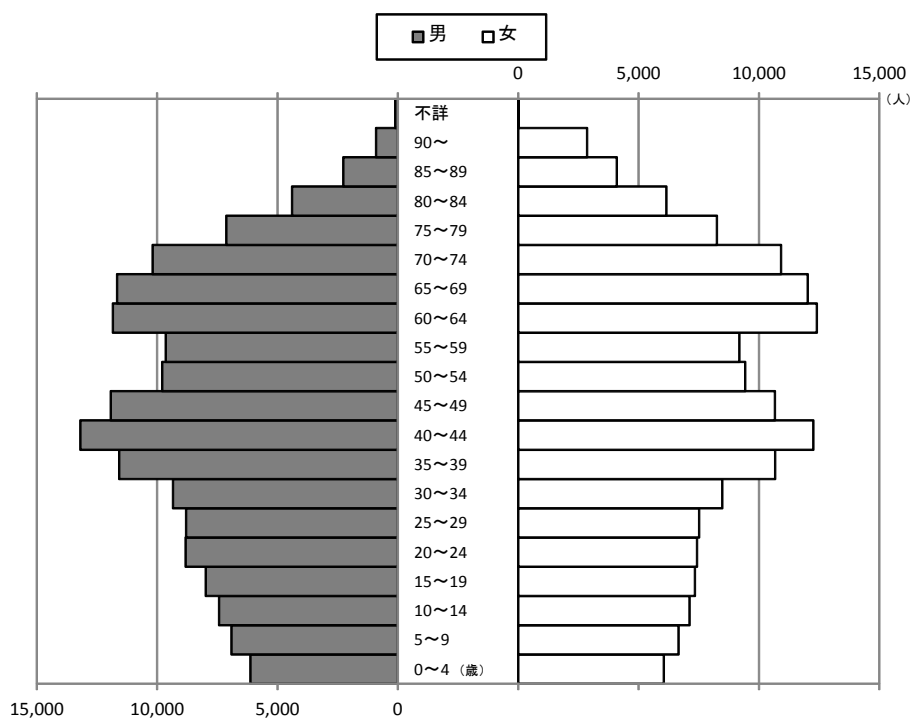
ウ 管内年齢階級別人口（5歳年齢区分）

（平成26年1月1日現在）

区分	平塚市			大磯町			二宮町			管内計		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	10,118	5,092	5,026	1,133	565	568	913	463	450	12,164	6,120	6,044
5～9	11,131	5,673	5,458	1,351	681	670	1,088	559	529	13,570	6,913	6,657
10～14	11,778	6,012	5,766	1,472	759	713	1,286	653	633	14,536	7,424	7,112
15～19	12,450	6,499	5,951	1,453	755	698	1,414	723	691	15,317	7,977	7,340
20～24	13,771	7,577	6,194	1,205	611	594	1,264	624	640	16,240	8,812	7,428
25～29	13,928	7,632	6,296	1,296	652	644	1,097	517	580	16,321	8,801	7,520
30～34	14,996	7,904	7,092	1,466	745	721	1,351	688	663	17,813	9,337	8,476
35～39	18,415	9,593	8,822	2,090	1,076	1,014	1,746	911	835	22,251	11,580	10,671
40～44	20,895	10,923	9,972	2,482	1,227	1,255	2,072	1,042	1,030	25,449	13,192	12,257
45～49	18,284	9,691	8,593	2,226	1,189	1,037	2,084	1,048	1,036	22,594	11,928	10,666
50～54	15,451	7,907	7,544	1,955	994	961	1,811	887	924	19,217	9,788	9,429
55～59	15,127	7,817	7,310	1,951	958	993	1,743	863	880	18,821	9,638	9,183
60～64	19,350	9,515	9,835	2,661	1,256	1,405	2,236	1,070	1,166	24,247	11,841	12,406
65～69	18,452	9,164	9,288	2,795	1,350	1,445	2,445	1,152	1,293	23,692	11,666	12,026
70～74	16,327	7,844	8,483	2,505	1,227	1,278	2,276	1,120	1,156	21,108	10,191	10,917
75～79	11,795	5,494	6,301	1,862	851	1,011	1,722	783	939	15,379	7,128	8,251
80～84	8,008	3,267	4,741	1,290	572	718	1,253	556	697	10,551	4,395	6,156
85～89	4,811	1,733	3,078	805	270	535	737	259	478	6,353	2,262	4,091
90～	2,899	707	2,192	514	116	398	356	84	272	3,769	907	2,862
不詳	90	79	11	21	15	6	24	14	10	135	108	27
総数	258,076	130,123	127,953	32,533	15,869	16,664	28,918	14,016	14,902	319,527	160,008	159,519

（「神奈川県年齢別人口統計調査」より。）

管内男女別人口ピラミッド



(2) 主な施設等

ア 医療関係

(平成27年3月末現在)

種類		市町	平塚市	大磯町	二宮町	管内計
医療施設等	病院		9	1		10
	一般診療所		187	20	21	228
	歯科診療所		133	17	20	170
	助産所		6	1	2	9
薬事施設	薬局		118	15	16	149
	医薬品販売業		62	5	5	72
施術所等	あん摩・はり・きゅう		369	49	63	481
	柔道整復		66	1	5	72
	歯科技工所		27	4	8	39

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

(平塚保健福祉事務所調べ。)

イ 保健福祉関係

(平成26年4月1日現在)

	区分	平塚市	大磯町	二宮町	管内計
居宅サービス	1 居宅支援	63	5	5	73
	2 訪問介護	54	4	8	66
	3 訪問入浴	6		2	8
	4 訪問看護	13	2	2	17
	5 通所介護	87	9	6	102
	6 通所リハ	5	1		6
	7 訪問リハ				0
	8 短期生活	11	2	1	14
	9 短期療養	9	1		10
	10 特定施設	16	2	4	22
	11 用具貸与	19	1	1	21
	12 用具販売	19	1	1	21
サービス施設	13 老福施設	10	2	1	13
	14 医療施設	4			4
	15 老健施設	5	1		6
合計		321	31	31	383

(平塚保健福祉事務所調べ。)

ウ 生活衛生関係

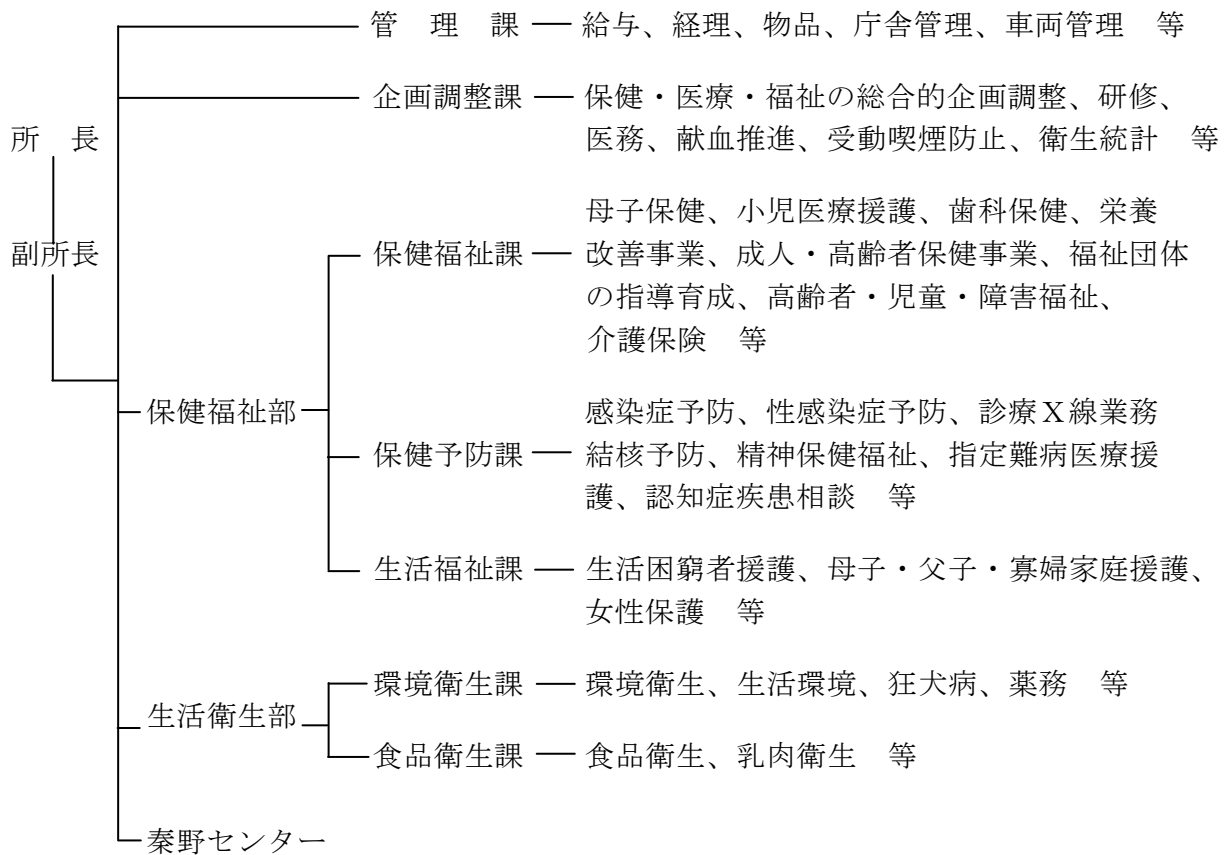
(平成27年3月末現在)

種類		市町			
		平塚市	大磯町	二宮町	管内計
環境衛生 営業施設	理容所	196	18	21	235
	美容所	346	32	39	417
	クリーニング所	183	15	21	219
	旅館	26	3	1	30
	興行場	6		1	7
	公衆浴場	17	5		22
主な食品 営業施設 (移動営業は除く)	飲食店営業	2,218	185	156	2,559
	菓子製造業	167	25	23	215
	乳類販売業	444	46	40	530
	魚介類販売業	244	41	29	314
	食肉販売業	224	30	27	281
	給食施設	101	13	11	125
	野菜果物販売業	188	32	26	246

2 平塚保健福祉事務所の概況

(1) 組織機構

(平成27年4月1日現在)



(2) 職員配置状況

(平成27年6月1日現在)

区分	一般事務	福祉	医師	歯科医師	歯科衛生士	診療放射線技師	栄養士	保健師	狂犬病予防員	衛生監視員	自動車運転員	小計	再任用職員	臨時的任用職員	非常勤職員	小計	市町村交流	合計
所長			1									1				0		1
副所長	1											1				0		1
部長								1		1		2				0		2
管理課	4										1	5			2	2		7
企画調整課	5							1				6	1		1	2		8
保健福祉課	6	1		1	1		2	3				14	2	2	1	5		19
保健予防課	2	2	1			1		5				11			5	5	1	17
生活福祉課		8										8		1	6	7		15
環境衛生課									1	4		5	1			1		6
食品衛生課										7		7	1			1	1	9
合計	18	11	2	1	1	1	2	10	1	12	1	60	5	3	15	23	2	85

(3) 収入・支出決算額

収 入		支 出	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
保健所費使用料	30,991	一 般 管 理 費	21,023,525
公衆衛生費手数料	4,023,710	財 産 管 理 費	2,054,710
環境衛生費手数料	9,543,460	社会福祉総務費	56,769,780
医薬費手数料	3,083,930	児童福祉総務費	348,523
保健所費立替収入	39,030	児 童 措 置 費	8,434,770
民生費雑入	16,178,148	母 子 福 祉 費	23,000
衛生費雑入	23,574	障害福祉総務費	15,272,537
		老人保健福祉総務費	432,798
		介護保険事業費	134,415
		生活保護総務費	14,738,616
		扶 助 費	426,839,893
		公衆衛生総務費	1,221,963
		予 防 費	3,630,718
		精神保健福祉費	2,976,450
		生活習慣病対策費	284,000
		衛生研究所費	17,280
		生活衛生指導費	671,200
		保 健 所 費	20,985,102
		医 務 費	906,296
		薬 務 費	127,000
		人権男女共同参画費	3,818,865
		大気水質保全費	11,000
		貸付事務費	6,000
合 計	32,922,843	合 計	580,728,441

第2章

生涯を通じた健康づくり対策

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 保健福祉サービス連携調整会議 | 11 感染症予防 |
| 2 保健師活動 | 12 難治性疾患対策 |
| 3 栄養・食生活対策 | 13 肝臓疾患対策事業 |
| 4 歯科保健 | 14 原爆被爆者援護 |
| 5 母子保健 | 15 アスベスト(石綿)に関する相談 |
| 6 職域保健 | 16 健康保持増進 |
| 7 認知症疾患対策 | 17 受動喫煙防止対策 |
| 8 メンタルヘルス | |
| 9 エイズ対策 | |
| 10 結核予防 | |

1 保健福祉サービス連携調整会議

＜保健福祉課＞＜保健予防課＞

各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、管内における関係機関・団体等で構成する各種協議会・委員会を総称するものです。各委員会では、それぞれの課題について検討し、業務の推進を図っています。

区 分	委員数	開催回数			担 当 課
		委員会	部会等	セミナー 研修会等	
継 続 看 護 連 絡 会	62	1	3	12	保 健 福 祉 課
難 病 委 員 会	22	1			保 健 予 防 課
母 子 保 健 委 員 会	25	1	1		保 健 福 祉 課
地 域 食 生 活 対 策 推 進 協 議 会	12	1	1		保 健 福 祉 課
地 域 精 神 保 健 福 祉 連 絡 協 議 会	20	1			保 健 予 防 課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	14	1	2		保 健 福 祉 課

※ 各委員会等の内容は、各事業の項に掲載します。

2 保健師活動

＜企画調整課＞＜保健福祉課＞＜保健予防課＞

保健福祉事務所と市町の保健師の連携強化、保健指導技術の向上を図るため、会議や研修会等を開催しました。保健福祉事務所と市町における保健師の業務に関する役割分担の明確化を図るとともに、相互の業務について一層の理解を深めるよう努め、連携の強化を図っています。

(1) 地域保健師業務連絡会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月6日	1 保健師活動指針を踏まえた地域における保健師活動の展開 2 新カリキュラムに対応した保健師実習 3 管内保健師研修会について 4 その他	平塚保健福祉事務所	29

(2) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
7月28日	管内保健師研修会※ 「働く保健師のための研修～元気に楽しく仕事を続けるコツ～」 ～新たな保健師活動指針を読み解き、日々の業務を見直してみよう～ 講師 神奈川県立保健福祉大学看護学科 教授 加納 佳代子	小 田 原 合 同 庁 舎	34
10月3日	管内保健師研修会※ 1 説明「神奈川県における保健所・市町村実習スタンダードモデルについて」 説明者 平塚保健福祉事務所企画調整課 主査 山岡 明美 2 講演「県域における保健師学生の新カリキュラム実習対応に向けて～実習現場での保健師学生の受入れ準備のポイント～」 講師 東海大学 健康科学部看護学科 准教授 山崎 恭子 3 グループワーク 「実習指導の実際をイメージし、受け入れ側の準備上の課題について」	小 田 原 合 同 庁 舎	38
1月7日	管内新任期保健師研修会 1 先輩保健師の話「仕事をしている中で、大切にしていること」 講師 平塚市健康課 主査 樹本 京子 平塚保健福祉事務所保健福祉課 技師 天方 佑美 2 グループワーク 「私は保健師〇年目、こんな仕事をしています」 3 まとめ	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	18
3月10日	管内保健師研修会※ 1「効果的な事例検討会をめざして ～問題解決力と実践力を高める～」 講師 保健師のための相談室なごみ 主宰 塚原 洋子 2「実践力アップ事例検討会」の手法を使った事例検討	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	29

※平塚・小田原保健福祉事務所、秦野・足柄上センター合同実施

(3) 家庭訪問

区 分	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生 活 習 慣 病		難 病	小児特定				そ の 他 疾 病	未 熟 児		妊 産 婦	そ の 他	合 計
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上			
訪 問 件 数	90	87	140	4	14	0	0	0	0	0	56	3	3	8	10	0	5	0	23	7	450
合 計	90	87	140	18					0		56	24				0	5		23	7	450

(訪問内容別再掲)

区 分	精 神 障 害			難 病 (特 定 疾 患)					介 護 保 険		児 童 虐 待	小 児 ア レ ル ギ ー 疾 患			高 齢 者 虐 待
	社 会 復 帰	老 人 性 認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 経 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	ア レ ル ギ ー の 疑 い そ の 他	
訪 問 件 数	0	20	3	1	0	0	55	0	0	0	52	0	0	0	0
合 計	23			56					0		52	0			0

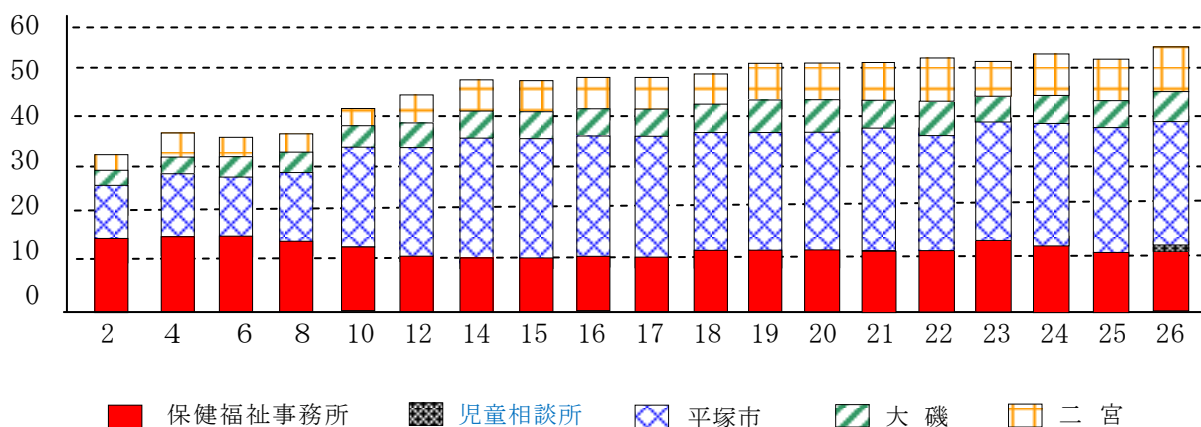
(4) 所内指導

区分	感染症	結核	精神障害	老人性認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康相談	その他	合計
面接	103	197	86	45		9		2778	186	2		4		2	1		468	2	9	3460
電話	1103	884	773	230	14	31	10	899	29	12	28	43	10	10	10	14	722	24	15	4170
文書・メール	20	34	2	14				5	12	1			1						1	90
合計	1226	1115	861	289	14	40	10	3682	227	15	28	47	11	12	11	14	1190	26	25	7720

(5) 管内保健師設置状況

区分	平塚保健福祉事務所				平塚 児童相談所	平塚市、大磯町、二宮町					合計
	部長	企画調整課	保健福祉課	保健予防課	子ども支援課	地域保健担当課	介護保険担当課	障がい福祉課	保険年金課	職員課等	
平塚保健福祉事務所	1	1	4	6							12
平塚児童相談所					1						1
平塚市						21	3	1	1	1	27
大磯町						6					6
二宮町						6				2	8
合計	1	1	4	6	1	33	3	1	1	3	54

管内内保健師数の推移



(6) 継続看護連絡会

看護が必要な住民に対し、継続的な看護が提供できるよう、医療機関と地域との連携を推進しました。また、在宅療養者の感染防止対策の地域連携に取り組みました。

ア 連絡会・部会・研修会等

月 日	議題及び内容	会 場	出席者数
連絡会 2月10日	1 感染防止対策における地域連携の取組みについて 2 災害時要援護者への対応について 3 医療と介護の連携の取組みについて	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	42
部会1回目 5月22日	1 感染症対策における現状について情報交換 2 今年度の活動内容と課題について		8
部会2回目 12月19日	1 平成26年度の活動内容と課題について 2 平成27年度の活動計画について 3 感染症対策における現状についての情報交換 4 継続看護連絡会の内容について		8
部会3回目 3月18日	1 平成26年度インフルエンザ・感染性胃腸炎の報告状況について 2 平成27年度の活動計画について		8
研修会 6月20日	在宅療養者の防災対策 ～要援護者の支援を学ぶ～ ・平塚市社会福祉協議会・平塚市港地区福祉村・ 太洋中学校からの講師依頼 ・傷の手当（中学1年生に対し10人のスタッフで グループワークを実施しました。）	平 塚 市 立 太 洋 中 学 校	429
保健予防課 感染症予防 研修会 9月25日	1 保健予防課からの情報提供 2 施設、在宅サービスで気をつけたい感染症の予防と発生 時の対応(対策編)～感染性胃腸炎の対応～ 実技:吐物の処理	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	49
感染対策 リーダー 研修会 1回目 8月1日	1 保健予防課からの情報提供 2 「標準予防策～適切な手洗い指導について」 実技:握手による汚染 3 グループワーク 「従業員全員が、適切な手洗いを実践するためにどうす る？」	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	30
感染対策 リーダー 研修会 2回目 11月6日	1 「疥癬(かいせん)の対応のポイント」 2 グループワーク 感染症担当者として気になっていること、困っていること		18

イ 感染管理認定看護師による電話相談対応

相談件数 6件

ウ 出前講座 8件

月 日	時間	内 容	講 師	対 象・会 場	出席者数
10月 8日	16:00 ～ 17:00	標準予防策・ノロウイルス対策 実技:嘔吐物の処理	済生会平塚病 院 感染管理 認定看護師 根津 美保	ケアハウス ういすたりあ	25
10月22日	14:30 ～ 15:45	ノロウイルス対策	東海大学医学 部付属病院 大磯病院 感染管理認定 看護師 手島 芳江	平塚特別養護老人ホーム	15
11月14日	15:00 ～ 16:00	インフルエンザ・ノロウイルス対策 実技:手洗い、マスクのつけ方 「嘔吐物の処理」はDVD上映	済生会平塚病 院 感染管理 認定看護師 根津 美保	リアン平塚東真土	10
11月27日	18:00 ～ 20:00	冬の感染症対策 実技:嘔吐物の処理	平塚共済病院 感染管理認定 看護師 川崎 進	ニチイケアセンター 湘南神田	23
12月19日	15:30 ～ 16:30	インフルエンザ・ノロウイルス対策	平塚市民病院 感染管理認定 看護師 石井 美千代	サンガーデン湘南	6
12月22日	16:00 ～ 17:00	標準予防策・ノロウイルス対策 インフルエンザ対策	東海大学医学 部付属病院 大磯病院 感染管理認定 看護師 手島 芳江	サンレジデンス湘南	25
1月 7日	18:15 ～ 20:15	標準予防策・ノロウイルス対策 インフルエンザ対策・疥癬(かいせ ん)	平塚市民病院 感染管理認定 看護師 石井 美千代	デイサービス・グループ ホーム悠悠苑大磯営業所	9
1月16日	18:00 ～ 19:00	標準予防策	済生会平塚病 院 感染管理 認定看護師 根津 美保	エスケアステーション 平塚	16

3 栄養・食生活対策

＜保健福祉課＞

個々のニーズに対応した問題及び地域社会に共通した課題等、生涯を通じた健康づくりのため、栄養・食生活改善の充実強化、食環境づくりの整備さらに各種関係機関との連携や基盤整備を図ることを目的として、地域食生活対策推進協議会の開催、栄養表示の指導、特定給食施設の指導等を実施しました。

(1) 地域食生活対策推進協議会

働く人の生活習慣病予防推進を目的に、地域食生活対策推進協議会及び部会を開催しました。関係機関の連携による効果的な食環境整備や働く人への直接的な支援方法等について検討しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
協議会 2月20日	1 働く人の健康づくり支援事業について (1) 働く人の健康づくり支援事業概要(部会報告含む) (2) 出前講座実施報告 2 働く人の健康づくりの取り組みの今後の展開について 3 その他	平塚保健 福祉事務所	18
部会 10月10日	1 働く人の健康づくり事業について ～H25年度地域食生活対策推進協議会報告～ 2 働く人への直接的支援方法について ～モデル事業における健康イベントの内容～ 3 その他		8

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

生活習慣病予防の普及啓発を図るとともに、慢性疾患や個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、栄養指導教室や相談事業等を実施しました。

ア 専門的栄養指導・食生活支援事業

個別栄養指導及び訪問栄養指導

疾 病 名 等	実 人 数	延 人 数	(再掲)	備 考
			訪問件数	
糖 尿 病 合 併 症	6	9		
肥質異常症・肥満合併症	2	2		
腎 臓 疾 患	2	2		
が ん	1	1		
ハ イ リ ス ク 児	6	14	1	
食 物 ア レ ル ギ ー	1	1		
そ の 他 (母 子 に つ い て)	3	3		乳幼児の食生活について
そ の 他 (食 事 に つ い て)	17	17		食生活に関する一般的なことについて
合 計	38	49	1	

イ 栄養・食生活対策推進事業

事業名・教室名	内 容	対 象	集団指導		個別指導
			延回数	延人数	延人数
職域等と連携した生活習慣病予防対策	生活習慣病予防	管内事業所従事者	2	225	
地域と連携した栄養・食生活対策	かながわ健康プラン21(第2次)推進	就労継続支援B型事業所利用者及び職員	1	14	
栄養・食生活対策担当者研修会	ロコモ予防	食生活改善推進員	1	72	
健康づくりメニュー提供店推進事業	栄養表示のすすめ	飲食店営業者	7	180	
合 計			11	491	0

ウ 栄養表示適正化推進事業

健康増進法に基づく栄養表示基準制度及び特別用途食品に関する普及啓発と活用の推進を図るため、講習会及び個別相談、栄養表示状況調査等を実施しました。

(ア) 普及啓発講習会

対 象	回 数	延人数
事 業 者	7	180
消 費 者	3	245
合 計	10	425

(イ) 事業者に対する表示適正化指導

区 分		健 康 増 進 法		
		第26条・27条 (特別用途食品)	第31条 (栄養表示基準)	第32条の2 (虚偽誇大表示)
		事前相談・指導	件 数	3
	延 回 数	3	2	
適 正 化 指 導	件 数	4		
	延 回 数	11		
	改善確認数	1		

(ウ) 表示食品調査

区 分	健康増進法第31条 (栄養表示基準)
件 数	251

※平成27年4月の食品表示法改正に備え市場調査を拡大

(2) 特定給食等指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員等の健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 特定給食施設等講習会

(ア) 全体講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
5月15日	「事例から学ぶ食中毒予防～安全な給食提供のために～」 講師 平塚保健福祉事務所食品衛生課 食品衛生監視員	特定給食施設 小規模特定給 食施設の管理 者、調理師、 調理員等、地 域活動栄養士	118	129
6月4日	「知っておきたい！糖尿病食事療法のための食 品交換表 第7版～改定のポイントとその活 用」 講師 神奈川県立保健福祉大学 准教授 佐野 喜子	特定給食施設 小規模特定給 食施設の管理 者、管理栄養 士、栄養士 等、地域活動 栄養士	82	112

※ 会場はすべて平塚保健福祉事務所

(イ) 種別講習会の開催状況

月 日	内 容	対 象	参 加 施設数	参加者数
12月15日	「心と体を育む 乳幼児期の食育について」 講師 相模女子大学栄養科学部健康栄養学科 教授 堤 ちはる	学校(幼稚部)、 児童福祉施設	23	25
1月29日	「栄養管理の基本をおさらいする～献立作成 におけるポイント～」 講師 小田原短期大学食物栄養学科 教授 稲葉 佳代子	社会福祉施設、 事業所、寄宿 舎、有料老人ホ ーム	26	26
2月27日	「児童養護施設の栄養管理について」 講師 中里学園 管理栄養士 井上 拓美	児童養護施設	3	3

※ 会場はすべて平塚保健福祉事務所

イ 給食施設個別指導

給食施設に対し、個別指導、相談を実施しました。

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設		施設数 合計	指導件数 合計
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数		
指 定 施 設 ①	学 校 01									0	0
	病 院 02			5	7					5	7
	介護老人保健施設 03									0	0
	老人福祉施設 04									0	0
	児童福祉施設 05									0	0
	社会福祉施設 06									0	0
	事業所 07	5	8	1	2					6	10
	寄宿舎 08									0	0
	矯正施設 09									0	0
	自衛隊 10									0	0
	一般給食センター 11									0	0
	その他 12									0	0
	計	5	8	6	9	0	0	0	0	11	17
1 回 3 0 0 食 以 上 又 は 1 日 7 5 0 食 以 上 ②	学 校 01	7	8	2	2	3	3	2	2	14	15
	病 院 02									0	0
	介護老人保健施設 03									0	0
	老人福祉施設 04									0	0
	児童福祉施設 05									0	0
	社会福祉施設 06									0	0
	事業所 07					1	1			1	1
	寄宿舎 08									0	0
	矯正施設 09									0	0
	自衛隊 10									0	0
	一般給食センター 11									0	0
	その他 12									0	0
	計	7	8	2	2	4	4	2	2	15	16
1 回 1 0 0 食 以 上 又 は 1 日 2 5 0 食 以 上 ③	学 校 01	1	1			2	2			3	3
	病 院 02	1	2	3	4					4	6
	介護老人保健施設 03	3	3	2	2					5	5
	老人福祉施設 04	1	2	6	8					7	10
	児童福祉施設 05	4	4	1	1	17	18	11	11	33	34
	社会福祉施設 06	2	2	2	2	1	1	1	1	6	6
	事業所 07	1	2			6	6	9	9	16	17
	寄宿舎 08	1	1							1	1
	矯正施設 09									0	0
	自衛隊 10									0	0
	一般給食センター 11									0	0
	その他 12					1	1	1	1	2	2
	計	14	17	14	17	27	28	22	22	77	84
そ の 他 の 給 食 施 設	学 校 01									0	0
	病 院 02			1	2					1	2
	介護老人保健施設 03			1	1					1	1
	老人福祉施設 04	5	6	6	6	2	2	2	2	15	16
	児童福祉施設 05	4	5			3	3	5	5	12	13
	社会福祉施設 06	2	2	1	1	2	2	2	2	7	7
	事業所 07	2	5			1	3	16	16	19	24
	寄宿舎 08							6	9	6	9
	矯正施設 09									0	0
	自衛隊 10									0	0
	一般給食センター 11									0	0
	その他 12	2	3			2	2	11	11	15	16
	計	15	21	9	10	10	12	42	45	76	88
合計	41	54	31	38	41	44	66	69	179	205	

(3) 市町支援

- ア 企画・業務支援 8回
- イ 管内食生活改善業務連絡会議 2回

(4) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援等に努めました。

ア 地域活動栄養士研修会

月 日	内 容	講 師	参加者数
6月4日	「知っておきたい！糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版～改定のポイントとその活用」	神奈川県立保健福祉大学 准教授 佐野 喜子	11

※ 特定給食施設等講習会と併せて実施

イ 管理栄養士課程実習生指導

区 分	コース	学生数	期 間
県立保健福祉大学	1	4	5月12日～5月16日
鎌倉女子大学	1	3	6月2日～6月6日
文教大学	1	2	9月16日～9月19日
関東学院大学	1	2	2月2日～2月6日
相模女子大学	1	4	2月23日～2月27日
合 計	5	15	

ウ 地区組織等の育成

区 分	指導回数	延人数
食生活改善推進員リーダーの育成	15	272
栄養士会	12	106
合 計	27	378

(5) 地域保健活動推進研修事業

地域において食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修等を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
12月15日	「心と体を育む 乳幼児期の食育について」	相模女子大学栄養科学部健康栄養学科 教授 堤 ちはる	8

※特定給食施設等講習会（種別講習会）と併せて実施

4 歯科保健

＜保健福祉課＞

「8020達成」（80歳で自分の歯が20本以上）を目標として、う蝕予防のために検診・指導や普及啓発を行い、生活習慣病予防等の全身の健康という視点から、歯間清掃用具の普及に取組み、歯及び口腔の健康づくりを推進するために「8020運動推進員」の育成を行いました。

また、疾病・障害がある児への対策については、歯科疾患予防や摂食機能発達支援等を実施しました。

さらに、地域の歯科保健推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進委員会」を開催し、地域での歯科保健の課題の共有、検討、情報交換を行いました。

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

ア 委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健連絡小委員会の結果報告 ・管内市町3歳児歯科健診状況の推移 ・平成26年度管内歯科保健事業の実施状況（評価）と今後の方向性 ・8020運動推進員養成事業について 	平塚保健福祉事務所	委員 14 事務局 6

イ 歯科保健連絡小委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯町・二宮町、保健福祉事務所歯科保健事業について ・情報交換 	二宮町保健センター	5
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市、保健福祉事務所歯科保健事業について ・情報交換 	平塚保健福祉事務所	4

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町との連携の中で、重度う蝕傾向にある幼児を早期に把握し、予防を図るための定期検診、指導、予防処置を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数			予防処置者数（延人数）			
	初診	再診	合計	フッ化物塗布	フッ化物液磨き フッ化物洗口	う蝕進行抑制剤塗布	合計
59	85	246	331	288		19	307

イ 初診者の把握経路

市 町 事 業				保 健 福 祉 事 務 所 事 業	合 計
1歳6か月児	2歳児	3歳児	その他		
45	32		8		85

ウ 初診者のう蝕り患状況

把握事業名	受診者数	う蝕の状況			対処分類			
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし	非ハイリスク児	リスク解消児	ハイリスク児	
							保健福祉事務所継続	その他
1歳6か月児健診	45	13	17	15			45	
2歳児歯科健診	32	14	4	14	3	5	23	1
3歳児健診								
その他	8	3	1	4			8	
保健福祉事務所事業								
合計	85	30	22	33	3	5	76	1

(3) 障害児者等歯科保健事業

歯科疾患にかかりやすく、重症化しやすい障害児者に対し、検診、保健指導、予防処置を実施し、また、歯科医療機関へ1人紹介しました。さらに、摂食・嚥下機能の発達を促すために摂食機能相談を実施しました。

ア 歯科検診、予防処置等の実施状況

開催回数	受診者数		内容（延人数）				
	実人数	延人数	歯科検診	予防処置	歯科保健指導	生活・食生活指導	摂食指導
45	51	109	100	88	100	20	9

イ 年齢別受診状況

区分	6歳以下	7～19歳	20歳以上	合計
初診	20			20
再診	79	10		89

(4) 歯の健康づくり事業

全身の健康の視点からの歯や口の健康づくりについて総合的に推進するため、歯間清掃用具の活用促進、歯周疾患予防推進を図りました。

対象	開催回数	参加者数
大磯町4か月児健診参加者（保護者）	5	129
二宮町1歳児歯科相談参加者（保護者）	5	143
合計	10	272

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

ア 訪問状況

実人数	訪問者数						従事者数（延人数）	
	延人数						歯科医師	歯科衛生士 訪問歯科衛生士
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計		
7	12	3			1	16	15	12

イ 疾患別状況

区 分	慢性疾患児	特定患者者	脳血管障害 後 遺 症 者	認知症患者者	そ の 他	合 計
平塚市	5(13)				1(2)	6(15)
大磯町						(0)
二宮町		1(1)				1(1)
合 計	5(13)	1(1)	0	0	1(2)	7(16)

※ () 外は実人数、() 内は延訪問回数

(6) フッ化物洗口普及啓発事業

4歳以上の未就学児を主な対象として、かかりつけ歯科医での定期歯科検診と指導、かかりつけ薬局での薬剤の購入を併せた、地域での「家庭内フッ化物洗口」の普及啓発を実施しました。

区 分	回 数	参加者数
保育所、幼稚園保護者説明会	2	24

(7) 人材育成

地域で歯科保健を担っていく人材の育成を行いました。

ア 在宅歯科衛生士研修（保健衛生研修）

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
11月7日	発達障害の理解＜応用編Part I＞～ 低年齢の発達障害児の摂食機能の発達支援方法を考える～	芳賀デンタルクリニック 院長 芳賀 定	平塚保健福祉事務所・秦野センター管内の在宅歯科衛生士等	平塚保健福祉事務所	54

イ 8020運動推進員育成研修

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
10月27日	・口腔機能をチェック！ ・「健口体操の基礎を総点検」 ・8020運動推進員の活動紹介 ・グループワーク	・当所歯科医師、歯科衛生士 ・8020運動推進員	8020運動推進員	平塚保健福祉事務所	27
11月28日	・「健口体操の基本と効果的な媒体の活用について」 ・8020運動推進員の活動紹介 ・舌体操媒体の作成	・歯科衛生士 伊東 裕子 ・8020運動推進員			13
12月12日	・「楽しく元気に健口体操」 ・私たちができる健口体操の普及方法を習得しよう	・健康運動指導士 原 真奈美 ・8020運動推進員			22

ウ その他

事業名	開催回数	延参加者数
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	3	27
平塚地域歯科衛生士の会「歯みんぐ」支援	11	70

(8) その他の事業

事業名	対象	開催回数	検診・保健 指導数
歯と口の健康週間行事	住民（平塚市）	2	55
平塚地区労務安全衛生大会	企業の担当者	1	14
電話相談等			11

5 母子保健

<保健福祉課>

慢性疾患により、成長発達等の課題が予測される児や、療育上の困難が予測される児と保護者を対象に、訪問指導や交流会を実施しました。

また、地域における母子保健事業の円滑な推進を図るため、管内市町との連絡調整を実施するとともに、関係機関で構成する「母子保健委員会」を開催しました。

さらに、児童虐待の予防のために、地域の関係機関と連携体制を構築する「周産期からの児童虐待予防事業」を実施しました。

(1) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町が実施する母子保健事業及び児童福祉事業の課題や実績の評価を行い、関係機関との連絡調整を図る目的で母子保健委員会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	出席者数
委員会 3月5日	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度及び平成27年度の母子保健事業及び児童福祉事業について 周産期からの児童虐待予防についての各機関の取組みと課題について 	平塚保健福祉事務所	25
部 会 12月18日	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度管内市町の母子保健事業の体制について 周産期からの児童虐待予防事業の各機関の取組みと連携の課題について 	平塚市保健センター	18

(2) 養育支援事業

養育上の課題を持つ児及び保護者を対象に、児の健やかな発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に実施しました。

また、児童虐待を予防するため、育児不安や精神疾患を抱える妊産婦に対し、周産期医療機関、市町、児童相談所及び当所が連携し、周産期から地域全体で児童虐待予防に対する取り組みを推進しました。

ア 訪問指導

実人数	延人数
20	54

イ 個別相談（保健師による電話相談・面接等）

実人数	延人数
206	330

ウ 個別相談（再掲・療育指導連絡票による保健指導）

小児慢性特定疾患児に対して、主治医から療育指導の依頼があったケースに対応し、保健指導を実施しました。

実人数	延人数
1	1

エ 保健指導教室等

教室名	月 日	内 容	講 師	対 象	参加者数
口唇口蓋裂のお子さん と保護者の交流会	6月26日	講演会 「口唇口蓋裂のお子さん の治療のお話」	東海大学医学部附属病院 形成外科 准教授 赤松 正	口唇口蓋裂のお 子さんとの保護 者	22
	9月11日	講演会 「口唇口蓋裂のお子さん のための耳のお話」	あつぎ耳鼻咽喉科クリ ニック院長 遠藤 智栄子		16
	12月4日	情報交換会 「先輩ママのお話」と交 流会	口唇口蓋裂児の保護者		14
医療的ケアが 必要なお子さん との交流会	7月23日	講演会 「おうちでできる！発達 を促す遊び」	総合療育相談センター 理学療法士 今井 真紀	医療的ケアが 必要なお子さん との保護者	24
	9月24日	先輩ママのお話を聞いて みませんか？	医療的ケアが必要なお子 さんの保護者		18
小児慢性特定 疾患講演会	10月24日	小児がん経験者の日常生 活のポイント～晚期合併 症・寛解後の生活につい て～	東海大学医学部附属病院 細胞移植再生医療科 准教授 矢部 普正	小児がんのお 子さんとの保護 者・養育者・教 政等	16
ぜん息予防 等講演会	1月14日	「子どもの食物アレルギー ・ぜん息～最新治療と 家族でのケアのポイント ～」	国立病院機構相模病院臨 床研究センター アレル ギー性疾患研究部長 海老澤 元宏	アレルギー性 疾患のお子さん との保護者・養 育者・教政等	108

オ 周産期からの児童虐待予防事業

(ア) 周産期リスクアセスメントシート及び養育支援結果報告票の進行管理

	合計	医療機関→市町	市町→医療機関
周産期リスクアセスメントシート	66	43	23
養育支援結果報告票	43	36	7

(イ) 事例検証会

月 日	内 容	会 場	参加者数
12月18日	「妊娠期からの児童虐待予防～特定妊婦への支援について～」 助言者・講師 神奈川県立保健福祉大学看護学科 教授 北岡 英子	平塚市保健センター	22

(ウ) 研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
1月21日	児童虐待防止研修会 (平塚市医師会小児科・保育園部会、平塚市民病院と共催) 「児童虐待の発見と対応、そして予防のための支援」 講師 杏林大学医学部附属病院患者支援センター 医療ソーシャルワーカー 加藤 雅江	平塚市民病院	43

(3) 思春期保健事業（個別相談）

思春期における心身の成長発達に関する問題等に対処するため、個別相談を行いました。

ア 相談事業

区分	人数	相談方法			相談者(延)				相談内容(延)										事後指導(延)						
		電話	面接	計	本人	父母	その他	計	身体	性	妊娠	結婚	病	友	家	学	その他	計	助言指導	面接継続	継続	他機関紹介	受診勧奨	その他	計
男	11	11		11	8	3		11	7	4						1	3	15	8		2	1			11
女	2	2		2		2		2	1	1								2	2						2
合計	13	13	0	13	8	5	0	13	8	5	0	0	0	0	0	1	3	17	10	0	2	1	0	0	13

(4) 生涯を通じた女性の健康相談事業

思春期から更年期に至る女性とその健康状態に応じて的確に自己管理ができるように、個別相談を行いました。

相談方法			相談回数		相談者	
電話	面接	その他	1回	2回以上	本人	その他
24	3		15	12	26	1

区分 年代	相談内容(延)										事後指導(延)							
	妊娠	避妊	不妊	性	メンタルケア	婦人科疾患	更年期	泌尿器	その他	計	助言	専門相談	電話継続	訪問継続	他機関紹介	医療機関紹介	その他	計
10歳代	1									1	1							1
20歳代	1					1				2	1				1			2
30歳代	3			3	4	7			3	20	13	1						14
40歳代	1				3				1	5	3		1		1	1		6
50歳代					1	1				2	2							2
60歳以上									2	2	2							2
合計	6	0	0	3	8	9	0	0	6	32	22	1	1	0	1	2	0	27

(5) 小児医療援護

小児慢性特定疾病医療給付

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体遺子変化を伴う症候群	皮膚疾患	合計
平塚市	22	15	4	25	36	10	12	6	4		9	5			148
大磯町	1	1	1	3	7				1			1			15
二宮町	1	1	1	3	2				1		1	1			11
合計	24	17	6	31	45	10	12	6	6	0	10	7	0	0	174

※平成27年3月31日現在認定している受給者数

(6) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額の治療費がかかる体外受精及び顕微授精について、治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しました。

区分	申請件数	助成件数
平塚市	318	324
大磯町	39	41
二宮町	29	29
合計	386	394

※ 1回の申請で複数回分の助成を申請する場合がありますため、申請件数と助成件数は異なります。

6 職域保健

<企画調整課>

二次保健医療圏域における地域保健と職域保健を担う組織の有機的連携により、壮年期の勤労者の健康を向上させ、生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、平成20年度、「湘南西地区保健医療福祉推進会議」に「地域・職域連携推進専門部会」を設置し、その下にワーキンググループを置きました。

また、ワーキンググループの企画による研修会、事業所等を対象とした健康教育を実施しました。

(1) 地域・職域連携推進専門部会

ア 専門部会

月 日	内 容	会 場	出席者数
7月15日	1 部会長及び副部会長の選任について 2 平成25年度地域・職域連携推進事業実施結果について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取組み結果について 4 平成26年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 5 地域・職域連携推進事業の新規事業案について 6 その他	平塚保健福祉事務所	16

イ ワーキンググループ

月 日	内 容	会 場	出席者数
6月25日	1 平成25年度地域・職域連携推進事業実施結果について 2 平成26年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 3 地域・職域連携推進事業の新規事業案について 4 「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」におけるがんに関する事後実態調査結果について 5 その他	平塚保健福祉事務所	28
2月9日	1 平成26年度地域・職域連携推進事業実施結果について 2 平成27年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 3 平成26年度新規取組「若い世代から働き盛りの健康力アップ事業」について 4 その他	平塚市社会福祉協議会 平塚栗原ホーム	22

(2) 働く人のメンタルヘルス研修会

月 日	内 容	会 場	参加者数
11月21日	講演「対応に苦慮する社員への対応 ～現代型うつ（新型うつ病）とパーソナリティ障害～ 講師 成仁病院 精神科医師 春日 武彦	平塚保健 福祉事務 所	30
1月13日	講演「働く人がストレスと末永く上手に付き合うために ～重要性が増すメンタルヘルス対策～ 講師 聖学院大学人間福祉学部 准教授 田村 綾子	平塚市社 会福祉協 議会平塚 栗原ホー ム	35
2月23日	講演「働く人の健康情報冊子～メンタルヘルス版～の活用につ いて」 講師 当所保健師	神奈川労 務安全衛 生協会平 塚支部教 室	11

(3) 健康教育

ア 神奈川労務安全衛生協会平塚支部地区会における講話

テーマ「働くあなたの今からの健康習慣～若い世代から働き盛り世代まで～」

月 日	講 師	対 象	地区名	会 場	参加者数
6月4日	当所保健師	安全衛生担当 者（総括安全 衛生管理者・ 衛生管理者・ 現場の課長 等）	八幡2	八幡工業団地組合会館	14
6月20日			西1・2・馬入	平塚支部教室	22
6月27日			神田1・2	平塚支部教室	20
7月1日			中央・東・南	日産車体	16
7月7日			北1・2	第一三共ケミカルファーマ	11
7月8日	秦野センター 保健師	現場の課長 等）	八幡1	平塚支部教室	10
7月9日	当所保健師		大磯・二宮	二宮工業団地内組合会館	8

イ 全国労働衛生週間平塚地区促進大会、平塚地区安全衛生大会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月5日	健康情報コーナー 1 働く人の健康に関する〇×クイズ 2 健康測定コーナー（スモーカーライザー、血 圧、体脂肪） 3 歯周病予防コーナー（歯間清掃用具の説明）	当所保健 師・栄養 士・歯科医 師・歯科衛 生士等	平塚市 中央公民館	287

ウ 若い世代から働き盛りの健康力アップ事業

月 日	講 師	対 象	会 場	参加者数
10月17日	当所保健師	各社従業員	三菱ガス化学株式会社平塚研究所	149
10月28日			横浜ゴム株式会社平塚製造所	58
11月4日	平塚市栄養士、歯科衛 生士・当所保健師	各社従業員	株式会社三和ケミカル	40
11月26日	当所保健師		株式会社横浜ドラム製作所平塚工場	60

エ 二宮で働く人の健康応援事業

月日	講師	対象	会場	参加者数
10月22日	二宮町保健師	各社従業員	池田印刷所	5
3月19日	二宮町・当所保健師		二宮町商工会議所女性部	19

オ かながわ労働センター湘南支所主催街頭労働相談へ参加

月日	内容	講師	会場	参加者数
11月7日	健康情報コーナー 1 健康に関する〇×クイズ 2 健康測定コーナー（スモーカーライザー、血圧、体脂肪）	当所保健師等	平塚駅構内	30

7 認知症疾患対策

<保健予防課>

認知症疾患対策として、相談事業、訪問指導事業、地域包括支援センター等の関係者が抱える処遇困難事例の検討会や研修会、健康教育、徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

(1) 認知症疾患相談事業

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に応じています。

区分	延件数	実件数	相談方法				相談内容(延)						
			電話	面接	訪問	その他	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院	介護サービス	その他
定例相談	23	23		18	5		22	23	22	7	3	5	1
随時相談	202	76	168	27		7	112	99	80	44	13	9	65
合計	225	99	168	45	5	7	134	122	102	51	16	14	66

(2) 認知症疾患訪問指導事業

居住地域の地域包括支援センター職員との同行訪問も多くなっています。

区分	訪問数						年齢別						
	男		女		計		40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
	実数	延数	実数	延数	実数	延数							
件数	2	5	7	18	9	23		2	4	4	13		23

(3) 処遇困難事例検討事業

関係機関の職員を対象に事例検討会と研修会を実施しました。また、平塚市において実施された高齢者虐待防止ネットワーク協議会に出席しました。

ア 研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
7月28日	認知症相談従事者が知っておくべきこと	川崎幸クリニック 院長 杉山 孝博	管内高齢者保健福祉担当職員、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等	平塚保健福祉事務所	72
8月5日	家族からのメッセージ	認知症の人と家族の会神奈川県支部 岸 正晴			43
2月23日	認知症疾患医療センターの概要と活用法	東海大学医学部附属病院総合相談室 室長 内田 敦子、 相談員 秋山 洋平			26

イ 高齢者虐待防止ネットワークシステム

月 日	
8月21日	平塚市高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク協議会に出席
1月29日	平塚市高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク協議会に出席

ウ 家族会支援

月 日	内 容	参加機関等	会 場	参加者数
5月27日	湘南西地区の認知症「ご本人・ご家族のつどい」	認知症の人と家族の会神奈川県支部職員、平塚市社会福祉協議会、居場所ほのぼの、平塚保健福祉事務所 等	平塚市社会福祉協議会	10
11月25日	湘南西地区の認知症「ご本人・ご家族のつどい」	認知症の人と家族の会神奈川県支部職員、平塚市社会福祉協議会、居場所ほのぼの、平塚保健福祉事務所 等	平塚市勤労会館	13

(4) 健康教育

企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座等を実施しました。

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
5月15日	認知症サポーター養成講座	株式会社メディセオ平塚支店	株式会社メディセオ平塚支店	11
8月20日	認知症サポーター養成講座	訪問リハビリマッサー ジラ〜くらく	訪問リハビリマッサー ジラ〜くらく	18
9月18日	認知症サポーター養成講座	平塚中郡薬剤師会	平塚市保健センター 講堂	26
12月11日	認知症サポーター養成講座	平塚警察署	平塚警察署講堂	36
1月19日	認知症サポーター養成講座	サニーライフ平塚御殿 やわらぎ平塚御殿	サニーライフ平塚御 殿食堂	23
10月17日	健康講座「神奈川県における若年性認知症対策の状況」	三菱ガス化学平塚研究所	三菱ガス化学平塚研 究所食堂	149
10月28日	健康講座「神奈川県における若年性認知症対策の状況」	横浜ゴム株式会社平塚 製造所	横浜ゴム株式会社講 堂平塚製造所講堂	58
11月4日	健康講座「神奈川県における若年性認知症対策の状況」	株式会社三和ケミカル 平塚事業所	株式会社三和ケミカ ル平塚事業所	40

(5) 徘徊高齢者SOSネットワークシステム

ア ネットワークの利用状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	管外（広域調整）	合 計
搜索依頼	1			141	142
身元探索依頼				23	23

イ 事前登録状況（平成27年3月31日現在）

平塚市	大磯町	二宮町	合 計
85	22	8	115

8 メンタルヘルス

<保健予防課>

地域住民のニーズに迅速に対応する精神保健福祉相談支援を実現するため、所内体制及び関係各機関との連携を強化し、管内の相談支援体制の向上に努めてきました。

また、一次予防に重点を置いた地域住民向け講演会、健康教育及び企業向け研修会の実施、自殺防止対策として関係機関向け人材育成研修会の実施、訪問支援強化事業として多職種チームで訪問を主体としたチームアプローチを展開しました。精神障害者施策からメンタルヘルス対策の推進まで、幅広い事業展開を図りました。

(1) 地域精神保健福祉関係会議

幅広い精神保健福祉関係機関の協力を得て開催しました。精神障害者施策及びメンタルヘルス対策について協議し、関係各機関との連携充実を図っています。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

月 日	内 容	会 場	出席者数
2月6日	1 平塚保健福祉事務所精神保健福祉事業報告 2 市町精神保健福祉事業報告 3 平塚保健福祉事務所訪問相談支援強化事業報告 4 精神障害者の地域生活への移行促進について	平塚保健福祉事務所	18

イ その他会議

月 日	名 称	内 容	出席者数
12月8日	地域医療福祉連絡会	地域で安心して暮らせるための取り組みについて	18
年5回	ケース会議	ケース検討等	31 (助言者を除く)

(2) 精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問、年齢別

区 分		人数	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	
相 談	実人数	把握新	493	1	33	69	97	115	77	67	54	120
		年度新	140									
	再 人 数	2,066		52	99	407	451	564	307	166	20	
	延 人 数	2,699	1	85	168	504	566	641	374	220	140	
訪 問	実人数	把握新	30		0	7	11	16	14	17	5	1
		年度新	42									
	再 人 数	327		1	15	64	68	89	66	25		
	延 人 数	399		1	22	75	84	103	83	30	1	

※ 把握新：保健福祉事務所に初めて相談があった者 年度新：過去に相談があり、今年度に入って初回の相談 再：今年度2回目以降の相談

イ 相談種別、問題群

区分	相談種別 (人)						特定の問題群 (複数選択有) (件)													
	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他	合計	ひきこもり	性格上の問題	こども虐待	家庭内暴力	D V	高齢者虐待	食生活上の問題	障害者虐待	P T S D	ア デ イ ク シ ヨ ン	近 隣 苦 情	自 殺 関 連	該 当 な し	合 計
相談	1,555	763	120	48	213	2,699	178	89	87	141	13	6	4	1		168	482	11	1,745	2,940
訪問	243	117	22	0	17	399	16	17	18	17	1					23	93	2	242	429

ウ 診断名別 (件)

区分	器質性精神障害	飲酒による精神行動の障害	覚醒剤その他の薬物	統合失調症	気分障害	神経症性障害	生理的障害等	成人の人格・行動障害	心理的発達障害	小児・青年期の障害	精神遅滞	てんかん	診断保留	異常と認めず	不明・未受診	合計
相談	9	28	16	110	88	32	2	14	16	2	21	2	10	8	275	633
訪問	3	6	2	22	6	3		5	1		2		1	1	19	71

(3) 普及啓発

ア 研修会

月日	名称	内容	講師	参加者数
11月21日	働く人のメンタルヘルス研修会	「対応に苦慮する社員への対応～現代型うつ（新型うつ病）とパーソナリティ障害～」	成仁病院 精神科医師 春日 武彦	30
1月13日		「働く人がストレスと未永く上手に付き合うために～重要性が増すメンタルヘルス対策～」	聖学院大学人間福祉学部 准教授 田村 綾子	35
1月22日	地域精神保健福祉人材養成研修会	「精神科受診の勧めを悩む時に」	成仁病院 精神科医師 春日 武彦	45
3月4日		「精神症状のある知的障害者の方への対応」	地域支援センターそしん 鈴木 綾子	16

イ 健康教育

月日	対象	内容	講師	参加人数
7月29日	平塚市役所職員	保健福祉事務所の業務について 精神保健の基礎知識	当所福祉 ・保健師	30

(4) 団体等支援

団体名等	支援内容	支援回数
湘南あゆみ会	総会出席等	1
湘南平塚断酒新生会	一般酒害相談研修会	1

(5) 家族支援

区分	月日	内容	講師	参加者数
精神保健 家族 教室	10月3日	統合失調症の理解と治療	研水会平塚病院 副院長 上田 竹人	実41 延83
	10月17日	本人が使える制度や福祉サービスについて 意見交換会	平塚市障がい福祉課 精神保健福祉士 高橋 宏彰 ほっとステーション平塚 施設長 村田 剛 シグナルひらつか 施設長 丸井 みどり 富士見台病院 精神保健福祉士 佐々木 清香 看護師 藤嶋 明子 研水会平塚病院 精神保健福祉士 堀内 禎晋	
	10月31日	本人・家族の立場から 体験談等	湘南あゆみ会 世話人 ほっとステーション平塚 ピアサポーター	
	合計 1コース (3回)			
	7月11日	うつ病について	富士見台病院 院長 樋口 誠逸	実14 延28
	7月25日	うつ病回復プログラムについて	けやきの森病院 デイケア主任 眞柄 正隆	
	8月8日	家族の立場から	うつ病家族コミュニティふらっと 会長 森 千秋	
	合計 1コース (3回)			

※ 主催：平塚保健福祉事務所 共催：平塚市

(6) 入院関係等事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉センター兼務職員として、精神保健診察事務に協力しました。

精神保健福祉法第23条：14件（警察官の通報によるもので、平日の日中対応）

イ 精神科病院実地指導・実地審査（精神保健福祉法第38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

区分	平塚市	合計
施設数	2	2

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院・医療保護入院者の精神保健指定医による診察）

施設数	審査結果								
	措置入院			医療保護入院			任意入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	1			11					

ウ その他事務（経由事務）

区 分	入 院 届	退 院 届	定期病状報告	合 計
件数	299	312	260	871

(7) その他の事業・取り組み

内 容	回 数	協力職員延数
関係機関から依頼のケース会議出席		45
心神喪失者等医療観察法ケア会議出席	8	8
精神障害者地域移行・地域定着支援 個別支援(利用決定、ケア会議)	2	2

(8) 地域自殺対策緊急強化基金事業

ア 訪問相談支援強化事業（地域自殺対策対面型相談支援事業）

- ・平成24年度から平成26年度まで、訪問相談支援強化事業として非常勤職員（臨床心理士・看護師・精神科医師各1名）を雇用し、当所常勤福祉及び保健師、地域関係機関と連携を図りながら、多職種チームによる支援を継続して行いました。

(ア) 訪問相談支援強化事業の実績

（平成27年3月31日現在）

支援対象者数	17名（男性8名、女性9名）
対象年齢	15歳～74歳
平均年齢	40.7歳
支援終了者	15名
訪問支援回数	91回
面接支援回数	84回
電話支援回数	221回（他機関への連絡含む）

- ・10代から70代まで幅広い年代の統合失調症（疑い含む）が約半数で、状態像ではひきこもり、近隣苦情が多く、不登校、依存症、虐待等さまざまな困難を抱えているために社会で孤立、生活が困難となっている事例を対象としました。

(イ) 訪問相談支援強化事業の効果

- ・17事例のうち9事例は医療や障害福祉サービス、就労等につながりました。
- ・多職種チームとして各職種の強みを生かすため、地域関係機関を含め、多職種で同行訪問し、実施日のミーティングでは支援方向の検討および検証を行いました。
- ・対象となった方の変化のみならず、見守りや家族支援を行ったことで家族全体が変化した事例がありました。
- ・生活の場に直接出向くことで、対象となった方の危機に合わせ、生の声を聞き、実際の生活に沿って支援を組み立てることが可能になり、長期化したり、慢性化して支援困難であった事例についても訪問支援が有効であることを確認しました。
- ・支援者の連携を密にし、スキルアップを図るため、地域支援研修を精神保健福祉センターと共催で開催し、外部講師を招き、アウトリーチ支援の実際について学ぶ機会を設けました。
- ・事業の最終年にあたり、事業報告書を作成し、関係機関あて報告しました。

イ 地域自殺対策人材養成研修事業

月 日	内 容	対 象	講 師	参加者数
8月19日	校内人権研修会	県立平塚商業高等学校教員	精神科医	45
10月3日	二宮町こころの健康講座「こころの風邪とセルフケア」	一般住民	精神科医	47
10月7日	御高齢の方の心と接し方	理容所営業者	当所保健師	144
10月7日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	東京神奈川森林管理署	当所保健師	33
10月29日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	平塚地区食料品製造業労務災害防止対策推進連絡会議	当所保健師	13
10月30日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	昭和大学保健医学部学生	当所保健師	105
11月20日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	住民	当所保健師	52
11月25日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	浄土宗神奈川教区中郡組青年会 有志	当所保健師	12
1月30日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	湘南地域県政総合センター職員	当所保健師	5
2月13日				6
3月7日	自殺対策ゲートキーパー養成研修	地域包括支援センター スタッフ、住民	当所保健師	37

ウ 地域自殺対策普及啓発事業

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
9月10日	自殺対策街頭キャンペーン	県民	平塚駅構内及び周辺	3,000
9月28日	地域自殺対策包括相談会	県民	平塚中央公民館	7
9月28日	神奈川県自殺対策講演会・シンポジウム	県民	ラスカ平塚	195
9月12日	自殺対策街頭キャンペーン	県民	二宮駅構内	300
1月17日	大磯町こころの健康セミナー	県民	大磯町保健センター	60
11月9日	湘南にのみやふるさとまつり	県民	二宮町生涯学習センター	400

9 エイズ対策

<保健予防課>

全国でのH I V感染者やエイズ患者が増加の一途をたどる中、神奈川県においても同様に増加しています。H I V感染者は、限られた感染経路しか持たないことから、適切な予防教育によって感染拡大を防止することが可能です。感染拡大防止のためのエイズ相談、検査体制の充実、並びに関係機関との連携を強化した青少年層への性感染症を含めた予防教育、感染者・患者の人権を尊重し偏見・差別のない地域支援を一層推進します。

(1) エイズ対策推進会議

月 日	内 容	出席団体 出席者数
3月19日	議題 (1) HIV感染者・エイズ患者の発生状況と神奈川県の取り組みについて (2) 平成26年度平塚保健福祉事務所エイズ対策事業実施報告及び平成27年度実施計画について (3) 各機関でのエイズ予防活動の紹介、情報交換	16団体 (18名)

(2) エイズ相談・検査実施状況

ア 年度別エイズ相談・検査実施状況

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
相 談	776	1,252	1,299	1,189	1,190
検 査	333	321	345	335	354

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不 明	合 計
男	7	87	83	52	23	14		266
女	7	35	31	12	2	1		88
合計	14	122	114	64	25	15	0	354

(3) イベント検査の実施

世界エイズデーにともなうイベント検査として、通常のH I V即日検査実施日に希望者に梅毒、B型肝炎検査を実施しました。（定員30名）

月 日	受付時間	来所人数	検査人数	検査項目		
				H I V	梅毒	肝炎
12月12日	13:30 ～15:00	26	26	26	25	25

(4) エイズ予防普及事業

ア 学校における講演会

青少年を対象に、エイズ・性感染症予防についての知識の普及を図るため、中学校15校、高等学校4校、特別支援学校2校で講演会を実施しました。

No.	月 日	内 容	講 師	学 校 名	参加者数
1	6月25日	エイズ・ 性 感 染 症 予 防	当所保健師	平塚市立神明中学校	180
2	7月4日		当所保健師	平塚市立金旭中学校	200
3	7月11日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚農業高等学校	210
4	7月14日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚盲学校	15
5	7月18日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	県立平塚湘風高等学校	260
6	11月5日		当所保健師	二宮町立二宮中学校	145
7	11月10日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	県立大磯高等学校	289
8	1月28日		当所保健師	県立平塚養護学校	30
9	2月19日		当所保健師	平塚市立金目中学校	89
10	2月20日		当所医師	二宮町立二宮西中学校	111
11	2月23日		当所医師	平塚市立横内中学校	81
12	2月24日		当所保健師	平塚市立旭陵中学校	150
13	2月25日		当所保健師	平塚市立山城中学校	185
14	2月25日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	大磯町立国府中学校 生沢分校	26
15	2月26日		当所保健師	平塚市立春日野中学校	122
16	3月3日		当所保健師	平塚市立中原中学校	190
17	3月4日		当所保健師	大磯町立大磯中学校	148
18	3月5日		a tulip W.S.C 助産師 張ヶ谷 智子	平塚市立浜岳中学校	277
19	3月6日		当所保健師	平塚市立神田中学校	125
20	3月9日		当所医師	平塚中等教育学校	150
21	3月9日		当所保健師	平塚市立土沢中学校	40
合 計					3,023

イ キャンペーン活動

月 日	内 容	対 象	場 所	参加者数
4月～3月	エイズ関連のパネル・予防啓発グッズの設置と冊子の配布	県民	平塚保健福祉事務所	468
4月		学生・職員	東海大学湘南キャンパス 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス	6,023
4月11日 9月5日		看護学生（合同オリエンテーション参加者）	平塚保健福祉事務所	127
11月7日		県民	平塚駅街頭労働相談	70
11月25日 ～12月5日		県民	平塚合同庁舎	1,500

ウ 地域エイズ予防講演会

HIV感染者やエイズ患者と接する機会のある者を対象に、エイズの最新治療や日常生活の実際について講演会を実施しました。

月 日	内 容	出席者数
3月19日	「HIV感染者・エイズ患者の日常生活について」 講師：特定非営利活動法人SHIP 宮島 謙介 臨床心理士 「エイズ治療について」 講師：神奈川県立足柄上病院 副院長 加藤 佳央 医師	25

10 結核予防

<保健予防課>

結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき二類感染症になりました。これにより、医療機関から患者発生届が直ちに提出され、積極的疫学調査等速やかな対応が可能になりました。当所では、結核予防の普及啓発、関係医療機関との連携により、治療中断者を早期に把握するため服薬支援事業を実施し、また、患者家族や接触者の発病予防に取り組みました。

(1) 診査協議会の開催

感染症診査協議会の開催

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第24条に基づく診査件数

区 分	20条	37条の2							
		小計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護	その他
			本人	家族	一般	退職			
入院勧告件数	21	0							
入院延長件数	21	0							
医療費公費負担 申請件数	35	92	11	5	35	0	32	9	
承認件数	35	92	11	5	35	0	32	9	
不承認件数		0							
保留件数		0							

(2) 結核患者の登録管理状況

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数

(平成26年12月31日現在)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活 動 性 肺 外 結 核	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	潜 在 性 結 核 (別 掲)
平成23年	134	28	11	95		34
平成24年	122	34	11	77		65
平成25年	127	20	8	71	28	75
平成26年	108	19	9	37	43	61
受 療 別	入 院	2	2			
	在宅医療	29	19	7		3
	経過観察	77			37	40
	不 明	0				
市 町 別	平 塚 市	98	20	6	34	38
	大 磯 町	6			2	4
	二 宮 町	4	1	1	1	1
年 齢 別	0～4歳	0				3
	5～9歳	0				3
	10～14歳	0				
	15～19歳	1			1	1
	20～29歳	5		1	3	1
	30～39歳	15	2		7	6
	40～49歳	14	1		8	5
	50～59歳	6	2	1	1	2
	60～69歳	19	3	1	6	9
	70～79歳	29	9	2	4	14
80歳～	19	4	2	7	6	

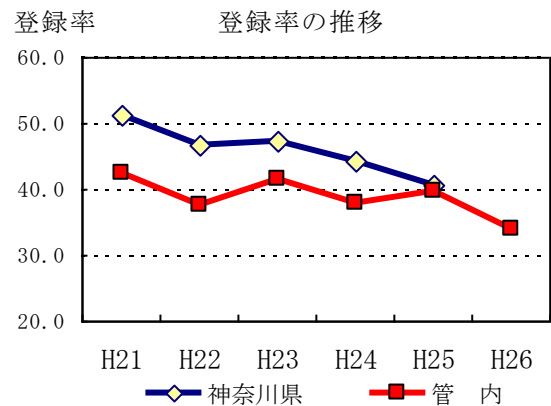
イ 新登録患者数

(平成26年1月1日～12月31日)

区 分	総 数	活 動 性 肺 結 核	活動性肺結核(内訳)			活 動 性 肺 外 結 核	潜在性結 核 (別掲)
			喀痰塗沫 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他		
平成23年	53	40				13	27
平成24年	54	41	18	23		13	33
平成25年	47	33	18	9	6	14	20
平成26年	36	27	12	9	6	9	16
年 齢 別	0～4歳	0					1
	5～9歳	0					
	10～14歳	0					
	15～19歳	1	1			1	1
	20～29歳	1				1	2
	30～39歳	4	4	1	2	1	2
	40～49歳	2	2			2	2
	50～59歳	4	4	2	2		
	60～69歳	4	3	2		1	1
	70～79歳	12	10	5	4	1	2
80歳～	8	3	5	1		2	

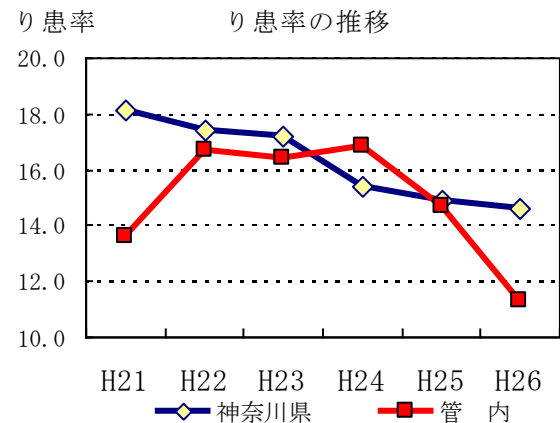
ウ 結核登録率の推移 (対10万人)

区分 年	神奈川県		管 内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成21年	4,602	51.1	137	42.4
平成22年	4,236	46.8	122	37.7
平成23年	4,275	47.2	134	41.5
平成24年	4,008	44.2	122	37.9
平成25年	3,692	40.7	127	39.7
平成26年	3,553	39.0	108	33.9



エ 結核り患率の推移 (対10万人)

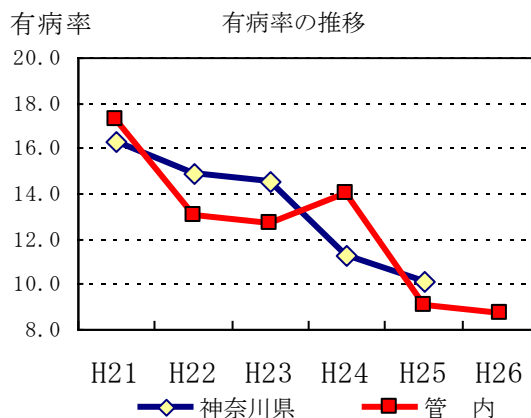
区分 年	神奈川県		管 内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成21年	1,633	18.3	44	13.6
平成22年	1,577	17.4	54	16.7
平成23年	1,561	17.2	53	16.4
平成24年	1,395	15.4	54	16.8
平成25年	1,353	14.9	47	14.7
平成26年	1,329	14.6	36	11.3



オ 活動性結核有病率

(平成26年12月末現在 対10万人)

区分 年	神奈川県		管内	
	患者数	有病率	患者数	有病率
平成21年	1,470	16.3	56	17.3
平成22年	1,350	14.9	42	13.0
平成23年	1,310	14.5	41	12.7
平成24年	1,022	11.3	45	14.0
平成25年	913	10.1	29	9.1
平成26年	1,046	11.5	27	8.5



※ 患者登録数の平成21～26年は、県保健福祉部健康危機管理課「結核登録者の状況」
 ※ 有病率算出の人口は、県企画部統計課「神奈川県人口統計調査報告(1月1日現在)」

カ 平均有病期間(年)

区分	神奈川県	管内
平成22年	0.86	0.78
平成23年	0.84	0.77
平成24年	0.73	0.77
平成25年	0.68	0.51
平成26年	0.78	0.75

※ 平均有病期間＝有病率／罹患率

(3) 健康診断

ア 接触者健診・管理健診

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

区分	受診者数(延べ)			受診結果			
	保健所	医療機関	合計	要医療	発病の恐れ	異常なし	患者発見率
接触者健診	143		143	1	8	131	0.7%
管理健診	5		5			5	0%

イ 検査実施状況

区分		エックス線(直接撮影)				QFT検査			
		平成25年度		平成26年度		平成25年度		平成26年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
接触者検診	患者家族	34	34	14	14	44	44	53	53
	接触者	23	23	38	38	104	104	38	38
管理健診				5	5				
合計		57	57	57	57	148	148	91	91

(4) 保健指導

ア 保健指導状況

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導（延人数）			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
33	87	884	197	34	1,115

イ 結核定期病状管理促進事業

結核患者や経過観察中の患者等で、病状把握が困難な患者に対して、医療機関に病状報告を依頼し、再発予防、二次感染の防止等の患者管理を実施しました。

実施医療機関数	調査件数
7	20

ウ 結核治療中断・継続困難者早期把握調査

治療中断等を早期に把握するため、感染症予防法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）による医療費公費負担を受給している患者の受診状況を調査し、治療継続困難者への保健指導により、受診を勧奨しました。

実施医療機関数	調査件数	実人員	未受診者	中断者
1	32	8	4	

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
2月25日	「結核の基礎知識と院内・施設内感染対策」	公益財団法人結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也	平塚保健福祉事務所	70

*茅ヶ崎保健福祉事務所、秦野センターと合同開催

イ 施設等での普及啓発活動

月 日	対 象	内 容	講 師	会 場	参加者数
5月14日	保健師学生	長引く咳はイエローカード、結核ミニ講座	当所医師・保健師	平塚保健福祉事務所	4
6月25日					3
7月9日					3
7月14日	老人ホーム			対象施設	4
7月23日	保健師学生			平塚保健福祉事務所	3
9月2日				4	
10月20日	医療機関			対象施設	29
12月4日	保健師学生			平塚保健福祉事務所	2
2月16日	医療機関			対象施設	7

11 感染症予防

<保健予防課>

平成10年に「伝染病予防法」に替わり「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定され、平成11年4月1日から施行された。さらに平成19年3月には、「結核予防法」が統合され、平成20年には新型インフルエンザ対策の整備等に関する改正が行われた。

当所では、感染症の届出や集団発生時に、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。また、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、感染症の発生状況を収集し、県・国に報告するとともに、管内医療機関等に情報提供している。

(1) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(平成26年1月1日～12月31日)

類別	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
一類感染症				
二類感染症	49	結核	48	
三類感染症	1	細菌性赤痢	1	1
	13	腸管出血性大腸菌感染症	13	31
四類感染症	2	デング熱	2	3
	3	レジオネラ症	3	
五類感染症	1	ウイルス性肝炎		
	6	侵襲性肺炎球菌症		
	2	クロイツフェルトヤコブ病		
	3	梅毒		
	3	麻疹	3	5
総数	83		70	40

(2) 同行者・接触者調査数

(平成26年1月1日～12月31日)

病名	依頼件数	同行者	接触者検便延数	海外渡航先
腸管出血性大腸菌感染症	2		1	ベトナム
レジオネラ症	2	2		
細菌性赤痢	1		1	インド

(3) 医療機関からの相談・検査の依頼件数

(平成26年1月1日～12月31日)

病名	相談件数	検査件数	検査結果陽性者
中東呼吸器症候群(MERS) 疑い	1	1	
デング熱疑い	3	3	1
レプトスピラ疑い	2	2	
重症熱性血小板減少症候群疑い	2	2	
ライム病疑い	1	1	
麻疹疑い	5	5	3
クロストリジウム・デフィシル疑い	1	12	10

(4) 菌株の送付件数・行政検査（確定）実施・

	件数	病名
菌株の送付	14	細菌性赤痢 1件 腸管出血性大腸菌感染症 13件
行政（確定）検査	9	中東呼吸器症候群疑い1件、デング熱疑い3件、麻疹疑い5件

(5) デング熱に関する相談対応

平成26年8月、60年ぶりに渡航歴のないデング熱患者の国内発生があり、医療機関からの検査依頼に対応するとともに、医療機関、県民等からの相談に対応しました。

相談件数	相談者			相談内容（延件数）					事後指導		
	医療機関	住民	その他	症状予防	検査	医療体制	蚊の駆除	その他	医療機関紹介	助言	検査実施
53	17	33	3	12	18	6	9	9	1	51	3

(6) 感染症の集団発生連絡にともなう疫学調査・指導等

社会福祉施等における感染症発生に係る報告（平成17年2月22日通知）に基づく報告に対し、相談、調査、保健指導を行いました。平成26年度はインフルエンザの流行が早く、12月初旬から医療機関での集団発生の報告が複数あり、感染性胃腸炎は年末から3月にかけて高齢者施設を中心に報告がありました。

施設種別	件数	疾患名	発症者数	調査方法・対応
特別養護老人ホーム	3	ノロウイルス	20人(入所者17、職員3、重症1)	聞き取り調査 保健指導
		感染性胃腸炎	21人(入所者17、職員4)	
		感染性胃腸炎	16人(入所者10、職員6)	
老人保健施設	1	ノロウイルス	26人(入所者24、職員2)	立ち入り調査 保健指導
有料老人ホーム	1	ノロウイルス	45人(入所者35、職員10)	立ち入り調査・ 保健指導
グループホーム	1	ノロウイルス	10人(入居者6、職員4)	聞き取り調査・保 健指導
障害児施設(通所)	1	ロタウイルス	33人(通所者29、職員4)	聞き取り調査・保 健指導
一般病院	1	クロストリジウム・ ディフィシル	12人(患者12、重症2)	立ち入り調査 保健指導
計	8施設	感染性胃腸炎等報告施設	発症者数 183人(入所者等150、職員33)	

施設種別	件数	疾患名	発症者数	調査方法・対応
一般病院	5	インフルエンザ	14人(入院患者14)	聞き取り調査 保健指導
		インフルエンザ	6人(入院患者3、職員3)	
		インフルエンザ	30人(入院患者21、職員9)	
		インフルエンザ	12人(入院患者6、職員6)	
		インフルエンザ	9人(入院患者9、重症2)	
精神病院	1	インフルエンザ	18人(入院患者12、職員6)	聞き取り調査 保健指導
療養型病院	3	インフルエンザ	20人(入院患者12、職員8)	聞き取り調査 保健指導
		インフルエンザ	77人(入院患者59、職員18、重症1)	
		インフルエンザ	38人(入院患者21、職員17)	
老人保健施設	1	インフルエンザ	20人(入所者11、職員9)	聞き取り調査 保健指導
	1	インフルエンザ	26人(入所者19、職員7、重症3)	立入り調査 保健指導
特別養護老人ホーム	1	インフルエンザ	10人(入所者10)	聞き取り調査 保健指導
	1	インフルエンザ	13人(入所者12、職員1)	
グループホーム	1	インフルエンザ	15人(入所者11、職員4)	聞き取り調査 保健指導
軽費老人ホーム	1	インフルエンザ	12人(入所者9、職員3)	聞き取り調査 保健指導
	1	インフルエンザ	15人(入所者14、職員1)	
児童養護施設	1	インフルエンザ	18人(入所者15、職員3)	聞き取り調査 保健指導
児童発達支援施設 (通園)	1	インフルエンザ	15人(通園児11、職員4)	聞き取り調査 保健指導
保育園	1	インフルエンザ	49人(園児45、職員4)	聞き取り調査 保健指導
計	インフルエンザ報告施設	19施設	発症者数	417人(入所者等314、職員103)

(7) 集団かぜによる学級閉鎖状況

平成26年度は、10月下旬よりインフルエンザB型に流行があり、11月にインフルエンザA型による学級閉鎖(初発)が平塚市内小学校であり、その後インフルエンザB型、A型による学級閉鎖が続き、25年度に比べ報告数は70件、欠席者数は約半数に減少しました。

年 度	施設区分	報告数	欠席者数	学級閉鎖数	学年閉鎖数	施設閉鎖数
平成22年度		142	1,853	184		
平成23年度	総計	189	2,521	231	27	8
平成24年度	総計	67	722	67	8	3
平成25年度	総計	174	1,325	222	8	2
	幼稚園	10	85	6	2	2
	小学校	149	1,106	202	3	
	中学校	14	126	13	3	
平成26年度	その他	1	8	1		
	総計	101	688	88	13	
	幼稚園	2	14		2	
	小学校	82	510	73	9	
	中学校	17	164	15	2	
	その他					

(8) 感染症予測監視状況事業

- | | |
|------------------|------|
| ア インフルエンザ定点 (週報) | 4 機関 |
| イ 小児科定点 (週報) | 7 機関 |
| ウ 眼科定点 (週報) | 2 機関 |
| エ STD定点 (月報) | 2 機関 |
| オ 基幹定点 (週報、月報) | 1 機関 |

(9) エボラ出血熱の対応に関する市町・保健福祉事務所連絡会議

西アフリカを中心に流行が続いているエボラ出血熱に対し、厚生労働省から国内発生を想定した基本的対応が示され、当所管内でも、疑い患者の発生時の対応や搬送等関係機関との連携体制の構築のため連絡会を開催しました。

月 日	内 容	会場	出席者数
11月13日	<ul style="list-style-type: none"> エボラ出血熱について エボラ出血熱疑い患者発生時における対応について 個人防護具の着脱について 	平塚保健福祉事務所	9名 (8機関)

(10) 保健指導

ア 感染症予防研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
6月20日	「施設、在宅サービスで気をつけたい感染症の予防と発生時の対応」基礎編	医師 保健師 食品衛生監視員 環境衛生監視員	介護保険・ 障害児者・ 児童福祉施 設の管理 者、看護職 員、介護職 員	平塚保健 福祉事務所	79
9月25日	「施設、在宅サービスで気をつけたい感染症の予防と発生時の対応」対策編	保健師 管内感染管理認 定看護看護師			49

イ 感染対策リーダー研修会「継続看護連絡会部会」と協働開催

月 日	テ ー マ	対 象	参加者数
8月1日	講義「標準予防策・適切な手洗い指導について」 グループワーク「従業員全員が適切な手洗いをするためにどうする？」	介護保険・障害児者・児童福祉施設 の管理者、看護職員、介護職員	30
11月6日	講義「疥癬の対応とポイント」 情報交換会「感染症担当として気になっていること、困っていること」		18

ウ 個別指導

訪 問	面 接	電 話	文書・メール	計
90	103	1,103	20	1,316

(11) 物品の貸出

正しい手洗いの普及啓発のため、手洗いチェッカーを貸し出しました。

貸出先	高齢者施設	児童養護施設	ろう学校	障害者施設	その他	計
回 数	9	1	1	1	1	13

12 難治性疾患対策

＜保健予防課＞

特定疾患患者に対し医療給付を行うとともに、患者・家族のQOL向上のための講演会やつどいを開催しました。また、関係機関との連携により適切な在宅療養支援の推進を図るため、会議や従事者研修会等を開催しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定疾患医療受給者証交付状況

特定疾患医療受給者証交付申請	318 件
特定疾患医療受給者証交付更新申請	1,170 件
特定疾患医療受給者証返納届	70 件
特定疾患医療費給付申請（払戻請求）	239 件
特定疾患介護給付費支給申請（払戻請求）	4 件
転入届	15 件
医療受給者証登録事項変更届	187 件
医療受給者証再交付申請	14 件

(2) 医療相談等事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、講演会や相談会、つどいの開催、訪問相談事業を行いました。

ア 特定疾患講演会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月9日	「膠原病の治療と検査値の見方、日常生活での工夫」 ～全身性エリテマトーデス・ベーチェット病を中心に～	・横浜市立大学附属市民総合医療センターリウマチ膠原病センター 准教授 大野 滋 ・全国膠原病友の会神奈川支部 支部長 後藤 真理子	平塚保健福祉事務所	21

イ 特定疾患相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月1日	全疾患対象 難病講演会 ※特定疾患医療受給者証の更新者のうち、希望のあった方対象	当所保健師等	平塚保健福祉事務所	18
9月2日				39
9月4日				32
9月8日				18
9月11日				21
9月9日	膠原病患者家族相談会 ※講演会と同日開催	横浜市立大学附属市民総合医療センターリウマチ膠原病センター 准教授 大野 滋	平塚保健福祉事務所	5

ウ 特定疾患患者と家族のつどい

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
4月22日	参加者による自主活動		平塚保健福祉事務所	17
5月27日	療養生活の情報交換	当所歯科衛生士・保健師		16
7月15日	楽しく体を動かそう ～生活に取り入れられるリハビリ～	大磯幸寿苑 理学療法士 土井 篤		24
9月16日	一緒にうたおう♪	療育音楽指導者 佐藤 喜美子		21
10月28日	参加者による自主活動			13
11月25日	健康体操	スポーツプログラマー 橘高 靖子		14
1月27日	楽しく食べて、おしゃべりするため に	大磯幸寿苑 言語聴覚士 堀江 正邦		17
3月24日	1年間を振り返って	当所保健師		16

エ 訪問相談事業

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
1月27日	全疾患対象 難病講演会 ※特定疾患医療受給者証の 更新者のうち、更新時アン ケートで相談の希望のあつ た方対象	雇用看護師	平塚保健福祉事務所	4
2月3日				7
2月10日				7
2月17日				10
2月24日				10

オ 訪問診療事業 平成26年度は実績なし。

(3) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養中の難病患者及び家族の実態に応じた、きめ細やかな支援を行うため、また、地域における総合的な支援体制の構築のため、関係機関と会議等を開催しました。

ア 委員会（難病委員会を兼ねる）

月 日	内 容	会場	出席委員数
3月11日	<ul style="list-style-type: none"> 平塚保健福祉事務所における難病対策について 「難病の患者に対する医療等に関する法律」の施行に伴う、特定医療費（指定難病）助成制度について 難病患者の看取りについて 	平塚保健福祉事務所	17

イ 事例検討会

月 日	場 所	病 名	性別	検 討 内 容	出席者数
7月9日	本人宅	筋萎縮性側索硬化症	女性	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	11
8月22日	本人宅	脊髄小脳変性症	男性	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	6
10月9日	平塚市民病院	筋萎縮性側索硬化症	女性	退院に伴う療養状況の確認、サービス調整等支援方針の確認	8
10月14日	本人宅	筋萎縮性側索硬化症	女性	サービス調整等支援方針の確認	11
10月16日	本人宅	多系統委縮症	女性	サービス調整等支援方針の確認	5
11月7日	ローズヒルケアセンター	筋萎縮性側索硬化症	女性	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	17
1月14日	鶴巻温泉病院	筋萎縮性側索硬化症	女性	サービス調整等支援方針の確認	9
3月18日	本人宅	天疱瘡	女性	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	10
3月18日	本人宅	脊髄小脳変性症	男性	関係者間の情報共有、サービス調整等支援方針の確認	7

(4) 難病対策特別推進事業

難病患者等の在宅療養上の適切な支援を行うため、サービス提供事業所職員（ケアマネジャー、看護師、ヘルパー、歯科衛生士等）を対象に、在宅難病患者在宅ケア従事者研修会を開催しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
7月29日	難病患者に対するコミュニケーション支援	・神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター 作業療法士 一木 愛子 ・鶴巻温泉病院リハビリテーション部 作業療法士 椎名 郁	平塚保健福祉事務所	52
2月4日	神経難病患者を支える支援者の心理を考える ～支援者が明るく元気に働くために～	医療法人森と海 メンタルホスピタルかまくら山 臨床心理士 鳥本 万有美	平塚保健福祉事務所	10

(5) 在宅神経難病患者緊急一時入院

医療依存度の高い神経難病患者を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、緊急一時入院制度の利用申請受付や状況調査し、利用調整を行いました。

利用者	回数	疾患名	医療機器等	性別	理由	受入病院	期間
1	2回	進行性核上性麻痺	吸引器、胃ろう	男性	介護者の休養	箱根病院	合計 26日間
2	2回	筋委縮性側索硬化症	人工呼吸器、他	女性	介護者の就労・休養	箱根病院	合計 28日間
3	—	筋委縮性側索硬化症	人工呼吸器、他	男性	介護者の就労	茅ヶ崎新北陵	取り下げ
4	—	多系統委縮症	BIPAP、胃ろう	女性	介護者の入院	茅ヶ崎新北陵	取り下げ
5	3回	筋委縮性側索硬化症	BIPAP、他	男性	介護者の休養	箱根病院	合計 31日間
6	1回	多系統委縮症	胃ろう	女性	介護者の休養	箱根病院	12日間
7	2回	筋委縮性側索硬化症	BIPAP、胃ろう	男性	介護者の休養	青木病院	合計 20日間
8	1回	筋委縮性側索硬化症 網膜色素変性症	なし	男性	介護者の休養	箱根病院	10日間

(6) 家庭訪問・相談

ア 家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	その他	計
実人数	23	1			24
延人数	55	1			56

イ 相談

面接	電話	その他	計	主な相談内容（延数）							
				申請	医療	看護	福祉	歯科	栄養	その他	計
2,778	899	5	3,682	3,259	274	276	266	1	2	13	4,091

13 肝臓疾患対策事業

<保健予防課>

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、肝炎検査、相談、普及啓発のための講演会を開催しました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎、B型肝炎抗原検査実施状況

相談・検査

定例相談				イベント 検査	随時相談
実施回数	検査人数	検査内容			
		C型肝炎 抗体検査	B型肝炎 抗原検査	B型肝炎 抗原検査	
10回	10人	4件	10件	25件	83件（延数）

※ イベント検査は、世界エイズデーに伴うエイズイベント検査として実施

(2) 講演会・相談会

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11月14日	ウイルス性肝炎の最新治療と栄養学的視点から考える日常生活上の留意点	東海大学医学部附属大磯病院消化器内科 准教授 白石 光一	茅ヶ崎保健福祉事務所	39

※ 茅ヶ崎保健福祉事務所主催、平塚保健福祉事務所・秦野センター共催

(3) 肝炎治療費助成状況

インターフェロン 新規申請：	14件
インターフェロン 2回目申請：	2件
インターフェロン 有効期間延長申請：	0件
インターフェロンフリー 新規申請：	58件
核酸アナログ製剤 新規申請：	21件
核酸アナログ製剤 更新申請：	118件
3剤併用療法 新規申請：	18件
(含シメプレビル17件、含テラプレビル1件)	
3剤併用療法 更新申請：	1件
医療費払戻請求：	11件
変更届等：	22件

14 原爆被爆者援護

＜保健予防課＞

戦後65年以上を経過した中で、被爆者健康手帳の新規申請は減少の一途をたどっていますが、被爆者及びそのこどもに対して健康診断を実施するとともに、各種手当等の手続きを実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

(平成27年3月31日現在)

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
被爆者健康手帳	68	25	17	110
第一種健康診断受診者証				0
第二種健康診断受診者証	3			3
被爆者のこども受診者証	101	13	13	127
合 計	172	38	30	240

(2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	受 診 状 況				受 診 結 果	
	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計	要精検者	要治療者
平成22年度	2		1	3	1	
平成23年度				0		
平成24年度				0		
平成25年度			1	1		
平成26年度			1	1		

15 アスベスト（石綿）に関する相談

＜保健予防課＞

アスベスト（石綿）に関する健康不安や救済制度の申請等について、相談を実施しました。

相談取扱件数

相談件数 (延べ)	相談方法				相談内容				対応状況		
	電 話	来 所	メール	その他	健康 相談	労災 相談	環 境 相談	申請等	申請 受付	他機関 紹介	その他
2		2						2	2		7

16 健康保持増進

<企画調整課><保健福祉課>

地域住民の健康の保持増進を図るため、健康・体力づくり、禁煙サポート、がん予防、健康教育、生活習慣病予防の各事業を実施しました。

健康増進事業や介護予防事業、特定健診・特定保健指導事業の効果的かつ円滑な推進を図るために健康増進評価事業ヒアリングを実施しました。

また、25年度から、かながわ保健指導モデル事業実施地域になった大磯町において研修会、検討会及び事業実施について参加支援しました。

(1) 地域禁煙サポート事業

がんをはじめとする生活習慣病予防対策を推進するため、その大きな原因といわれている喫煙率の低下を目指し、研修会、禁煙教育等を実施しました。

ア 地域禁煙サポート研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	会 場	参加者数
11月27日	「禁煙指導のコツ」	東京衛生病院 健康教育科長 宮崎 恭一	医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、企業の健康担当者、市町関係職員、県保健福祉事務所職員 等	平塚保健福祉事務所	26

※ 第4章7(1)に再掲

イ 禁煙相談

区 分	実施回数	実施実人数	実施延人数
随時相談	0	0	0

ウ 禁煙支援医療機関に関する情報提供

管内の禁煙支援相談医療機関のリストをホームページにより提供しました。

(2) 高校生への喫煙防止教育

「特別な予算措置を伴わない事業(高校生への喫煙防止教育の実施)」に基づく喫煙防止教育を実施しました。

月 日	内 容	講 師	開 催 校	参 加 生徒数
4月24日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立釜利谷高等学校	280
7月10日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立平塚江南高等学校	320
7月11日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立金井高等学校	360
7月14日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立商工高等学校	240
7月15日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立神奈川工業高等学校	320
11月12日	喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について	当所保健師	県立保土ヶ谷高等学校	360

(3) 健康増進事業評価

健康増進事業評価として市町の健康増進事業に係るヒアリングを通して情報収集や情報提供し、地域の課題を把握し検討しました。

月 日	内 容	会 場	出 席 者 数
7月11日	健康増進事業の自己評価に係るヒアリング	二宮町保健センター	二宮町保険医療課 5
7月17日		大磯町保健センター	大磯町スポーツ健康課 3
7月18日		平塚市保健センター	平塚市健康課 3
			当所 保健福祉課 5 企画調整課 2

(4) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ地域の企業、事業所への普及啓発として管理者に対してがん予防やがん検診の重要性について理解を促し、従業員等への受診促進及び市町のがん検診の情報提供を行い、受診率の向上に努めました。

地域・職域連携推進事業の「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」を市町保健師と協力しながら実施しました。

ア 健康教育

月 日	対象者	内 容	講 師	会 場	参加者数
6月～2月 (21回実施)	介護保険事業者等	がんの現状とがん検診のすすめ	当所保健師	各介護保険事業所	34
4月～3月 (11回実施)	食品衛生責任者	「がん検診のすすめ」	当所保健師	平塚保健福祉事務所	163
6月～7月 (10回実施)	労務安全衛生協会 会員平塚支部地区 会参加者	健診・検診結果は知 っている！！ ～生活習慣病とがん～	当所保健師	各地区会場	101

イ イベントにおけるリーフレット等の配布

月 日	対象者	内 容	会 場	参加者数
9月5日	労働安全衛生協会会員 平塚支部労働衛生集会 推進大会参加者	がんパネル展示、クイズ、リーフレットの配布	平塚市中央公民館	287

(5) がん検診普及啓発セミナー

集客力のある場を活用して、がん検診・がん予防についての普及啓発を図るとともに、がん検診の受診率向上を目指した取り組みを実施しました。

また、当事者のがん体験談を通して、自分自身や家族の健康を考え行動できるよう支援しました。

月 日	対 象	内 容	会 場	参加者数
6月24日	「子育てスペースでんでん虫」参加の保護者	【当事者によるがんの講演会】 「ママ受けた？がん検診」～20代のがん体験者からのメッセージ～	二宮町保健センター	14
11月9日	二宮町及び周辺住民等	【普及啓発キャンペーン】 「がん検診を受けよう！」「大腸がんクイズ」がん検診普及啓発用アンケートを実施し、グッズを配布し、がん検診をPR	二宮町生涯学習センター	200

(6) かながわ保健指導モデル事業

医療保険者が行う特定健診・特定保健指導に着目し、生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き、対象者の生活改善につながる保健指導モデルの構築を行い効果的な保健指導を実施するため、県健康増進課が平成25年度よりかながわ保健指導モデル事業を海老名市、寒川町及び大磯町と協働により研修会とモデル事業を実施しています。当所は大磯町に対し保健師及び栄養士が支援しています。今年度は各市町の事業に保健指導モデル事業の手法を活用してもらうため、当所主催で県域の市町の関係職員を対象に研修会及び見学実習を実施しました。

ア 研修会 (9回 134人)

月 日	内 容	会 場	参加者数
4月25日	平成25年度開始グループの保健指導 (グループ指導8回目※大磯町は7回目) ・グループ運営について(目的、全体の流れ、展開方法、役割分担、資料、教材等)	寒川町健康管理センター	15
5月30日	・平成25年度開始グループの保健指導 (グループ指導9回目※大磯町は8回目) ・グループ運営について(目的、全体の流れ、展開方法、役割分担、資料、教材等)	大磯町福祉センターさざれ石	11
6月6日	平成25年度の実施報告及び平成26年度事業概要について 平成26年度グループの初回保健指導について(対象者、初回保健指導の内容、ロールプレイ)	大磯町保健センター	17
7月1日	平成25年度開始グループの保健指導 (グループ指導10回目及び参加者の追加) ・グループ運営について(目的、全体の流れ、展開方法、役割分担、資料、教材等)	寒川町健康管理センター	12
8月8日	平成25年度生活習慣病重症化グループの継続保健指導 ・卒業と継続・グループ運営について使用する資料 ・12回目以降について 初回保健指導、継続保健指導	寒川町健康管理センター	12
9月16日	平成26年度糖尿病グループの保健指導1～4回、 平成26年度生活習慣病重症化予防グループの継続指導 ・参加予定者について・グループ運営について(全体の流れ展開方法、役割分担、資料、教材等)	大磯町保健センター	14
10月27日	平成26年度糖尿病グループおよび平成26年度生活習慣病重症化予防グループの継続保健指導(平成26年11月～平成27年2月実施分) ・平成26年度糖尿病グループの継続保健指導について ・生活習慣病グループ重症化予防グループの継続保健指導について	寒川町健康管理センター	16
10月30日	糖尿病の運動療法 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科 理学療法士・日本糖尿病療養指導士	寒川町健康管理センター	23
12月16日	平成25年度生活習慣病重症化予防グループの継続保健指導(グループ支援) ・グループ運営、資料、今後について	寒川町健康管理センター	14

イ 支援事業（大磯町分のみ）

平成26年度生活習慣病重症化予防継続グループ（6回 70人）

月 日	内 容	会 場	参加者数
5月30日	「検査値を予測！重症化予防に向けて取り組みを振り返る①」7回目	大磯町保健センター	10
6月27日	「重症化予防の取組みを振り返ります②」8回目	大磯町保健センター	13
7月25日	「検査値を変える、重症化予防に向けて取り組みを振り返る③」9回目	大磯町保健センター	13
8月29日	「重症化予防に向けて今後の取組みの継続について考えます」10回目	大磯町保健センター	10
11月18日	「検査値を予測する！重症化予防に向け取組みの習慣化、継続について考えます」（11回目）	大磯町保健センター	11
1月16日	「検査結果の確認と今後の取り組み」	大磯町保健センター	13

平成26年度大磯町生活習慣病対策講座（7回 160人）

月 日	内 容	会 場	参加者数
10月2日	第1回 あなたの健診結果、大丈夫？～健診結果から自分の体の状態を知ろう～	大磯町保健センター	27
10月24日	第2回 食べ方をチェンジ！～自分の食事の必要量を知ろう～	大磯町保健センター	25
11月6日	第3回 血圧と塩分の関係に迫る！～自分の食事の塩分摂取量を探ろう～	大磯町保健センター	24
11月28日	第4回 食べ方をチェンジ！～隠れあぶら（脂）を見つけだそう～	大磯町保健センター	23
1月21日	第5回 ～検査値の経過の確認～	大磯町保健センター	23
2月18日	第6回 ～生活習慣への取り組みを考える～	大磯町保健センター	19
3月18日	第7回 ～生活習慣への取り組みを考える～	大磯町保健センター	19

平成26年度大磯町糖尿病教室（7回 156人）

月 日	内 容	会 場	参加者数
10月2日	第1回 「糖尿病（高血糖）について知る」	大磯町保健センター	29
10月31日	第2回 「何をどのくらい食べたらいいの？」	大磯町保健センター	28
11月19日	第3回 「血糖値をあげない食べ方」	大磯町保健センター	20
12月3日	第4回 「検査値の改善をめざす」	大磯町保健センター	19
1月21日	第5回 「検診結果を読み解こう～食べ方が検査値に関係する！？」	大磯町保健センター	23
2月18日	第6回 「油と塩分について」	大磯町保健センター	18
3月18日	第7回 「野菜と塩分」	大磯町保健センター	19

ウ モデル事業研修会（4回 14人）

月 日	内 容	会 場	参加者数
10月24日	第2回大磯町生活習慣病対策講座 食べ方をチェンジ！ ～自分の食事の必要量を知ろう～	大磯町保健センター	3
10月31日	第2回大磯町糖尿病教室 「何をどのくらい食べたらいいの？」	大磯町保健センター	5
11月6日	第3回大磯町生活習慣病対策講座 血圧と塩分の関係に迫る！ ～自分の食事の塩分摂取量を知ろう～	大磯町保健センター	1
11月19日	第3回大磯町糖尿病教室 「血糖値をあげない食べ方」	大磯町保健センター	5

17 受動喫煙防止対策

＜企画調整課＞

県民を受動喫煙による健康への悪影響から守ることを目的に平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、条例の対象となる店舗に対して戸別訪問を実施し、条例への対応の状況確認を行い、条例で定める基準に適合していない場合は指導を行う等、条例の円滑な運用を図るとともに、条例を広く周知するため、条例について記載したグッズの県民への配布や、施設管理者向けの説明会等を実施しました。

(1) 戸別訪問実績

(件)

	第1種	第2種							特例第2種	条例対象外	合計
		飲食店	宿泊施設	娯楽施設	理容所	美容所	サービス店舗	計			
延訪問(件)	814	64	4	3	26	49	115	261	25	1100	

(2) 各種イベントにおけるグッズの配布

月 日	イベント名称	場 所	配布部数
6月2日	世界禁煙週間	平塚駅北口階段下	500
6月4日	世界禁煙週間	秦野駅連絡通路、伊勢原駅南口階段下	1,000
6月8日	歯の健康フェスタ	大磯町保健センター、二宮町生涯学習センター	100
10月25日	神奈川大学 平塚祭	神奈川大学湘南ひらつかキャンパス	300
10月26日	横溝記念まつり	大磯町横溝記念障害福祉センター	500
11月3日	秦野市市民の日	秦野市文化会館駐車場	500
11月9日	湘南にのみやふるさとまつり	二宮町生涯学習センター	1,000
その他	かかりつけ医等普及啓発 他	大磯町保健センター 他	1,968

(3) 条例説明会・出張説明会の開催

月 日	説明会名称	場 所	参加者数
5月14日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	11
6月18日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	19
7月16日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	15
8月20日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	12
9月17日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	8
10月15日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	13
11月26日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	19
12月17日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	15
2月17日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	18
2月25日	食品衛生責任者講習会	大磯町立ふれあい会館	60
3月18日	食品衛生責任者講習会	平塚市民センター	312
3月23日	食品衛生責任者講習会	平塚保健福祉事務所	23

第3章

くらしを支える福祉サービス

- 1 地域福祉
- 2 介護保険
- 3 福祉の貸付
- 4 生活保護
- 5 特別障害者手当等の支給
- 6 女性保護・母子福祉
- 7 児童福祉

1 地域福祉

<保健福祉課>

高齢者福祉をはじめ、あらゆる福祉分野において、近年、ますます地域福祉の重要性が高まり、地域の役割が増大している中、きめ細やかな施策を推進するため、地域における福祉活動の中心を担っている民生委員・児童委員や障害福祉相談員に対し、活動経費の助成や研修等の支援を行いました。なお、民生委員・児童委員については平成25年12月1日に3年間の任期が終了し、一斉改選が行われ、一部定数の変更も実施されました。

また、介護と医療、障害等各分野の連携が求められ、地域の活動が活発になっている中、地域ケア会議をはじめ多職種連携の会議等に参加し、制度横断的、広域的な立場から情報提供等の支援を行いました。

(1) 民生委員・児童委員

定数及び活動状況

	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主 任 児童委員	合 計			
平塚市	359	46	405	11,213	69,871	82,757
秦野市	234	24	258	5,296	48,122	62,511
伊勢原市	125	13	138	4,384	23,359	21,760
大磯町	52	2	54	1,202	8,911	12,996
二宮町	44	3	47	1,514	8,189	9,191
合 計	814	88	902	23,609	158,452	189,215

(2) 障害福祉相談員

身近な地域で当事者や家族の目線に立った相談援助を行いました。

ア 定数及び活動状況

(平成25年度から、委嘱や支援については平塚市へ事務委譲されています。)

区 分	定 数	活動件数		
		実践活動	相談・助言活動	合 計
平塚市	19	2,021	455	2,476

イ 相談員研修会

相談対応能力の向上等のための研修会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
12月18日	財産管理と手続き、成年後見制度	平塚市成年後見利用支援センター 主任専門員 中田 栄二	平塚保健福祉事務所	12

(3) 成年後見制度の支援

行政成年後見関係者に対し、成年後見制度の理解を深めるため、事例検討会を実施しました。
また、市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しました。

月 日	内 容	出 席 者	会 場	参加者数
6月19日	市町対応困難事例検討会 (湘南圏域)	市町職員	茅ヶ崎保健 福祉事務所	14
11月28日	成年後見制度に関する意見交換会 (湘南西部圏域)	市町職員、社会福祉協議会 職員	平塚保健福 祉事務所	11

(4) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行いました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
8月27日	発達障害？気になるこどもとまわりの こども～良い関係づくりのために～	筑波大学医学医療系 准教授 水野 智美	平塚保健福 祉事務所	53

(5) 障害者自立支援協議会への支援

ア 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク形成事業

湘南西部障害保健福祉圏域における相談支援ネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図るため、事業委託先である社会福祉法人常成福祉会丹沢自律生活支援センターの活動を支援しました。

会議名	回数
湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	3
相談支援ネットワーク	4
重症心身障害児及び医療的ケアを必要とする方の支援ネットワーク	2

イ 市町自立支援協議会、

会議名	回数
平塚市障がい者自立支援協議会	3
地域生活支援部会 精神分科会	12
地域生活支援部会 身障分科会	1
大磯町・二宮町自立支援協議会	2
部会	5

(6) 管内市町等への支援

ア 福祉の推進

会議名	回数
平塚市成年後見支援 ネットワーク連絡会	1
大磯町地域ケア会議	10
二宮町地域ケア会議	7
平塚市包括支援センター 地域担当者連絡会	8
大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター利用者団体連絡会 横溝記念まつり実行委員会	7

イ 計画策定

会議名	回数
大磯町高齢者福祉計画策定等委員会	4
大磯町障がい者福祉計画策定委員会	3
二宮町障害者福祉計画策定委員会	4

2 介護保険

<保健福祉課>

介護保険指定事業者に対して、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を図るため、指導を実施しました。

組織再編により、平成26年4月から秦野市、伊勢原市も所管しています。

(1) 事業者等指導

ア 集団指導

介護保険指定事業者に対して、介護給付サービスの取り扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点について、介護保険課、高齢施設課及び他の保健福祉事務所と共同で講習会を実施しました。

月 日	内 容	会 場	対象事業者数	参加事業者数
5月 8日	介護保険指定事業者等指導講習会	鎌倉生涯学習センター	1,093	476
5月13日		伊勢原市民文化会館		
5月15日		神奈川県総合医療会館		
5月22日		小田原市民会館		
5月29日		海老名市文化会館		
5月30日		茅ヶ崎市民文化会館		

※ 対象事業者数は、平成26年4月1日現在の平塚保健福祉事務所管内の介護保険指定事業者数（介護予防を含む）

※ 参加事業者数は講習会出席者数

イ 実地指導

指定基準に基づき、介護保険指定事業者等の事業所等に対し、介護給付サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図るため、実地指導を行いました。

サービス区分	実地指導対象数		実地指導実施数	
	介護保険	介護予防	介護保険	介護予防
居 宅 介 護 支 援	126		20	
訪 問 介 護	116	106	12	10
訪 問 入 浴 介 護	12	11	1	1
訪 問 看 護	30	30	6	6
通 所 介 護	162	149	30	29
通所リハビリテーション	13	12	5	4
訪問リハビリテーション	1	1	0	0
短期入所生活介護	25	25	8	8
短期入所療養介護	18	18	5	5
特定施設入居者生活介護	39	37	3	3
福祉用具貸与	29	28	6	6
福祉用具販売	32	31	6	6
介護老人福祉施設	24		7	
介護療養型医療施設	5		0	
介護老人保健施設	13		5	
合 計	645	448	114	78

3 福祉の貸付

＜保健福祉課＞

母子・父子家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸し付けを行いました。

母子・父子福祉資金等の貸付件数

区 分		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	児童 扶養	合計
平塚市	母子			4			4		1	34	29	5			77
	寡婦														0
	特母														0
大磯町	母子									4	4				8
	寡婦														0
	特母														0
二宮町	母子									1	3				4
	寡婦														0
	特母														0
合 計	母子	0	0	4	0	0	4	0	1	39	36	5	0	0	89
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特母	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※「母子」とは「母子・父子福祉資金」、「寡婦」とは「寡婦福祉資金」、「特母」とは「特別母子福祉資金」の略です。

4 生活保護

<生活福祉課>

生活保護法は、憲法第25条によって保障される生存権を実現するための制度のひとつとして制定された法律であり、最低限度の生活の保障とその自立の助長を目的としています。

当所では、生活等の相談に応じるとともに生活保護法の目的を達成するべく、扶助費の支給等により保護を実施するとともに就労支援や児童の健全育成にも取り組み、自立への支援を行いました。

当管内（大磯町、二宮町）の保護世帯数は、平成17年度の246世帯をピークに一時横ばい傾向を示しましたが、平成20年のリーマンショック後の不況、特に雇用情勢に悪化の影響を受け、平成21年度から大幅な増加に転じましたが、平成26年度平均では382世帯となっています。

(1) 生活相談事業

(平成26年度)

世帯類型	相談の主な理由													合計	
	世帯主の傷病	世帯員の傷病	要介護状態	稼働者の死亡離別 (DVを含む)	稼働収入の減少・喪失					社会保障給付金の 減少・喪失	貯金の減少・喪失	扶養の減少・喪失	ケース移管		その他
					定年・自己都合	解雇・勤務先都合	老齢による収入減	事業不振・倒産	その他						
高齢者世帯	21	3		3		1	1		8		21	1	5		64
母子世帯	1			9					2		2		1		15
障害者世帯	8	1		2		5			4		4				24
傷病者世帯	26			2		1			4		4		2		39
その他世帯	22	6		1		13			28	1	6	1			78
合計	78	10	0	17	0	20	1	0	46	1	37	2	8	0	220

(2) 扶助別被保護世帯数・人員の状況

(平成27年3月分)

区分		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	保護を受けた者	保護率(%)
大磯町	世帯数	127	123	10	39	125		5		154	6.48
	人員	174	168	14	41	163		6		208	
二宮町	世帯数	191	188	17	43	197		7		223	10.40
	人員	254	252	23	44	239		9		298	
合計	世帯数	318	311	27	82	322	0	12	0	377	8.32
	人員	428	420	37	85	402	0	15	0	506	

(3) 保護の開始・廃止の状況

ア 理由別開始世帯の状況

(平成26年度)

区分	傷病		要介護状態	働いていた者		失業		老齢による収入の減少	事業不振・倒産	その他の働きによる収入の減少	社会保障給付金の減少・喪失	預貯金の減少・喪失	仕送りの減少・喪失	ケース移管	その他	合計
	世帯主	世帯員		死亡	離別等	定年・自己都合	勤務先都合(解雇等)									
大磯町	8	2				7						2	2		7	28
二宮町	9				1	1	1	2		3		3		3	6	29
合計	17	2	0	0	1	8	1	2	0	3	0	5	2	3	12	57

イ 理由別廃止世帯の状況

(平成26年度)

区分	世帯主の傷病の治癒	世帯員の傷病の治癒	死亡	失踪	稼働収入の増加	働き手の転入	社会保障給付金の増加	仕送りの増加	親族縁者等の引取	施設入所	医療費の他法負担	ケース移管	その他	合計
二宮町			6	1	7				3	1		2	6	26
合計	0	0	12	7	13	0	1	0	6	2	0	3	11	55

(4) 世帯類型別被保護世帯の状況

(平成27年3月分)

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合計
大磯町	78	9	21	17	29	154
二宮町	119	15	23	41	25	223
合計	197(52.1)	24(6.3)	44(11.6)	58(15.4)	54(14.3)	377(100.0)

※ () 内は、総数に占める割合 (%)

(5) 労働力類型別被保護世帯の状況

(平成27年3月分)

区分	稼働世帯					非稼働世帯	合計
	世帯主が働いている世帯				世帯員稼働		
	常用	日雇	内職	その他			
大磯町	20	1	2	4	6	121	154
二宮町	22		1	1	8	191	223
合計	42	1	3	5	14	312	377

(6) 医療扶助

(平成27年3月分)

区 分	入 院			入 院 外			合 計
	精 神	その他	計	精 神	その他	計	
大磯町	6	8	14		149	149	163
二宮町	6	7	13	2	224	226	239
合 計	12	15	27	2	373	375	402

※ 他法により医療費が賄われ、医療扶助の給付がないものは含まれていません。

(7) 生活保護施設措置状況

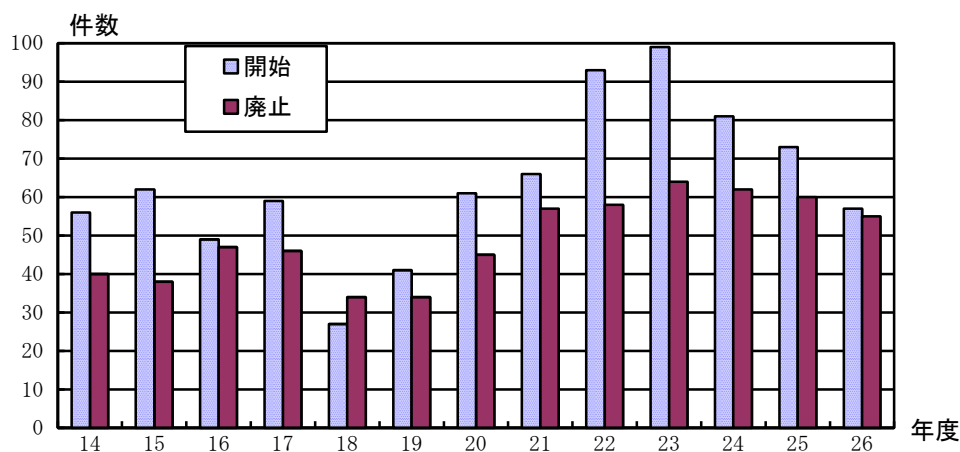
(平成27年3月分)

区 分	救護施設	更生施設	合 計
大磯町	2	1	3
二宮町	2		2
合 計	4	1	5

※ 町の区分は発生地による

(8) 保護の開始・廃止世帯件数の推移

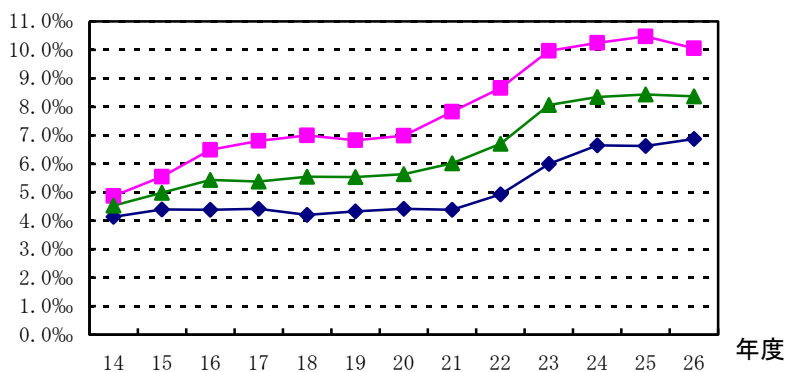
区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
開 始	56	62	49	59	27	41	61	66	93	99	80	73	57
廃 止	40	38	47	46	34	34	45	57	58	64	63	60	55



(9) 保護世帯数等の推移（年度平均）

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
大磯町	世帯数	94	103	104	103	97	96	101	106	114	131	146	151	162
	人員	132	143	143	144	138	142	145	144	162	197	218	216	223
	保護率 ‰	4.14	4.40	4.39	4.42	4.21	4.33	4.42	4.39	4.93	6.00	6.65	6.63	6.87
二宮町	世帯数	109	119	131	143	148	149	151	169	182	204	216	222	220
	人員	152	170	198	206	210	203	207	232	256	287	300	303	290
	保護率 ‰	4.87	5.54	6.49	6.81	7.00	6.83	6.98	7.83	8.66	9.97	10.25	10.47	10.06
中郡	世帯数	203	222	235	246	245	245	252	275	296	335	362	373	382
	人員	284	313	341	350	348	345	352	376	418	484	518	519	512
	保護率 ‰	4.53	4.98	5.43	5.38	5.55	5.53	5.64	6.02	6.70	8.07	8.35	8.44	8.37

保護率の推移



(10) 生活保護費の状況

(単位：円)

区分	大磯町	二宮町	合計
生活扶助	108,117,250	146,661,143	254,778,393
住宅扶助	64,225,446	82,633,918	146,859,364
教育扶助	1,787,292	2,313,974	4,101,266
介護扶助	3,535	72,045	75,589
医療扶助	2,045,153	3,932,255	5,977,408
出産扶助			0
生業扶助	1,207,285	2,530,089	3,737,374
葬祭扶助	393,120	571,440	964,560
保護施設事務費	5,989,200	4,582,793	10,571,993
合計	183,768,281	243,297,666	427,065,947
就労自立給付金	192,982	166,568	359,550
総計	183,961,263	243,464,234	427,425,497

※ 医療扶助、介護扶助は、当所で直接支出した額であり、支払基金経由分（介護扶助は、国保連合会経由分）は含みません。

5 特別障害者手当等の支給

＜生活福祉課＞

日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児者に対し、町と連携して特別障害者手当等の支給事務を行いました。

特別障害者手当等の支給状況

(平成27年3月31日現在)

区分	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当	合 計
大磯町	8	1	19	28
二宮町	12	1	21	34
合計	20	2	40	62

6 女性保護、母子・父子福祉

＜生活福祉課＞

母子・父子・寡婦世帯に対する離婚等の家庭問題、就労、経済、子どもの養育等の相談を受け、生活の安定と自立に向けた支援、福祉資金の貸付等と女性や母子の一時保護を実施しました。

(1) 母子・父子自立支援員の相談指導実施状況

区 分		相談件数				
		大磯町	二宮町	その他	合 計	
生 活 一 般	住 宅	4	3	1	8	
	医 療 ・ 健 康	病 気	8	3	1	12
		障 害	2	1		3
		そ の 他	1	1		2
	家 庭 紛 争	配偶者等の暴力	19	17	2	38
		そ の 他	1	8	1	10
	就 労	求 職 ・ 転 職	3	5	1	9
		資格取得・職業訓練	5	4	3	12
		職 場 の 悩 み				0
		そ の 他	1		1	2
	結 婚				0	
	養 育 費				0	
	借 金	2	1		3	
そ の 他	10	3	4	17		
小 計	56	46	14	116		
児 童	養 育	保育所入所	4	1		5
		虐 待	2	5	1	8
		そ の 他	8	4		12
	教 育	10	3	6	19	
	非 行					
	就 職	1			1	
	そ の 他	4	5		9	
小 計	29	18	7	54		
経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護	母子福祉資金	貸 付	34	18	11	63
		償 還	23	14	3	40
	父子福祉資金	貸 付		4		4
		償 還		3		3
	寡婦福祉資金	貸 付	1			1
		償 還	1			1
	公 的 年 金	1	2		3	
	児 童 扶 養 手 当	5	1		6	
	生 活 保 護	2	3	1	6	
	税		1		1	
生 活 福 祉 資 金				0		
そ の 他	5	2		7		
小 計	72	48	15	135		
そ の 他	売店設置（法第25条）				0	
	たばこ販売（法第26条）				0	
	母子・父子世帯向公営住宅（法第27条）				0	
	母子・父子福祉施設の利用				0	
	母子生活支援施設（児童福祉法第38条）	3	8	1	12	
小 計	3	8	1	12		
合 計		160	120	37	317	

(2) 女性相談員の相談実施状況

区分	相談内容										処理状況										
	施設入所希望	経済問題	職業問題	住宅問題	家族問題		暴力団・ヒモ等の問題	更正相談	その他	合計	就職・自営	結婚	家庭への送還	福祉事務所へ	女性相談所へ	他府県の女性相談所へ	その他関係機関・施設へ	助言指導	その他	合計	
					夫婦間問題	その他															
面接相談	大磯町			1	7	2			5	15			1	3	2		4	5		15	
	二宮町		1		1	7				9	1			1	1		2	4		9	
	その他				1				1	2								2		2	
	合計	0	1	0	3	14	2	0	0	6	26	1	0	1	4	3	0	6	11	0	26
電話相談	大磯町		1		2	5				8									8		8
	二宮町				2	8	5			15									15		15
	その他					3				3									3		3
	合計	0	1	0	4	16	5	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	26	0	26

年齢区分	18歳未満	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	年齢不詳	合計
人数 (面接+電話相談)		1	3	16	14	13	1	4	52

7 児童福祉

<生活福祉課>

児童福祉法に基づく助産施設、母子生活支援施設利用に関する相談、支援等を行うとともに、児童虐待等について、児童相談所、市町等の関係機関と連携し、その防止や支援を行いました。

(1) 助産施設利用状況

社会保険等の出産育児一時金等の充実により、制度の利用者は、生活保護受給者等一部に限られてきており、近年利用がほとんど無い状況で、平成26年度は利用がありませんでした。

(2) 母子生活支援施設入所状況

当所管内には、母子生活支援施設がなく、また、県内にも少ないことから、保護を要する母子家庭への対応は厳しい状況にあり、本県所管外の施設を利用することになっています。平成26年度は2家族が退所し、新たに2家族が利用を開始しました。いずれも県所管外の施設を利用しています。

第4章

保健・医療・福祉の基盤づくり

- 1 湘南西地区保健医療福祉推進会議
- 2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進
- 3 地域医療連携の推進
- 4 高齢者保健福祉計画の推進
- 5 健康危機管理
- 6 救急医療対策の推進
- 7 人材育成
- 8 医務・薬務
- 9 献血
- 10 免許取扱事務
- 11 保健衛生等表彰
- 12 ネットワークづくり

1 湘南西地区保健医療福祉推進会議

＜企画調整課＞

県保健医療計画で定められた湘南西部地区二次保健医療圏における、保健、医療、福祉に関する計画の策定、着実な推進など、保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、湘南西部地区二次保健医療圏内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、関係団体、行政機関等で構成する湘南西地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

また、この推進会議の下に、地域保健医療計画及び高齢者保健福祉計画の推進について協議・検討を行う保健医療福祉推進専門部会を、地域保健と職域保健における連携の推進について協議・検討を行う地域・職域連携推進専門部会をそれぞれ設置しています。

区分	月日	内容	会場	出席者数
湘南西地区保健医療福祉推進会議	1月21日	1 湘南西部二次保健医療圏における病床整備に係る病院開設許可申請の延長 2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の進行管理について 3 地域・職域連携推進事業の実施状況について	平塚保健福祉事務所	25
地域・職域連携推進専門部会	7月15日	1 部会長及び副部会長の選任について 2 平成25年度地域・職域連携推進事業実施結果について 3 事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業の取組み結果について 4 平成26年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 5 地域・職域連携推進事業の新規事業案について 6 その他	平塚保健福祉事務所	16
地域・職域連携推進専門部会ワーキンググループ	6月25日	1 平成25年度地域・職域連携推進事業実施結果について 2 平成26年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 3 地域・職域連携推進事業の新規事業案について 4 「事業所におけるがん予防・がん検診普及啓発モデル事業」におけるがんに関する事後実態調査結果について 5 その他	平塚保健福祉事務所	28
	2月9日	1 平成26年度地域・職域連携推進事業実施結果について 2 平成27年度地域・職域連携推進事業実施計画案について 3 平成26年度新規取組「若い世代から働き盛りの健康力アップ事業」について 4 その他	平塚市社会福祉協議会 平塚栗原ホーム	22

2 湘南西部地区地域保健医療推進指針の推進

＜企画調整課＞

地域保健医療推進指針は、神奈川県保健医療計画の趣旨に沿い、各地域における保健医療施策を推進するため、二次保健医療圏域ごとに、地域の特性に応じた課題の解決に向けた取組みの方向性を示すものです。

指針の概要

○重点課題・施策の方向性

- ◇ 地域に根ざした健康増進の総合的な推進
- ◇ 地域の関係機関の連携等による地域医療の推進
- ◇ 多様な保健・医療・福祉ニーズへの対応
- ◇ 健康危機管理体制の充実

○指針の期間

特に定めず、必要に応じて常に指針の見直し・修正を行うものとする。

3 地域医療連携の推進

<企画調整課>

人口の急速な高齢化等とともに進む医療を取り巻く環境の大きな変化の中で、地域住民が「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本として、保健医療提供体制を整備するため、脳卒中をモデル事業とした「湘南西部地区地域連携クリティカルパス」の導入・普及に取り組むとともに、地域における在宅医療の推進に向け新たに「地域在宅医療推進協議会」を設置し、広域的な保健・医療・福祉との連携を強化することを目的とする「地域包括ケア会議」と合同で会議を開催するとともに研修会を実施しました。

(1) 湘南西部地区地域連携クリティカルパス導入普及事業

脳卒中における急性期治療からリハビリテーション、在宅医療に至る医療連携体制の構築を図るため、「湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会」を開催するとともに、在宅医療を担う診療所や介護サービス事業者を加えたワーキンググループを開催し、維持期への普及や医療と介護の連携に向けた取り組みについて検討を行うなど、パスの普及に取り組みました。

ア 湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会

月 日	内 容	会 場	出席者数
10月21日	・脳卒中地域連携クリティカルパスの普及状況について ・維持期医療機関・介護施設へのクリティカルパスの運用拡大について	平塚保健福祉事務所	8

イ 湘南西部地区地域連携クリティカルパスワーキンググループ

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月15日	・脳卒中地域連携クリティカルパスの普及状況について ・維持期医療機関・介護施設へのクリティカルパスの運用拡大について	平塚保健福祉事務所	14

(2) 在宅医療・地域包括ケア推進事業

地域包括ケアシステムの構築及び在宅医療の推進に向け、保健・医療・福祉との連携・協働体制の整備を図るため、平塚保健福祉事務所地域在宅医療推進協議会を設置し、平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議と合同で会議を開催するとともに研修会を実施しました。

ア 地域包括ケア・地域在宅医療推進協議会合同会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
12月4日	・平塚市、中郡における在宅医療の推進事業について ・在宅医療推進に係る課題と対応策の検討について ・研修会の実施について	平塚保健福祉事務所	31

イ 在宅医療推進研修会

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月14日	「地域における在宅医療の現状と課題～病院と在宅医療・介護の連携を進めるために～」 1 パネリスト報告 2 パネルディスカッション 3 参加者との意見交換	平塚保健福祉事務所	79

(3) かかりつけ医等の普及事業

平成25年度に大磯町と連携し、町内自治会館等で実施される町独自の健康増進事業「おあしす24 健康おおいぞ」で、かかりつけ医（かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局）（以下「かかりつけ医等」）の普及啓発を行い、平成26年度は平塚市・二宮町の健康講座等においてもかかりつけ医等の普及啓発を行いました。

市 町	月 日	内 容	場 所	回 数	参加者数
平塚市	7月～12月	・かかりつけ医等の役割及び持つ必要性について ・お薬手帳の活用法について	平塚市保健センター	3	51
大磯町	7月～3月		大磯町内自治会館、大磯町立幼稚園等	8	127
二宮町	7月～12月		二宮町役場、二宮町保健センター	5	67

4 高齢者保健福祉計画の推進

＜企画調整課＞

戦後生まれのいわゆる「団塊の世代(昭和22年から24年生まれ)」が75歳以上の後期高齢者となる平成37(2025)年には、県民のおよそ4人に1人が65歳以上の高齢者となるなど、超高齢社会の到来に備え、県では、平成24年に策定した「かながわ高齢者保健福祉計画」を、これまでの施策の実施状況や来るべき超高齢社会における課題などを踏まえ、平成27年3月に改定しました。

当所では、湘南西部保健福祉圏域内市町の計画策定の支援・調整等を実施し、圏域内市町との連携のもと、計画の円滑な推進に努めました。

かながわ高齢者保健福祉計画の概要

<p>○ 計画の基本目標</p> <p>「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」の実現</p> <p>○ 計画の性格</p> <p>老人福祉法及び介護保険法に基づく法定計画である「老人福祉計画」及び「介護保険事業支援計画」を一体化したものとし、県の総合計画「かながわグランドデザイン」を支える個別計画として位置づける計画</p> <p>○ 計画の期間</p> <p>平成27年度から平成29年度までの3年間</p> <p>○ 保健福祉圏域</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者保健福祉圏域は、保健・医療・福祉の広域的な連携を図る観点から、二次保健医療圏と同一の地域・平塚保健福祉事務所が所管する湘南西部保健福祉圏域は、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町の3市2町
--

5 健康危機管理

＜企画調整課、保健予防課、環境衛生課＞

平成25年8月に作成された「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、地域の関係機関と密接に連携を図りながら、地域の実情に応じた新型インフルエンザ等対策における地域医療体制の整備を推進することを目的に「平塚保健福祉事務所地域医療体制対策会議」を設置するとともに、新型インフルエンザ等の発生時の各段階での迅速かつ的確な対応に向け、役割及び対応手順を相互に理解し連携強化を図るため、平塚地域において関係機関が発生時を想定した対応合同訓練を実施しました。

(1) 平塚保健福祉事務所地域医療体制対策会議

月 日	内 容	会 場	出席者数
3月5日	・ 新型インフルエンザ等対策における地域医療体制の整備の取組状況について ・ 今後の各機関の連携について	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	19

(2) 新型インフルエンザ対応合同訓練

月 日	訓練の内容	実施主体	会 場	参加者数
11月29日	救急患者対応、患者受診調整、診療、入院受入、重症患者搬送、検体搬送、ワクチン集団接種・会場警備	平塚市医師会、平塚市、平塚市消防本部、平塚市民病院、平塚警察署、平塚保健福祉事務所	休日夜間診療所 平塚市民病院	79

6 救急医療対策の推進

＜企画調整課＞

病院前救護において、一般県民が果たす役割は重要であることから、より多くの県民が一次救命処置を含む応急手当の手技を習得できるよう、救急法講習会を開催しました。

月 日	内 容	講師	会 場	参加者数
11月4日	応急手当、心肺蘇生法及びAEDの実習	平塚市消防本部 救急救命士	平 塚 保 健 福 祉 事 務 所	37

7 人材育成

＜全課＞

地域の様々なニーズや課題に対応できる保健・医療・福祉の幅広い知識と技術の共有を図るため、地域の実態に即した内容の研修を実施しました。また、看護学生などの実習生を受け入れ、指導しました。

(1) 人材育成

研 修 名	対 象	担当課
管内保健師研究会・研修会	保健福祉事務所及び管内市町保健師	企画調整課
保健衛生研修 (母子保健対策推進研修、在宅栄養士研修、在宅歯科衛生士研修)	市町及び県の母子保健従事者、在宅栄養士、在宅歯科衛生士、養護教諭、教諭、保育士等	
保健医療福祉系学生実習受け入れ	医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉士志望学生等	
JICA来日研修生実習受け入れ	諸外国医療従事者	
禁煙サポート研修会	医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、企業の健康担当者、市町関係職員、県保健福祉事務所職員等	
特定給食施設等講習会	特定給食施設等栄養士等	保健福祉課
地域活動栄養士研修会	栄養士会員、在宅栄養士	
食生活改善推進団体育成	食生活改善推進員リーダー	
障害福祉相談員研修	障害福祉相談員	
成年後見制度研修会	相談支援従事者等	
管内歯科保健事業従事歯科衛生士連絡会	管内歯科保健事業従事歯科衛生士	
在宅難病患者在宅ケア従事者研修会	訪問看護師、介護支援専門員等	保健予防課
認知症サポーター養成講座	管内企業、警察署職員、薬剤師会会員、介護保険事業所職員等	
地域自殺対策人材養成研修	管内企業人事担当者、企業職員、相談支援事業所職員等	
地域精神保健福祉人材養成研修会	企業人事担当者、相談支援事業所職員等	
結核医療従事者研修会	医療機関職員等	
感染症予防研修会	介護保険事業所、障害児者、児童福祉施設の管理者、看護職員、介護職員等	
地域エイズ予防講演会	管内医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町保健福祉関係者、保健福祉事務所関係者	
食品衛生指導員研修会	食品衛生指導員	食品衛生課

※ 研修の詳細は、各事業の項に掲載

(2) 保健衛生研修

保健・医療・福祉に対する専門知識の習得や技術の向上を目的として、母子保健対策推進研修、在宅歯科衛生士研修、在宅栄養士研修の3研修を合同で実施しました。

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
10月31日	発達障害の理解〈基礎編〉 ～ちょっと気になる子どもの理解のために～	総合療育相談センター 福祉医療部長 原口 光代	平塚保健福祉事務所	35
11月7日	発達障害の理解〈応用編PART I〉 ～低年齢の発達障害児の摂食機能の発達支援～	芳賀デンタルクリニック 院長 芳賀 定	平塚保健福祉事務所	54
1月19日	発達障害の理解〈応用編PART II〉 ～気になる子ども・保護者の乳幼児健診や保育・教育場面での対応～	NPO法人ワンダートンネル 理事長 千谷 史子	伊勢原シティプラザ	41

(3) 保健医療福祉学生等実習

ア 合同オリエンテーションの開催

当所で実習を受け入れる保健師、看護師、栄養士学生等を対象にオリエンテーションを実施し、保健福祉事務所業務の概要説明及び実習事前指導を実施しました。

区分	月 日	内 容	会 場	学校数	実習生数
前 期	4月11日	平塚保健福祉事務所業務の概要について	平塚保健福祉事務所	9	73
後 期	9月5日	市町における保健事業について等		10	55

イ 実習実施状況

区 分	学校数	実習期間	実習生数
保 健 師	5	2週	19
看 護 師	8	2日	87
助 産 師			
管 理 栄 養 士	5	1週	15
歯 科 衛 生 士	1	1日	6
社 会 福 祉 士	1	23日	1
合 計	18		128

8 医務・薬務

<企画調整課、環境衛生課>

安全で適正な医療の確保を確保するため、医療法第25条に基づき病院、診療所に対し立入検査を実施するとともに、医薬品の適正な管理・販売を徹底するため、薬局、医薬品販売業者等に対し、立入検査を実施しました。

(1) 医療施設の状況

ア 医療施設数・人口10万対医療施設数

(平成27年3月31日現在)

区分	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平塚市	9	3.5	187	72.7	133	51.7	6	2.3	369	143.5	66	25.7	27	10.5
大磯町	1	3.1	20	61.7	17	52.4	1	3.1	49	151.1	1	3.1	4	12.3
二宮町			21	73.0	20	69.5	2	7.0	63	219.0	5	17.4	8	27.8
管内計	10	3.1	228	71.6	170	53.4	9	2.8	481	151.1	72	22.6	39	12.2

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成25年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

イ 医療施設数・人口10万対の推移(管内)

(平成27年3月31日現在)

年度	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あん摩・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
平成17年度	10	3.1	212	65.9	169	52.5	7	2.2	352	109.4	34	10.6	27	8.4
平成18年度	10	3.1	212	65.7	168	52.1	7	2.2	374	116.0	44	13.6	30	9.3
平成19年度	10	3.1	220	68.2	168	52.1	7	2.2	375	116.2	42	13.0	31	9.6
平成20年度	10	3.1	226	69.9	166	51.4	3	0.9	391	121.0	50	15.5	31	9.6
平成21年度	10	3.1	223	69.3	169	52.5	3	0.9	411	127.3	57	17.7	32	9.9
平成22年度	10	3.1	224	69.3	172	53.2	3	0.9	421	130.2	61	18.9	35	10.5
平成23年度	10	3.1	224	69.4	175	54.2	3	0.9	436	135.1	64	19.8	35	10.8
平成24年度	10	3.1	225	70.0	174	54.1	7	2.2	449	139.7	63	19.6	36	11.2
平成25年度	10	3.1	235	73.5	172	53.8	9	2.8	461	144.2	65	20.3	38	11.9
平成26年度	10	3.1	228	71.6	170	53.4	9	2.8	481	151.1	72	22.6	39	12.2

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(各年10月1日現在)」より。)

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

ウ 病床数・人口10万対病床数

(平成27年3月31日現在)

区分	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平塚市	1,055	410.2	580	225.5	603	236.4	6	2.3	2,244	872.5	104	40.4	2,348	912.9
大磯町	352	1,085.1							352	1,085.1			352	1,085.1
二宮町														
管内計	1,407	441.9	580	182.2	603	189.4	6	1.9	2,596	815.3	104	32.7	2,700	848.0

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(平成25年10月1日現在)」より。)

エ 病床数の推移

(平成27年3月31日現在)

年度	病 院										一般診療所		管内計	
	一 般		療 養		精 神		感 染		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
平成17年度	1,515	470.4	584	181.4	603	187.3	6	1.9	2,708	841.3	244	75.8	2,952	917.1
平成18年度	1,515	469.8	615	190.7	603	187.0	6	1.9	2,739	849.4	233	72.3	2,972	921.7
平成19年度	1,553	481.2	575	178.2	603	186.8	6	1.9	2,737	848.0	156	48.3	2,893	896.4
平成20年度	1,551	479.9	575	177.9	603	186.6	6	1.9	2,735	846.3	156	48.3	2,891	894.5
平成21年度	1,461	452.5	575	178.1	603	186.8	6	1.9	2,645	819.3	126	39.0	2,771	858.3
平成22年度	1,461	451.8	580	179.4	603	186.5	6	1.9	2,650	819.6	109	33.7	2,759	853.3
平成23年度	1,461	452.8	580	179.8	603	186.9	6	1.9	2,650	821.3	124	38.4	2,774	859.8
平成24年度	1,413	439.6	580	180.4	603	187.6	6	1.9	2,602	809.5	104	32.6	2,726	848.1
平成25年度	1,413	441.9	580	181.4	603	188.6	6	1.9	2,602	813.7	104	32.6	2,726	852.4
平成26年度	1,407	441.9	580	182.2	603	189.4	6	1.9	2,596	815.3	104	32.7	2,700	848.0

(平塚保健福祉事務所調べ。人口10万対の人口は県統計センター「神奈川県の人口と世帯(各年10月1日現在)」より。)

オ 許可・届出取扱い件数

(平成27年3月31日現在)

区 分		病 院	一般診療所	歯科診療所	X線装置	助産所	あん摩・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
許 可	開 設		22	1					
	使 用	3	2						
	変 更	23	6	2					
届 出	開 設		24	5	41		32	9	1
	変 更	6	45	11	12		16	15	
	再休廃		32	8	44		13	2	
計		32	131	27	97		61	26	1

※ 助産所、あん摩・はり・きゅうは、出張を含む。

カ 病院、診療所立入検査実施状況

区 分	実施数	指導結果					
		文書指摘		文書指導		口頭指導	
		医療機関数	件 数	医療機関数	件 数	医療機関数	件 数
病 院	10					6	7
診 療 所	5			3	5	5	8

キ 新規開設診療所等現地確認実施状況

年 度	一般診療所	歯科診療所	助産所	施術所		歯科技工所
				あん摩・はり・きゅう	柔道整復	
平成22年度	3	1		11	7	1
平成23年度	6	8		9	5	1
平成24年度	6	3	1	12	2	2
平成25年度	8	4		19	5	3
平成26年度	1	3		16	9	1

※ 新規開設診療所等現地確認は平成22年度より実施。

(2) 医療従事者の状況

管内に在住又は就業する医療従事者数の調査については、隔年で実施されており、公表されている最新の状況は次のとおりです。

区 分	医 師		歯 科 医 師		薬 剤 師		保 健 師		助 産 師	
	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対
平塚市	397	153.1	163	62.8	382	147.3	68	26.2	43	16.6
大磯町	90	274.8	18	55.0	61	186.3	10	30.6	1	3.1
二宮町	25	85.3	18	61.4	50	170.6	6	20.5	3	10.3
管内計	512	159.3	199	61.9	493	153.4	84	26.2	47	14.6
神奈川県	17,567	193.6	6,972	76.9	15,776	173.9	1,965	21.7	2,091	23.0

区 分	看 護 師		准 看 護 師		歯 科 衛 生 士		歯 科 技 工 士	
	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対	人 数	10万対
平塚市	1,552	598.8	361	139.3				
大磯町	381	1165.6	29	88.7				
二宮町	42	143.5	24	82.0				
管内計	1,975	615.0	414	128.9	265	82.5	66	20.6
神奈川県	56,674	624.7	10,864	119.7	6,853	75.5	1,687	18.6

※ 医師、歯科医師、薬剤師数は「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成24年12月31日現在）」のうち、医療施設の従事者数（薬剤師は薬局も含む）（従業地で集計）

※ 保健師、助産師、看護師、准看護師数は「保健師、助産師、看護師、准看護師業務従事者届（平成24年12月31日現在）」による。（従業地で集計）

(3) 薬局・医薬品販売業等の状況

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

(平成27年3月31日現在)

区 分	薬 局	医 薬 品 販 売 業			薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 販 売 業	薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 業	医 薬 品 等 製 造 業	高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 理 医 療 機 器 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 内 計
		店 舗	卸 売	計						
平塚市	118	42	20	62	12	12	15	103	507	829
大磯町	15	4	1	5			1	10	45	76
二宮町	16	5		5				6	61	88
管内計	149	51	21	72	12	12	16	119	613	993

イ 許可・届出取扱い件数

区 分	薬 局	医 薬 品 販 売 業			薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 販 売 業	薬 局 製 造 販 売 医 薬 品 製 造 業	高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 理 医 療 機 器 販 売 業 ・ 貸 与 業	管 内 計
		店 舗	卸 売	計					
新規許可申請	9	3	1	4	1	1	14	90	119
許可更新申請	11		1	1			3		15
変更届	337	115	6	121	2	2	54	71	587
廃止届	9	3	1	4	1	1	6	24	45

ウ 薬事監視指導状況

区分	薬局	医薬品販売業			薬局製造販売 医薬品製造販売業	薬局製造販売 医薬品製造業	医薬品製造等 業	高度管理医療機器等 販売業・貸与業	管理医療機器販売業・ 貸与業	管内計
		店舗	卸売	計						
対象数	149	51	21	72	12	12		119	613	977
監視指導件数	69	27	7	34	8	8	8	59	114	300

9 献血

<企画調整課>

保健福祉事務所、各市町、神奈川県赤十字血液センターが協力して、住民及び事業所等の理解を深めるため、献血の推進に取り組みました。

(1) 目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平塚市	50.6	85.4	1,910.4	2695.2	1961.0	2780.6
大磯町	2.8	1.8	99.2	26.4	102.0	28.2
二宮町	2.0		86.0	21.2	88.0	21.2
管内計	55.4	87.2	2,095.6	2,742.8	2,151.0	2,830.0

(2) 年度別目標値、献血量（献血車による街頭・事業所献血）

区分	200mL献血		400mL献血		合計	
	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)	目標(L)	献血量(L)
平成17年度	55	102	2,732	2,602	2,787	2,704
平成18年度	59	118	2,818	2,461	2,877	2,579
平成19年度	56	78	2,743	2,666	2,799	2,744
平成20年度	44	29	2,460	2,777	2,504	2,806
平成21年度	45	7	2,475	2,367	2,520	2,374
平成22年度	41	3	2,458	2,566	2,499	2,569
平成23年度	56	4	1,710	2,350	1,766	2,353
平成24年度	33	33	2,135	2,470	2,168	2,502
平成25年度	32	85	2,065	2,559	2,097	2,644
平成26年度	55	87	2,096	2,743	2,151	2,830

10 免許取扱事務

＜管理課、環境衛生課、食品衛生課＞

(1) 医療従事者関係

区 分	免許申請	書換・籍訂正	再 交 付	登録抹消	合 計
医 師	22	8	1		31
歯 科 医 師	4	2		1	7
薬 剤 師	41	8		2	51
保 健 師	29	8	1		38
助 産 師	2	3			5
看 護 師	130	71	9		210
准 看 護 師	5	8	1	1	15
栄 養 士	41	15	1		57
管 理 栄 養 士	26	12			38
診 療 放 射 線 技 師	4	3			7
臨 床 検 査 技 師	19	3			22
理 学 療 法 士	23	3			26
作 業 療 法 士	8	4			12
視 能 訓 練 士	1				1
歯 科 技 工 士	5				5
死体解剖資格認定医					
合 計	360	148	13	4	525

(2) 環境衛生関係

区 分	免許申請	訂 正	再 交 付	合格証明書交付	合 計
ク リ ー ニ ン グ 師	1				1

(3) 食品衛生関係

区 分	免許申請	書 換	再 交 付	合 計
ふ ぐ 包 丁 師	2	2	1	5
製 菓 衛 生 師	7	1	1	9
調 理 師	98	8	10	116
合 計	107	11	12	130

11 保健衛生等表彰

<管理課>

(1) 神奈川県保健衛生表彰

ア 知事表彰（期日：平成26年11月19日実施）

(ア) 医療関係功労者

氏名	職業
井上 惣一郎	医師
大草 信人	歯科医師
相馬 滋子	薬剤師
望月 かおり	歯科衛生士

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
浅田 利一	理容業

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
高橋 利治	菓子製造業

イ 保健福祉事務所長表彰（期日：平成26年11月17日実施）

(ア) 医療関係功労者

(医師、歯科医師、薬剤師)

氏名	職業
高山 秀明	医師
今村 豊	歯科医師
熊坂 久雄	歯科医師
中田 盾子	薬剤師

(看護師、診療放射線技師、鍼灸マッサージ師)

氏名	職業
林 洋子	看護師
林 和代	看護師
石井 美千代	看護師
小幡 愛子	看護師
河並 昭彦	診療放射線技師
関口 博子	臨床検査技師
沼田 浩吉	理学療法士

(イ) 環境衛生関係功労者

氏名	職業
小森 久司	獣医師

(ウ) 食品衛生関係功労者

氏名	職業
大久保 繁幸	飲食店営業
石原 和久	飲食店営業

(エ) 地域公衆衛生活動関係功労者

氏名	職業等
松井陽代	管理栄養士
中西陽子	団体役員

(オ) 施設

施設名	代表者名
くれたけ	浅倉今朝文
中華料理鳳蘭	鈴木正雄

12 ネットワークづくり

<全課>

(1) 当所主催会議

委員会・会議名		委員数	開催回数			担当課
			委員会	部会等	ワーキング等	
保健福祉サービス連携調整会議	継続看護連絡会	62	1	3		保健福祉課
	難病委員会	22	1			保健予防課
	母子保健委員会	25	1	1		保健福祉課
	地域食生活対策推進協議会	12	1	1		保健福祉課
	地域精神保健福祉連絡協議会	20	1			保健予防課
	歯及び口腔の健康づくり推進委員会	14	1	2		保健福祉課
地域連携クリティカルパス検討委員会		10	1		1	企画調整課
薬物乱用防止推進地域連絡会		20	1			環境衛生課
平塚地区海水浴場対策連絡協議会		15	1			環境衛生課
平塚保健福祉事務所エイズ対策推進会議		16	1			保健予防課
平塚保健福祉事務所地域医療体制対策会議		19	1			企画調整課
平塚保健福祉事務所地域包括ケア会議		18	1			企画調整課
平塚保健福祉事務所地域在宅医療推進協議会		18	1			企画調整課

(2) 市町主催会議

市 町	委員会・会議名	当所主管課	職名又は職種
平塚市	平塚市防災会議	管 理 課	所 長
	平塚市国民健康保険運営協議会	管 理 課	所 長
	平塚市病院運営審議会	管 理 課	所 長
	平塚市国民保護協議会	管 理 課	所 長
	平塚市児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	平塚市学校保健会	管 理 課	所 長
	養護老人ホーム入所判定委員会	保健福祉課	課 長
	平塚市コーディネーター検討会	保健福祉課	福 祉
	障がい福祉施策推進懇話会	保健福祉課	部 長
	市民健康づくり推進協議会	保健福祉課	部 長
	平塚市子ども・子育て会議	保健福祉課	課 長
	平塚市医療連携懇話会	保健福祉課	課 長
	平塚市地域包括支援センター運営協議会	保健福祉課	課 長
	平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会（各種会議）	保健福祉課	課長・保健師
	平塚市松原地区地域ケア会議	保健予防課	保健師
	平塚市母子保健事業推進連絡会	保健福祉課	保健師
	平塚市思春期対策連絡会	保健福祉課	保健師
	障害児の機能訓練に関する関係機関連絡会	保健福祉課	保健師
	子どもの生活習慣病予防対策委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	平塚市障がい者自立支援協議会	保健福祉課	福 祉
	平塚市地域包括支援センター連絡会	保健予防課	保健師
	平塚市高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク協議会	保健予防課	課 長
	平塚市相談支援チーム会議	保健予防課	福 祉
	平塚市自殺対策実務者担当者会議	保健予防課	保健師
	平塚市自殺対策会議	保健予防課	課 長
平塚市地域生活支援部会 精神分科会	保健予防課	福 祉	
大磯町	大磯町防災会議	管 理 課	所 長
	大磯町国民保護協議会	管 理 課	所 長
	大磯町児童生徒結核対策委員会	管 理 課	所 長
	大磯町指定管理者候補者選定等委員会	保健福祉課	部 長
	大磯町国民健康保険運営協議会	保健福祉課	課 長
	高齢者福祉計画策定等委員会	保健福祉課	課 長
	大磯町子ども・子育て会議	保健福祉課	課 長
	大磯町健康増進計画推進会議	保健福祉課	課 長
	大磯町要保護児童対策地域協議会（各種会議）	保健福祉課	課長・保健師
	大磯町母子保健ケース検討会	保健福祉課	保健師
	大磯町食育推進委員会	保健福祉課	栄養士
	大磯町障害福祉センター利用団体連絡会	保健福祉課	福 祉
	大磯町地域ケア会議	保健福祉課	福 祉
	大磯町障がい福祉計画策定委員会	保健予防課	課 長
	大磯町海水浴場の運営に係る打合せ	環境衛生課	衛生監視員
	二宮町	二宮町防災会議	管 理 課
二宮町国民保護協議会		管 理 課	所 長
二宮町児童生徒結核対策委員会		管 理 課	所 長
二宮町災害時医療対策委員会		企画調整課	課 長
二宮町要保護児童対策地域協議会（各種会議）		保健福祉課	課長・保健師
二宮町健康増進計画・食育推進計画策定委員会		保健福祉課	課 長
二宮町地域ケア会議		保健福祉課	福 祉
二宮町学校給食センター運営委員会		食品衛生課	部 長

大磯町・ 二宮町	大磯町・二宮町在宅医療推進会議・二宮町在宅医療推進会議	保健福祉課	部 長
	大磯町・二宮町在宅医療多職種連携会議	保健福祉課	部 長
	二宮町・大磯町自立支援協議会	保健福祉課	福 祉
	二宮町・大磯町自立支援協議会 部会	保健予防課	福 祉
圏域	湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	保健福祉課	部 長

第5章

健康で安心できる生活衛生対策

- 1 環境衛生営業施設等
- 2 生活環境施設
- 3 動物保護
- 4 毒物劇物、麻薬取扱施設等
- 5 食品衛生

1 環境衛生営業施設等

＜環境衛生課＞

県民生活に密着した理容所などの営業施設、プールなどの水浴場を県民が安心して利用できるよう監視指導を実施しました。

(1) 環境衛生営業施設数等及び監視指導状況

区 分	施設数				許可(確認)件数	廃止件数	監視指導件数
	平塚市	大磯町	二宮町	合計			
理容所	196	18	21	235	1	4	85
美容所	346	32	39	417	24	14	164
クリーニング所 (一般)	74	5	6	85	1	3	40
クリーニング所 (取次)	109	10	15	134	3	6	54
旅館	26	3	1	30	1	1	30
興行場	6		1	7			7
公衆浴場	17	5		22	1	1	21
合計	774	73	83	930	31	29	401

(年度別環境衛生営業施設数の推移)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
理容所	250	252	247	248	245	240	238	235
美容所	400	407	407	406	413	408	407	417
クリーニング所	262	254	254	251	232	226	224	219
旅館	36	37	37	33	32	30	30	30
興行場	8	8	8	7	7	7	7	7
公衆浴場	28	28	28	27	26	24	22	22
合計	984	986	981	972	955	935	928	930

(2) 海水浴場等施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導件数
	平塚市	大磯町	二宮町	合計	
海水浴場	1	1		2	12
更衣休憩所	1	7		8	59
プー ル	11	3	3	17	17
合計	13	11	3	27	88

(3) 海水浴場の水質検査実施状況

区 分	ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/L)	透明度 (m)	油 膜	p H	判 定
大磯 第1回	2未満	2.0	1以上	無	8.2~8.3	適(水質AA)
大磯 第2回	15	3.6	1	無	8.3~8.4	可(水質B)

(4) 講習会開催状況

月 日	内 容	講 師	場 所	対象者	回数	参加者数
10月7日	平成26年度環境衛生(理容所)講習会	当所保健師・衛生監視員	平塚市勤労会館	環境営業者	1	144
6月23日	平成26年海水浴場関係者衛生講習会	当所衛生監視員	大磯町役場	海水浴場関係営業者	1	11

2 生活環境施設

＜環境衛生課＞

快適な生活環境を確保するため、浄化槽、特定建築物、水道施設などの監視指導を実施しました。

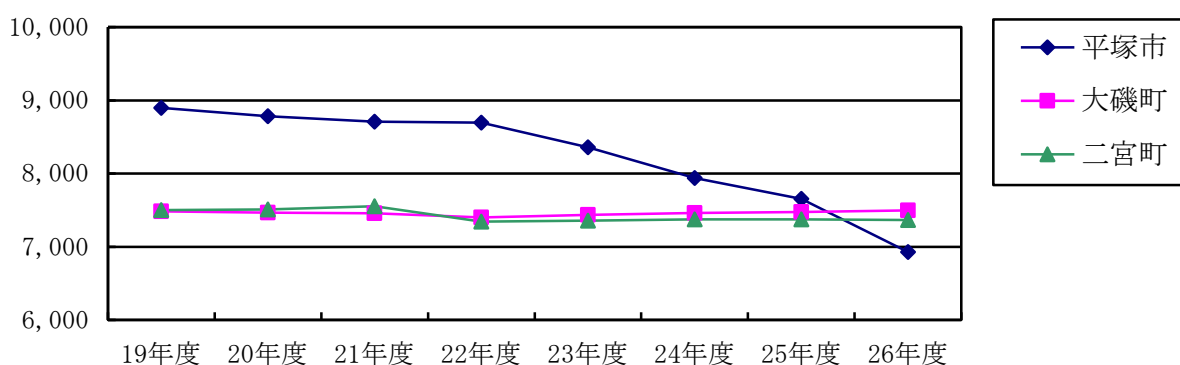
また、浄化槽、昆虫などに関する苦情や相談に対応したほか、快適な生活環境の確保を推進するための個別相談を実施しました。

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

設置基数				監視指導件数
平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
6,928	7,495	7,364	21,787	20

(年度別浄化槽設置数の推移)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
平 塚 市	8,898	8,785	8,711	8,696	8,357	7,937	7,656	6,928
大 磯 町	7,483	7,466	7,458	7,402	7,435	7,463	7,474	7,495
二 宮 町	7,499	7,510	7,553	7,344	7,357	7,373	7,373	7,364
合 計	23,880	23,761	23,772	23,442	23,149	22,773	22,503	21,787



(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
20	18	14

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

区 分	施設数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
事 務 所	18	1	1	20	3
百貨店・店舗	15	3	2	20	12
学 校	16			16	3
旅 館	6	1		7	6
興 行 場	6		1	7	
そ の 他	7			7	4
合 計	68	5	4	77	28

(4) 建築物衛生管理業者登録数及び監視指導状況

区 分	登録営業所数	監視指導件数
清 掃 業	11	3
空 気 環 境 測 定 業	2	1
飲 料 水 水 質 検 査 業	2	2
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	23	8
排 水 管 清 掃 業	2	1
ね ず み ・ 昆 虫 等 防 除 業	11	3
総 合 管 理 業	10	4
合 計	61	22

(5) 水道施設数及び監視指導状況

区 分	施 設 数			監視指導 件 数
	大磯町	二宮町	合 計	
専 用 水 道	3	1	4	4
簡 易 専 用 水 道	31	26	57	3
小 規 模 受 水 槽 水 道	49	39	88	39
合 計	83	66	149	46

(6) 温泉施設数等及び監視指導状況

区 分	施 設 数				監視指導 件 数
	平塚市	大磯町	二宮町	合 計	
源 泉	3	1	2	6	6
温泉利用施設	5	1	1	7	7

(7) 苦情・相談等処理状況

浄 化 槽	ね ず み ・ 昆 虫	住 ま い	そ の 他	合 計
1	39		3	43

3 動物保護

＜環境衛生課＞

犬による危害防止を図るため、事故を起こした飼い主に対する飼育指導を実施しました。

また、犬、猫等に関する苦情、相談等について対応し、適正飼育の啓発、指導を実施するとともに、飼えなくなった犬、猫の引取りを実施しました。

(1) こう傷事故等の発生状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	その他*	合 計
件 数	11	1	1	1	14

※ こう傷事故は藤沢市内で発生しましたが、こう傷犬の飼養地が平塚市のため、当所において飼育指導を実施しました。

(2) 犬、猫等の苦情相談等の対応状況

区 分	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	そ の 他	合 計
処理件数	1		52	33	86

(3) 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

区 分	平塚市	大磯町	二宮町	合 計
犬				0
猫	2			2
合 計	2	0	0	2

4 毒物劇物、麻薬取扱施設等

＜環境衛生課＞

毒物劇物の製造・輸入業者や販売業者等施設の監視を実施し、適正な保管管理の徹底指導を実施しました。

また、湘南ベルマーレの試合における薬物乱用防止キャンペーン、小学生等に対する薬物乱用防止教室を実施するなど薬物乱用防止の推進を図りました。

(1) 薬物乱用防止キャンペーン等

月 日	内 容	会 場
7月26日	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動	平塚競技場
通年	薬物乱用防止教室（計4回、461名）	管内小学校等

(2) 毒物・劇物販売業者数等

区 分	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上取扱者	合 計	
	一 般		農業用品目	特定品目					計
	専 業	兼 業							
平塚市	55	48	16	6	125	18	5	7	155
大磯町	1	7	1	1	10		1		11
二宮町	1	7	2		10			1	11
合 計	57	62	19	7	145	18	6	8	177

(3) 毒物・劇物販売業者等登録・届出取扱件数

区 分	毒物・劇物販売業				業務上 取扱者	合 計
	一 般	農業用品目	特定品目	計		
新規登録申請	8			8		8
登録更新申請	11	1		12		12
変 更 届	15	6	2	23	1	24
廃 止 届	5			5		5

(4) 毒物・劇物監視指導状況

区 分	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者	合 計
	一 般		農業用品目	特定品目	小計				
	専 業	兼 業							
施 設 数	57	62	19	7	145	18	6	8	177
監視指導件数	17	31	2	1	51	6	1	1	59

(5) 麻薬監視指導状況

区 分	麻薬小 売業者	病 院	診 療 所 等	麻 薬 研究者	合 計
施 設 数	95	9	105	9	218
監視指導件数	46	9	5	6	66

(6) 免許事務取扱件数

区 分	新規申請	継続申請	廃止・返納届
麻薬取扱者	74	239	278

5 食品衛生

<食品衛生課>

地域の人々の食の安全を確保するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、食品衛生講習会等の事業を実施するとともに、違反、苦情への対応や食中毒に関する調査、再発防止指導等を実施しました。

(1) 食品営業施設数及び監視件数

ア 許可営業

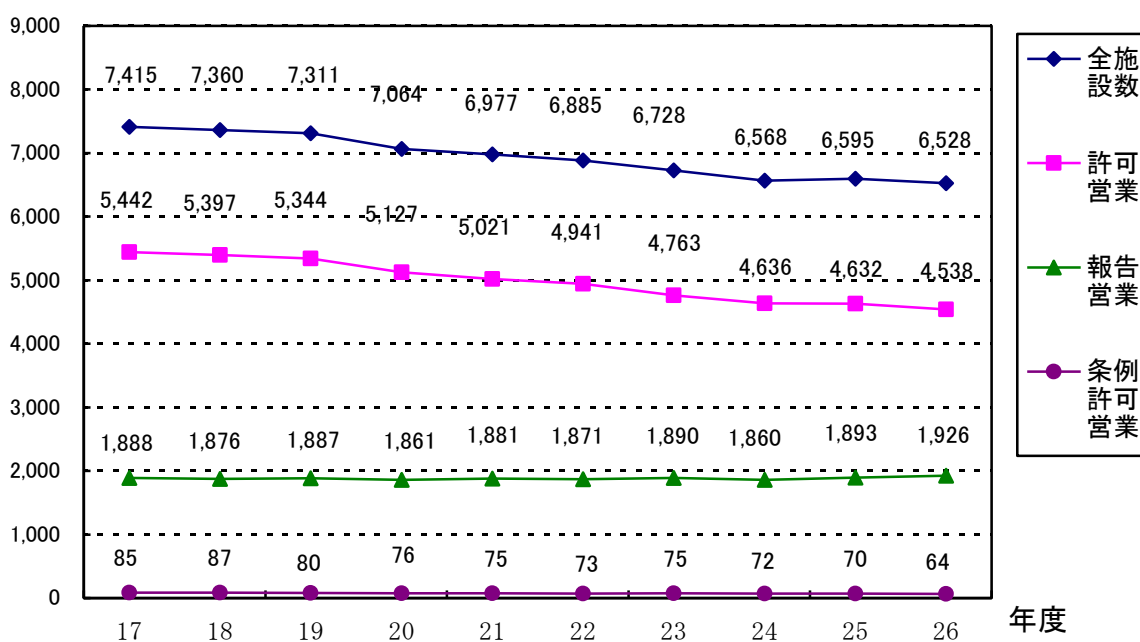
区分	施設数					監視件数	取扱件数			
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	更新	廃業	
法 許 可	飲食店営業	2,218	185	156	75	2,634	2,189	230	254	261
	菓子製造業	167	25	23	9	224	215	20	27	24
	乳処 理 業	1		1		2	1			
	乳製品製造業	3		1		4	2		1	
	魚介類販売業	244	41	29	1	315	244	24	29	27
	魚介類競り売り営業	1	1			2	1			
	魚肉練り製品製造業	1	2			3	6			
	食品の冷凍又は冷蔵業	6	1			7	9		2	
	缶詰又は瓶詰食品製造業	2				2	3			
	喫茶店営業	382	19	15	8	424	141	34	57	59
	あん類製造業	3				3	11			
	アイスクリーム類製造業	4				4	5	1		
	乳類販売業	444	46	40		530	301	27	46	52
	食肉処 理 業	18				18	20		1	1
	食肉販売業	224	30	27	1	282	212	21	24	26
	食肉製品製造業	4				4	1			
	みそ製造業	1		2		3	7			
	しょう油製造業			1		1	2			
	ソース類製造業	1				1	2	1		
	豆腐製造業	8	2	1		11	8	1		1
麺類製造業	13		1		14	20	1	1	2	
総菜製造業	25	3	4		32	25	2	2	4	
添加物製造業	6				6	5		1		
清涼飲料水製造業	5		1		6	9	1	2		
氷雪製造業	1	1			2	2	1			
氷雪販売業	3	1			4	1		1	1	
小 計	3,785	357	302	94	4,538	3,442	364	448	458	
県 条 例	魚介類行商	13	2	1	1	17	10	1	2	2
	魚介類加工業	16	3	7		26	22	2	5	6
	発酵乳等販売業	19		2		21	7	1	4	2
	小 計	48	5	10	1	64	39	4	11	10
合 計	3,833	362	312	95	4,602	3,481	368	459	468	

※ 茅ヶ崎駐在事務所（食品衛生専門監視担当）の対象施設監視件数については、平成22年度から県食品衛生課で集計しています。

イ 報告営業

区分	施設数					監視件数	取扱件数	
	平塚市	大磯町	二宮町	移動営業	計		新規	廃業
給食施設	学校	14	2	1		17	16	
	病院・診療所	8	1			9	7	
	事業所	5	2			7	5	
	その他の	74	8	10		92	97	9
乳さく取業	76	24	11		111			
食品製造業	70	13	12		95	49	5	7
野菜果物販売業	188	32	26	5	251	159	4	5
総菜販売業	54	2	5	2	63	171	3	2
菓子販売業	363	33	46	8	450	229	18	4
食品販売業	612	92	88	1	793	640	45	26
添加物の製造業	1				1	3		
添加物の販売業	2	1			3	32		
器具・容器包装、おもちゃの製造業又は販売業	29	1	4		34	134		
合計	1,496	211	203	16	1,926	1542	84	51

ウ 営業施設数の推移



エ 食品衛生夏期・年末総点検

(ア) 動員数及び施設点検数

区分	動員数 (延人数)		施設点検数 (延べ数)	
	食品衛生監視員	食品衛生指導員	食品衛生監視員	食品衛生指導員
夏期 (7月1日～8月31日)	247	123	1,823	638
年末 (12月1日～12月28日)	98	129	607	714
合計	345	252	2,430	1,352

(イ) 食品の点検数

区 分	食品点検数	収去件数	違反件数
夏期 (7月1日～8月31日)	9,115	35	
年末 (12月1日～12月28日)	3,642	18	
合 計	12,757	53	0

(2) 食品等の収去検査

	検体数	検査結果	
		適	不適
一般食品	135	134	1
乳肉食品	11	11	
合 計	146	145	1

(3) 食中毒

食中毒が疑われる事例に対し、原因究明のため迅速かつ的確な調査を実施し、食品営業者に適切な措置を講ずるための指導を行いました。

ア 食中毒発生状況

発生日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	措置状況
4月27日	飲食店営業施設	24	21	4月26日に提供された昼食	ノロウイルス サポウイルス	営業禁止
9月 6日	飲食店営業施設	18	12	ヒラメ刺身	クドア・セプテ ンブクタータ	措置なし※
2月10日	飲食店営業施設	18	10	2月9日及び11日に提供された食事	ノロウイルス	営業禁止

※ 本事例は患者が摂食したヒラメは既に廃棄されており、食中毒の拡大の恐れがないことから、厚生労働省の通知に基づき施設に対して行政措置は行っていません。

イ 過去5年間の食中毒発生状況 (管内)

区 分	発生件数	摂食者数	患者数	食中毒警報発令期間	日数	ノロウイルス食中毒 警戒情報発令期間
22年度	2	11	8	7月27日～10月21日	87	11月15日～3月31日
23年度	3	76	21	7月27日～10月19日	85	10月31日～3月31日
24年度	2	15	14	7月31日～10月16日	78	11月12日～3月31日
25年度	4	6	5	7月18日～10月22日	97	12月9日～3月31日
26年度	3	60	43	7月23日～10月22日	92	11月17日～3月31日

(4) 違反処理

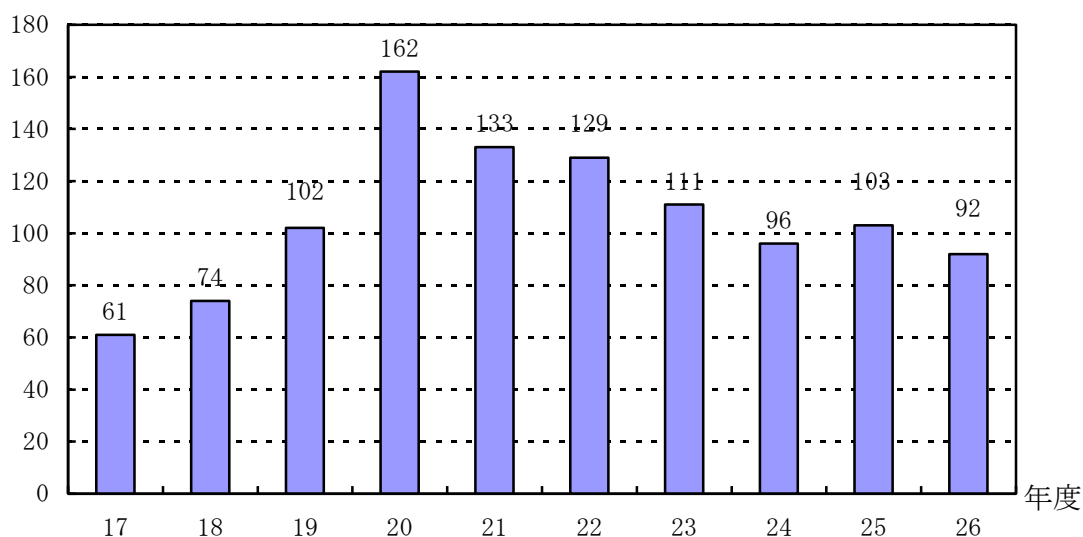
判明日	品名	違反内容	措置
9月9日	生めん (ギョウザの皮)	使用基準 (添加物)	再発防止を指導 (残品なし)

(5) 苦情処理

ア 苦情内容

		異物	かび	腐敗・ 変敗	異味・ 異臭	不衛生 取扱	容器	有症 苦情	その他	合計
食 品	乳・乳製品、乳類加工 品	2								2
	魚介類及びその加工品	2			1			3	2	8
	肉類・卵及びその加工 品	2		1				6	5	14
	穀類及びその加工品	1			2			1	1	5
	豆類及びその加工品									0
	野菜類及びその加工品	2	1	2	3			1		9
	菓 子 類	2			1				3	6
	複 合 調 理 食 品	10		1	1	4		10	2	28
	そ の 他	3			2	1	1	1	1	9
	小 計	24	1	4	10	5	1	22	14	81
施設等に関するもの						8			3	11
合 計		24	1	4	10	13	1	22	17	92

イ 苦情処理件数の推移



ウ 苦情内容別の推移

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
17年度	異 物	不衛生取扱	そ の 他	有 症 苦 情	腐敗・変敗
18年度	異 物	有 症 苦 情	不衛生取扱	腐敗・変敗 /	そ の 他
19年度	有 症 苦 情	異 物	不衛生取扱	表 示	異味・異臭
20年度	有 症 苦 情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
21年度	有 症 苦 情	そ の 他	異 物	不衛生取扱	異味・異臭
22年度	有 症 苦 情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
23年度	有 症 苦 情	そ の 他	不衛生取扱	異 物	異味・異臭
24年度	有 症 苦 情	異 物 /	そ の 他	不衛生取扱	腐敗・変敗
25年度	有 症 苦 情	異 物	不衛生取扱	そ の 他	異味・異臭
26年度	異 物	有 症 苦 情	そ の 他※	不衛生取扱	異味・異臭

※ その他の内訳：表示不備（4）、賞味期限関係（3）等

(6) 食品衛生講習会

ア 営業者等講習会

食品衛生責任者、営業者等の資質を向上し、営業者による自主管理の一層の徹底を図るため、講習会を実施しました。

内 容	対 象	講師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食品衛生責任者・調理従事者等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所等	32	2,207

イ 消費者講習会

食中毒発生の未然防止、食品衛生意識の向上のため、消費者を対象とする講習会を実施しました。

内 容	対 象	講師	会 場	開催回数	参加者数
食品衛生・食中毒予防について	食生活改善グループ等	当所食品衛生監視員	平塚保健福祉事務所	3	215

資料

- 1 平塚保健福祉事務所の沿革等
- 2 人口
- 3 衛生統計
- 4 市町における健康診査実施状況
- 5 各種委員会委員
- 6 職員研究論文等一覧

1 平塚保健福祉事務所の沿革等

(1) 沿革

年月日	平塚保健所	中福祉事務所
昭和17年12月8日	現在地に保健所を開設し、所管区域を平塚市及び中郡の1市5町14村とする。	
23年1月1日	昭和22年9月に全面改正された保健所法が施行され、保健所業務を開始する。	
26年6月12日	秦野町ほか4か村を所管する秦野出張所を置く。	
26年10月1日		社会福祉事業法の施行に伴い、中地方事務所の庁舎内に庶務課、保護課の2課体制により、中郡を管轄地域とする中福祉事務所が設置される。
28年4月1日	秦野出張所が支所に昇格する。	
30年7月1日		行政組織規則の一部改正により、次長制が廃止され、保護課が福祉課となる。
32年4月1日	当所に神奈川県精神衛生相談所を併設する。	
33年4月1日	秦野支所が保健所に昇格し、所管区域が変更（平塚市、大磯町、二宮町）になる。	
35年4月1日	神奈川県精神衛生相談所を神奈川県平塚精神衛生所と改称する。	
39年9月24日	現在地に庁舎を改築する。	
40年10月1日	精神衛生法の改正により、平塚精神衛生相談所を廃止する。	
42年6月2日		行政組織規則の一部改正により、次長制が施行され、庶務課が総務課に、福祉課が保護課となる。
44年7月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、中福祉事務所が湘南福祉事務所となり、総務課が管理課となるとともに、所管区域が三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町、二宮町の4町となる。
45年7月16日	行政組織規則の一部改正により、管理課、保健予防課、衛生課、保健婦室の3課1室となる。次長制を施行する。	
46年6月1日	中郡二宮町百合ヶ丘に二宮保健ステーションを開設する。	

49年8月1日	行政組織規則の一部改正により、衛生課が環境衛生課と食品衛生課となる。	行政組織規則の一部改正により、管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2課3係体制となる。
54年6月1日	管理係、指導係を廃止し、管理調整班、企画指導班とする。	
55年8月1日	保健予防課、環境衛生課、食品衛生課、保健婦室の各係を廃止し、班制を施行する。	
56年6月1日		行政組織規則の一部改正により、保護課が福祉課となり、保護係と福祉係が廃止される。
57年6月1日		行政組織規則の一部改正により、管理係が廃止される。
58年6月1日	行政組織規則の一部改正により、保健婦室が健康指導課となる。	
59年4月1日	二宮保健ステーションを二宮町に移管。行政組織規則の一部改正により、試験検査部門が茅ヶ崎保健所に統合される。	
60年4月16日		行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、湘南地区行政センターと湘南福祉事務所が統合され、湘南地区行政センター福祉部となり、地域福祉課、生活福祉課の2課体制となる。所管区域のうち、三浦郡葉山町が横須賀三浦地区行政センターの所管となる。
平成3年8月1日	平塚保健所庁舎建替工事に伴い、仮庁舎（平塚市豊原町2の21）に移転する。	
5年4月1日	新庁舎完成に伴い、現在地に移転する。行政組織規則の一部改正により、保健衛生部及び環境衛生部が設置され、2部5課となる。	社会福祉関係8法の改正により、身体障害者福祉法及び老人福祉法関係事務が町に委譲される。
平成9年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、平塚保健所と湘南地区行政センター福祉部が統合され、平塚保健福祉事務所（併せて平塚保健所、中福祉事務所）となり、管理課、企画調整室、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課、生活福祉課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）の2部1室6課体制となる。中福祉事務所の所管区域のうち、高座郡寒川町が茅ヶ崎保健福祉事務所の所管となる。	
19年6月1日	行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2部7課体制となる。	
20年4月1日	行政機関設置条例及び行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。	
26年4月1日	行政組織規則の一部改正により、秦野保健福祉事務所を平塚保健福祉事務所秦野センターとして統合する。	

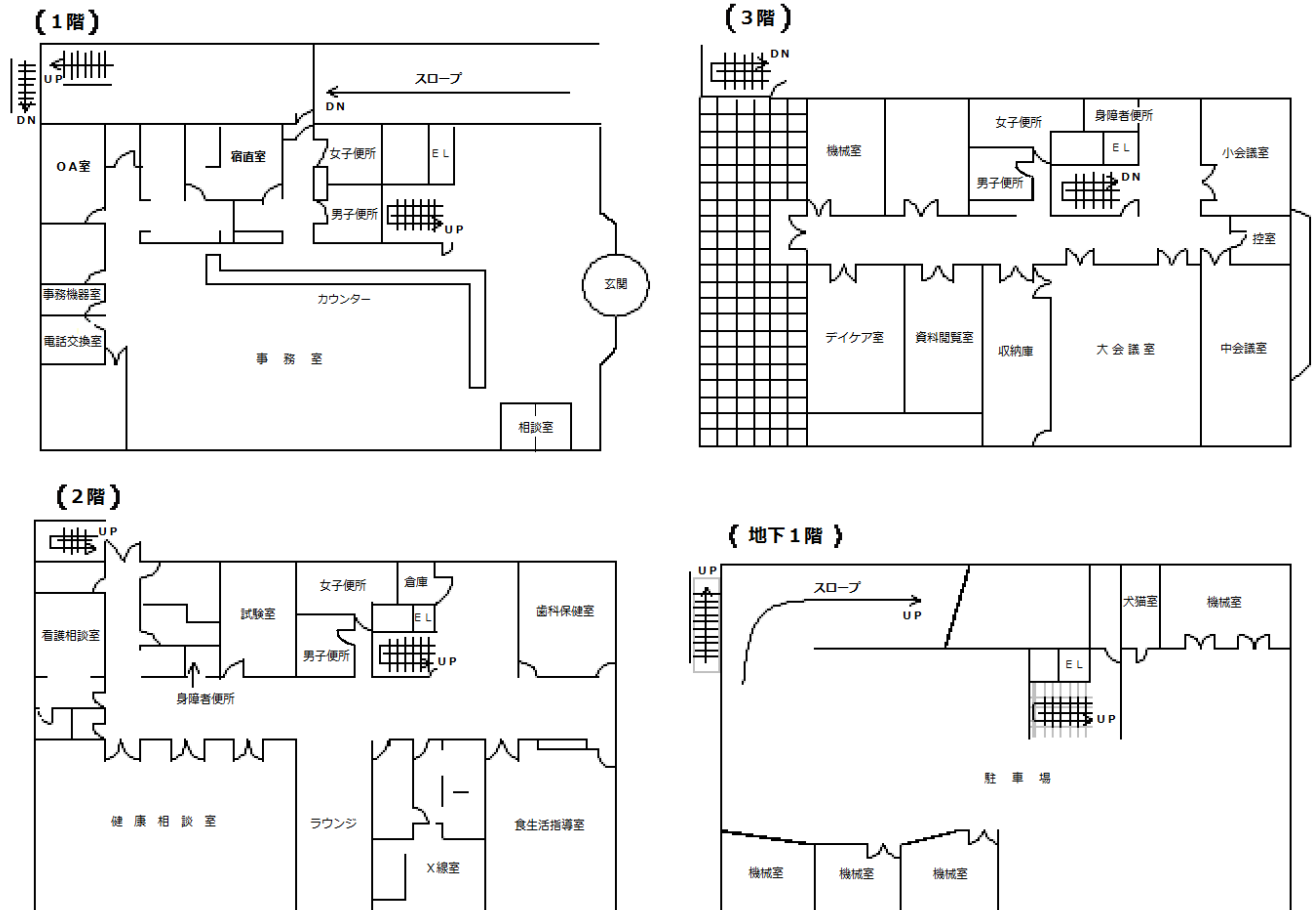
(2) 平塚保健所歴代所長名

初代	山 口 大九郎 (S17. 12～ 18. 7)	14代	衛 藤 繁 男 (60. 4～ 61. 3)
2代	杉 本 良 次 (18. 7～ 19. 9)	15代	長谷川 進 (61. 4～ 63. 3)
3代	屋 宮 文 章 (19. 10～ 27. 7)	16代	成 瀬 道 彦 (63. 4～H元. 3)
4代	林 秀 (27. 7～ 31. 9)	17代	岡 本 耕 (H元. 4～ 11. 3)
5代	高 口 保 明 (31. 10～ 34. 6)	18代	前 坂 機 江 (11. 4～ 11. 5)
6代	杉 本 良 次 (34. 7～ 38. 6)	19代	宝 田 正 志 (11. 6～ 13. 3)
7代	山 田 健次郎 (38. 6～ 40. 9)	20代	堀 井 昌 子 (13. 4～ 15. 3)
8代	成 田 功 (40. 10～ 43. 3)	21代	山 徳 み 彥 (15. 4～ 16. 3)
9代	広 瀬 達 之 (43. 4～ 47. 9)	22代	前 坂 機 江 (16. 4～ 19. 3)
10代	渡 辺 良 一 (47. 10～ 49. 7)	23代	鈴 木 周 雄 (19. 4～ 22. 3)
11代	杉 本 博 俊 (49. 8～ 55. 7)	24代	清 水 博 (22. 4～ 23. 5)
12代	佐久間 正 美 (55. 8～ 57. 5)	25代	竹 村 隆 夫 (23. 6～ 27. 3)
13代	小 宮 弘 毅 (57. 6～ 60. 3)	26代	南 出 純 二 (27. 4～)

(3) 土地建物

ア 土地	保健福祉事務所敷地	1,481.03㎡
イ 建物	保健福祉事務所庁舎 (H5. 3. 15完成)	
	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建	延床面積 3,551.36㎡

(4) 庁舎配置図



2 人口

(1) 人口及び世帯数等（湘南西部二次保健医療圏域）

ア 人口及び世帯数等

（平成26年10月1日現在）

区分	面積 (km ²)	世帯数	人口			人口密度 (人/km ²)	一世帯当 たりの人員	人口増加率 前年比
			総数	男	女			
圏域計	253.40	244,715	588,246	297,050	291,196	2,321	2.40	99.67
平塚市	67.82	106,319	257,200	129,622	127,578	3,792	2.42	99.59
秦野市	103.76	71,366	168,842	86,172	82,670	1,627	2.37	99.62
伊勢原市	55.56	42,703	100,998	51,528	49,470	1,818	2.37	100.06
大磯町	17.18	12,820	32,439	15,821	16,618	1,885	2.53	99.82
二宮町	9.08	11,507	28,767	13,907	14,860	3,168	2.50	99.07
神奈川県	2,415.81	3,970,674	9,098,984	4,548,781	4,550,203	3,766	2.29	100.19

※県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。

※面積は「全国都道府県市町村別面積調」より。平塚市及び大磯町については、境界未確定のため、参考値。

イ 年齢階級(3区分)別人口の割合

（平成26年1月1日現在）

区分	総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	589,703	74,013	12.6	370,342	62.8	144,016	24.4
平塚市	258,076	33,027	12.8	162,667	63.1	62,292	24.1
秦野市	169,326	20,632	12.3	107,232	63.7	40,450	24.0
伊勢原市	100,850	13,111	13.0	64,840	64.4	22,714	22.6
大磯町	32,533	3,956	12.2	18,785	57.8	9,771	30.1
二宮町	28,918	3,287	11.4	16,818	58.2	8,789	30.4
神奈川県	9,083,839	1,168,050	12.9	5,827,503	64.5	2,036,058	22.5

※県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」より。

※総数には「年齢不詳」を含む。

〈参考〉 高齢化の定義

国連は老年人口(65歳以上)の比率により以下のとおり区分している。

「高齢化社会」 … 7%～14%

「高齢社会」 … 14%～21%

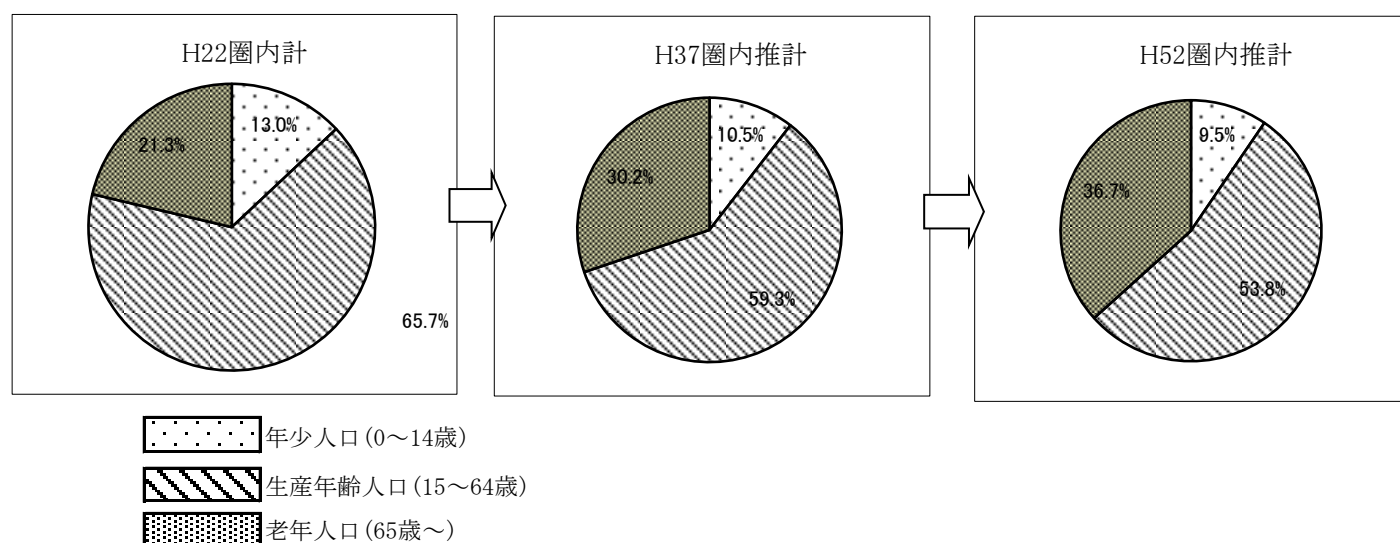
「超高齢社会」 … 21%～

(2) 将来推定人口（年齢階級（3区分）別）

区分	総人口			年少人口(0~14歳)					
				H 22		H 37		H 52	
	H 22	H 37	H 52	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	594,514	571,974	508,511	77,232	13.0%	59,975	10.5%	48,398	9.5%
平塚市	260,781	251,799	225,597	34,516	13.2%	26,937	10.7%	22,034	9.8%
秦野市	170,145	165,716	148,001	21,321	12.5%	17,005	10.3%	13,700	9.3%
伊勢原市	101,037	97,369	86,908	13,792	13.7%	10,613	10.9%	8,464	9.7%
大磯町	33,031	31,206	27,132	4,051	12.3%	3,140	10.1%	2,532	9.3%
二宮町	29,520	25,884	20,873	3,552	12.0%	2,280	8.8%	1,668	8.0%
神奈川県	9,048,331	9,009,667	8,343,495	1,189,838	13.1%	984,123	10.9%	817,455	9.8%

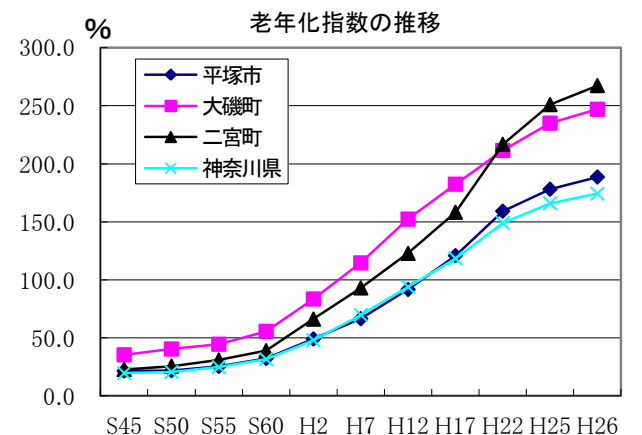
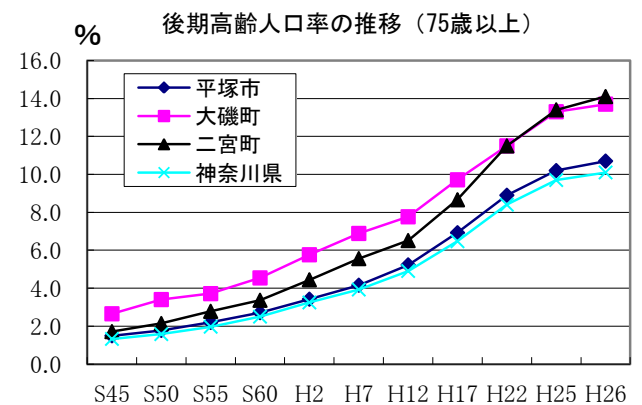
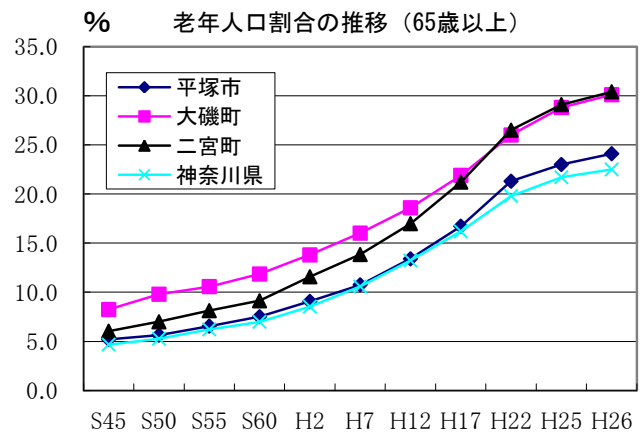
区分	生産年齢人口(15~64歳)						老年人口(65歳以上)					
	H 22		H 37		H 52		H 22		H 37		H 52	
	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)	数(人)	率(%)
圏域計	390,707	65.7%	339,430	59.3%	273,611	53.8%	126,575	21.3%	172,569	30.2%	186,502	36.7%
平塚市	171,091	65.6%	151,021	60.0%	122,315	54.2%	55,174	21.2%	73,841	29.3%	81,248	36.0%
秦野市	114,067	67.0%	97,477	58.8%	79,941	54.0%	34,757	20.4%	51,234	30.9%	54,360	36.7%
伊勢原市	67,386	66.7%	59,239	60.8%	47,131	54.2%	19,859	19.7%	27,517	28.3%	31,313	36.0%
大磯町	20,166	61.1%	17,301	55.4%	13,818	50.9%	8,814	26.7%	10,765	34.5%	10,782	39.7%
二宮町	17,997	61.0%	14,392	55.6%	10,406	49.9%	7,971	27.0%	9,212	35.6%	8,799	42.2%
神奈川県	6,028,484	66.6%	5,577,640	61.9%	4,607,133	55.2%	1,830,009	20.2%	2,447,904	27.2%	2,918,907	35.0%

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成25年3月推計）より。



区 分	年 齢 構 造 指 数				(参考) 10月1日 現在人口	
	従 属 人 口 指 数	年 少 人 口 指 数	老 年 人 口 指 数	老 年 化 指 数		
昭和 45年	総 数	42.8	34.7	8.1	23.3	211,475
	平 塚 市	41.6	34.2	7.4	21.5	163,671
	大 磯 町	46.0	34.0	12.0	35.4	26,154
	二 宮 町	48.2	39.3	9.0	22.8	21,650
	神奈川県	39.8	33.3	6.5	19.7	5,472,247
昭和 50年	総 数	47.2	38.0	9.2	24.2	248,360
	平 塚 市	46.0	37.7	8.2	21.8	195,635
	大 磯 町	51.6	36.8	14.9	40.4	27,866
	二 宮 町	52.1	41.4	10.6	25.7	24,859
	神奈川県	44.5	36.9	7.6	20.7	6,397,748
昭和 55年	総 数	48.7	38.0	10.6	28.0	271,445
	平 塚 市	47.7	38.0	9.7	25.5	214,293
	大 磯 町	52.3	36.2	16.1	44.5	29,931
	二 宮 町	52.4	40.0	12.4	31.0	27,221
	神奈川県	45.4	36.4	9.0	24.9	6,924,348
昭和 60年	総 数	45.4	33.5	11.8	35.3	290,137
	平 塚 市	44.5	33.6	10.9	32.3	229,990
	大 磯 町	49.6	31.9	17.7	55.6	31,211
	二 宮 町	48.3	34.7	13.5	39.0	28,936
	神奈川県	41.2	31.3	9.9	31.7	7,431,974
平成 2年	総 数	38.9	25.3	13.6	53.9	306,964
	平 塚 市	38.0	25.5	12.5	49.1	245,950
	大 磯 町	43.6	23.7	19.8	83.5	31,599
	二 宮 町	41.0	24.7	16.3	66.2	29,415
	神奈川県	35.8	24.2	11.6	48.0	7,980,391
平成 7年	総 数	37.8	21.8	16.0	73.3	316,683
	平 塚 市	36.8	22.1	14.7	66.5	253,822
	大 磯 町	42.9	20.0	22.9	114.6	32,285
	二 宮 町	40.3	20.9	19.4	93.1	30,576
	神奈川県	34.8	20.5	14.3	69.7	8,245,900
平成 12年	総 数	40.0	20.0	20.0	100.0	317,692
	平 塚 市	38.9	20.3	18.6	91.8	254,630
	大 磯 町	44.5	17.6	26.9	152.3	32,261
	二 宮 町	44.5	20.0	24.5	122.9	30,801
	神奈川県	37.7	19.4	18.2	93.8	8,489,932
平成 17年	総 数	45.5	19.8	25.7	129.9	321,878
	平 塚 市	44.0	19.9	24.1	120.9	259,017
	大 磯 町	51.4	18.2	33.2	182.4	32,598
	二 宮 町	52.9	20.5	32.4	158.3	30,263
	神奈川県	42.7	19.5	23.1	118.5	8,790,900
平成 22年	総 数	54.9	20.4	34.5	169.1	323,338
	平 塚 市	53.1	20.5	32.6	159.2	260,776
	大 磯 町	62.3	20.0	42.3	211.5	33,038
	二 宮 町	64.1	20.2	43.8	216.8	29,524
	神奈川県	49.8	20.0	29.8	149.0	9,049,500
平成 25年	総 数	58.4	20.2	38.3	189.7	319,784
	平 塚 市	56.1	20.2	35.9	178.1	258,252
	大 磯 町	69.7	20.8	48.9	235.0	32,496
	二 宮 町	68.6	19.5	49.1	251.0	29,036
	神奈川県	53.1	20.0	33.2	166.0	9,081,742
平成 26年	総 数	61.1	20.3	40.8	200.8	318,406
	平 塚 市	58.6	20.3	38.3	188.6	257,200
	大 磯 町	73.1	21.1	52.0	247.0	32,439
	二 宮 町	71.8	19.5	52.3	267.4	28,767
	神奈川県	55.0	20.0	34.9	174.3	9,098,984

(10月1日現在人口は、昭和45年～平成7年まで総務庁統計局「国勢調査」、平成12年～平成26年まで県統計センター「神奈川県の人口と世帯」より。)



※従属人口指数…生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の比率。
 ※年少人口指数…生産年齢人口に対する年少人口の比率。
 ※老年人口指数…生産年齢人口に対する老年人口の比率。
 ※老年化指数…年少人口に対する老年人口の比率。

3 衛生統計(平成25年)

(1) 年次別人口動態件数・率(管内)

区分	出生				死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和60年	3,257	1,689	1,568	11.2	1,442	777	665	5.0
平成2年	2,881	1,498	1,383	9.4	1,658	914	744	5.4
平成7年	2,896	1,491	1,405	9.1	1,955	1,044	911	6.2
平成12年	2,786	1,381	1,405	8.8	2,076	1,168	908	6.5
平成17年	2,557	1,295	1,262	7.9	2,454	1,396	1,058	7.6
平成18年	2,637	1,332	1,305	8.2	2,393	1,311	1,082	7.4
平成19年	2,610	1,382	1,228	8.1	2,472	1,346	1,126	7.7
平成20年	2,546	1,262	1,284	7.9	2,552	1,377	1,175	7.9
平成21年	2,485	1,251	1,234	7.7	2,636	1,416	1,220	8.2
平成22年	2,469	1,253	1,216	7.6	2,698	1,469	1,229	8.3
平成23年	2,318	1,170	1,148	7.2	2,948	1,597	1,351	9.1
平成24年	2,286	1,162	1,124	7.1	2,829	1,508	1,321	8.8
平成25年	2,230	1,105	1,125	7.0	2,897	1,533	1,364	9.1
区分	乳児死亡				新生児死亡			
	総数	男	女	率	総数	男	女	率
昭和60年	14	10	4	4.3	13	9	4	4.0
平成2年	13	5	8	4.5	9	4	5	3.1
平成7年	16	5	11	5.5	9	2	7	3.1
平成12年	11	7	4	3.9	8	5	3	2.9
平成17年	9	6	3	3.5	6	4	2	2.3
平成18年	4	2	2	1.5	0	0	0	0.0
平成19年	7	2	5	2.7	2	0	2	0.8
平成20年	5	1	4	2.0	3	0	3	1.2
平成21年	3	2	1	1.2	1	1	0	0.4
平成22年	5	4	1	2.0	4	3	1	1.6
平成23年	6	4	2	2.6	2	1	1	0.9
平成24年	3	1	2	1.3	3	1	2	1.3
平成25年	4	1	3	1.8	3	1	2	1.3
区分	死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率
昭和60年	113	33.5			1,695	5.8	437	1.3
平成2年	101	33.9			1,827	6.0	441	1.0
平成7年	67	22.6	21	7.2	1,978	6.2	510	1.6
平成12年	90	31.3	19	6.8	1,994	6.3	660	2.1
平成17年	62	23.7	13	5.1	1,862	5.8	657	2.0
平成18年	69	25.5	17	6.4	1,819	5.6	609	1.9
平成19年	86	31.9	18	6.7	1,722	5.3	665	2.1
平成20年	59	22.6	6	2.4	1,653	5.1	646	2.0
平成21年	55	21.7	6	2.4	1,671	5.2	623	1.9
平成22年	63	24.9	12	4.7	1,532	4.7	633	2.0
平成23年	68	28.5	10	4.2	1,499	4.6	621	1.9
平成24年	47	20.1	4	1.7	1,522	4.7	618	1.9
平成25年	54	23.6	12	5.3	1,456	4.6	563	1.8

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※ 人口動態統計データは、厚生労働省公表データが出典資料となるため、公表時期の関係から、平成25年の統計数値を掲載しています。

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、その他は人口(各年10月現在)千対率。

※ 死産の総数には不詳を含みます。

※ 資料3(4)クに再掲

(2) 管内市町別人口動態件数・率

(平成25年)

区 分	出 生				死 亡			
	総 数	男	女	率	総 数	男	女	率
管 内	2,230	1,105	1,125	7.0	2,897	1,533	1,364	9.1
平 塚 市	1,862	941	921	7.2	2,225	1,195	1,030	8.6
大 磯 町	198	93	105	6.1	354	170	184	10.9
二 宮 町	170	71	99	5.9	318	168	150	11.0
神 奈 川 県	74,320	38,245	36,075	8.2	72,970	39,611	33,359	8.0

区 分	乳 児 死 亡				新 生 児 死 亡			
	総 数	男	女	率	総 数	男	女	率
管 内	4	1	3	1.8	3	1	2	1.3
平 塚 市	3	1	2	1.6	2	1	1	1.1
大 磯 町	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
二 宮 町	1	0	1	5.9	1	0	1	5.9
神 奈 川 県	149	81	68	2.0	81	47	34	1.1

区 分	死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚	
	総 数	率	総 数	率	総 数	率	総 数	率
管 内	54	23.6	12	5.3	1,456	4.6	563	1.8
平 塚 市	43	22.6	10	5.3	1,257	4.9	470	1.8
大 磯 町	4	19.8	1	5.0	116	3.6	50	1.5
二 宮 町	7	39.5	1	5.8	83	2.9	43	1.5
神 奈 川 県	1,619	21.3	281	3.8	49,769	5.5	16,587	1.8

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対、死産率、周産期死亡率は出産(出生+死産)千対、
 その他は人口千対率。
 死産の総数には、不詳を含みます。

(3) 出生

ア 性別・月別出生数

(平成25年)

区 分	総 数			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	2,230	1,105	1,125	103	97	87	77	78	102	81	94	86	87	101	90
平 塚 市	1,862	941	921	85	81	74	62	67	77	66	81	73	66	83	73
大 磯 町	198	93	105	9	10	11	7	7	11	9	6	8	13	11	6
二 宮 町	170	71	99	9	6	2	8	4	14	6	7	5	8	7	11

区 分	7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	104	98	103	91	91	84	97	104	84	98	90	103
平 塚 市	94	82	84	75	82	75	81	87	70	83	82	79
大 磯 町	6	7	9	9	3	5	8	10	7	9	5	12
二 宮 町	4	9	10	7	6	4	8	7	7	6	3	12

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 妊娠期間別出生数

区 分	総 数	満28週 未満	満28～ 31週	満32～ 35週	満36～ 39週	満40～ 43週	満44週 以上	不 詳
管 内	2,230	8	4	48	1,493	676	0	1
平 塚 市	1,862	8	3	45	1,229	576	0	1
大 磯 町	198	0	0	2	139	57	0	0
二 宮 町	170	0	1	1	125	43	0	0

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

(4) 死亡

ア 性別・月別死亡数

(平成25年)

区 分	総 数			1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	2,897	1,533	1,364	151	147	136	107	141	128	136	110	104	110	109	99
平 塚 市	2,225	1,195	1,030	122	111	103	79	114	92	107	84	81	86	90	76
大 磯 町	354	170	184	18	15	15	15	14	21	14	17	12	16	8	12
二 宮 町	318	168	150	11	21	18	13	13	15	15	9	11	8	11	11

区 分	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管 内	113	91	112	101	107	120	140	110	151	115	133	126
平 塚 市	96	71	88	70	81	93	97	88	112	80	104	100
大 磯 町	9	12	11	14	15	15	19	16	19	15	16	16
二 宮 町	8	8	13	17	11	12	24	6	20	20	13	10

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

イ 主要死因別死亡数・死亡率 (全数)

(平成25年)

区 分	死 亡 総 数		(第 1 位)			(第 2 位)		
	数	死亡率	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	2,897	9.1	悪性新生物	881	2.8	心 疾 患	420	1.3
平 塚 市	2,225	8.6	悪性新生物	683	2.6	心 疾 患	330	1.3
大 磯 町	354	10.9	悪性新生物	102	3.1	心 疾 患	40	1.2
二 宮 町	318	11.0	悪性新生物	96	3.3	心 疾 患	50	1.7

区 分	(第 3 位)			(第 4 位)		
	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	肺 炎	254	0.8	脳血管疾患	252	0.8
平 塚 市	肺 炎	187	0.7	脳血管疾患	188	0.7
大 磯 町	老 衰	39	1.2	肺 炎	40	1.2
二 宮 町	肺 炎	27	0.9	脳血管疾患	32	1.1

区 分	(第 5 位)			(第 6 位)		
	死 因	数	死亡率	死 因	数	死亡率
管 内	老 衰	172	0.5	不慮の事故	105	0.3
平 塚 市	老 衰	113	0.4	不慮の事故	85	0.3
大 磯 町	脳血管疾患	32	1.0	不慮の事故	10	0.3
二 宮 町	老 衰	20	0.7	不慮の事故	10	0.3

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※死亡率は人口千対。心疾患は高血圧性を除く。

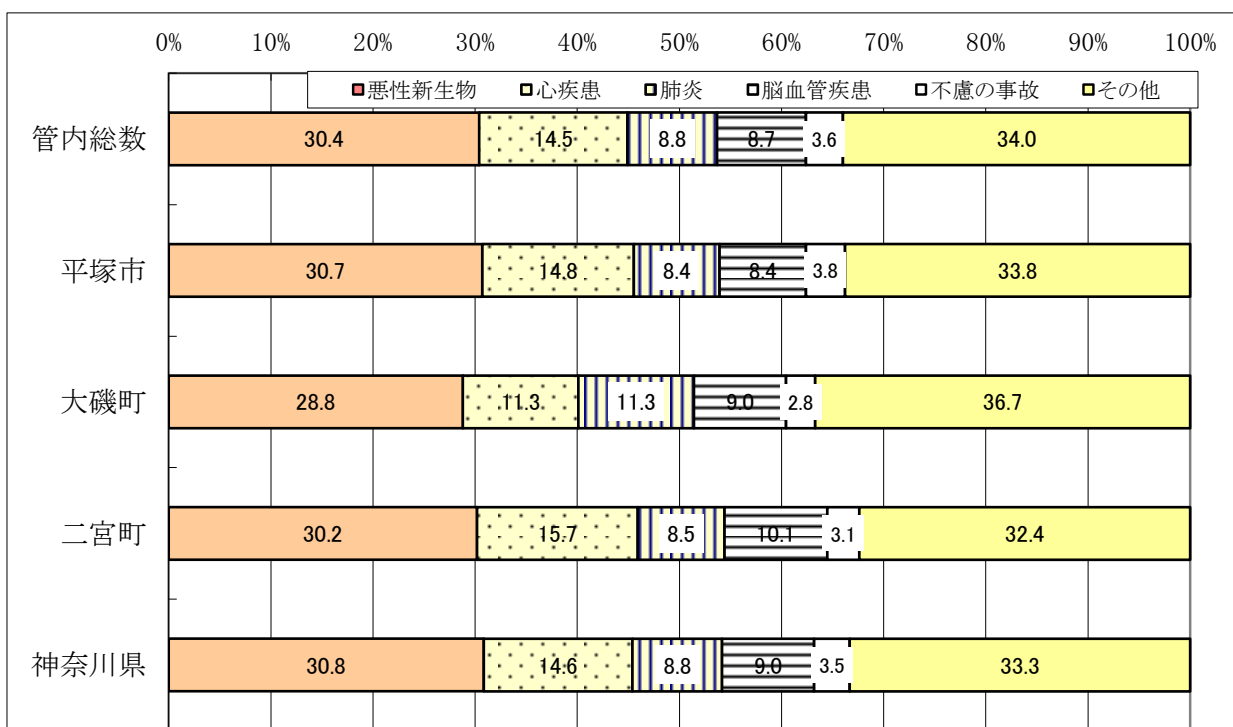
ウ 主要死因の年次推移（管内）

区分	死亡総数	(第1位)	(第2位)	(第3位)	(第4位)	(第5位)	(第6位)
昭和50年	1,174	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	肺炎及び気管支炎	老衰	高血圧性疾患
		280	233	173	59	42	35
昭和55年	1,245	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び気管支炎	老衰	自殺
		291	286	219	60	39	35
昭和60年	1,442	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び気管支炎	自殺	老衰
		338	278	269	108	48	44
平成2年	1,658	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎及び気管支炎	肝硬変及び肝炎	自殺
		412	341	234	175	54	45
平成7年	1,955	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎及び気管支炎	腎不全	肝疾患
		605	325	308	151	48	45
平成12年	2,076	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		688	309	281	224	71	59
平成17年	2,454	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺
		781	368	305	233	69	64
平成18年	2,393	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		822	312	292	192	78	75
平成19年	2,472	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		849	323	273	213	90	80
平成20年	2,552	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰
		844	357	271	251	97	81
平成21年	2,636	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		829	383	264	261	98	79
平成22年	2,698	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		866	402	276	242	95	78
平成23年	2,948	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		936	422	280	262	99	93
平成24年	2,829	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故
		884	439	269	258	146	99
平成25年	2,897	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰	不慮の事故
		881	420	254	252	172	105

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より。)

※心疾患は高血圧性を除く。

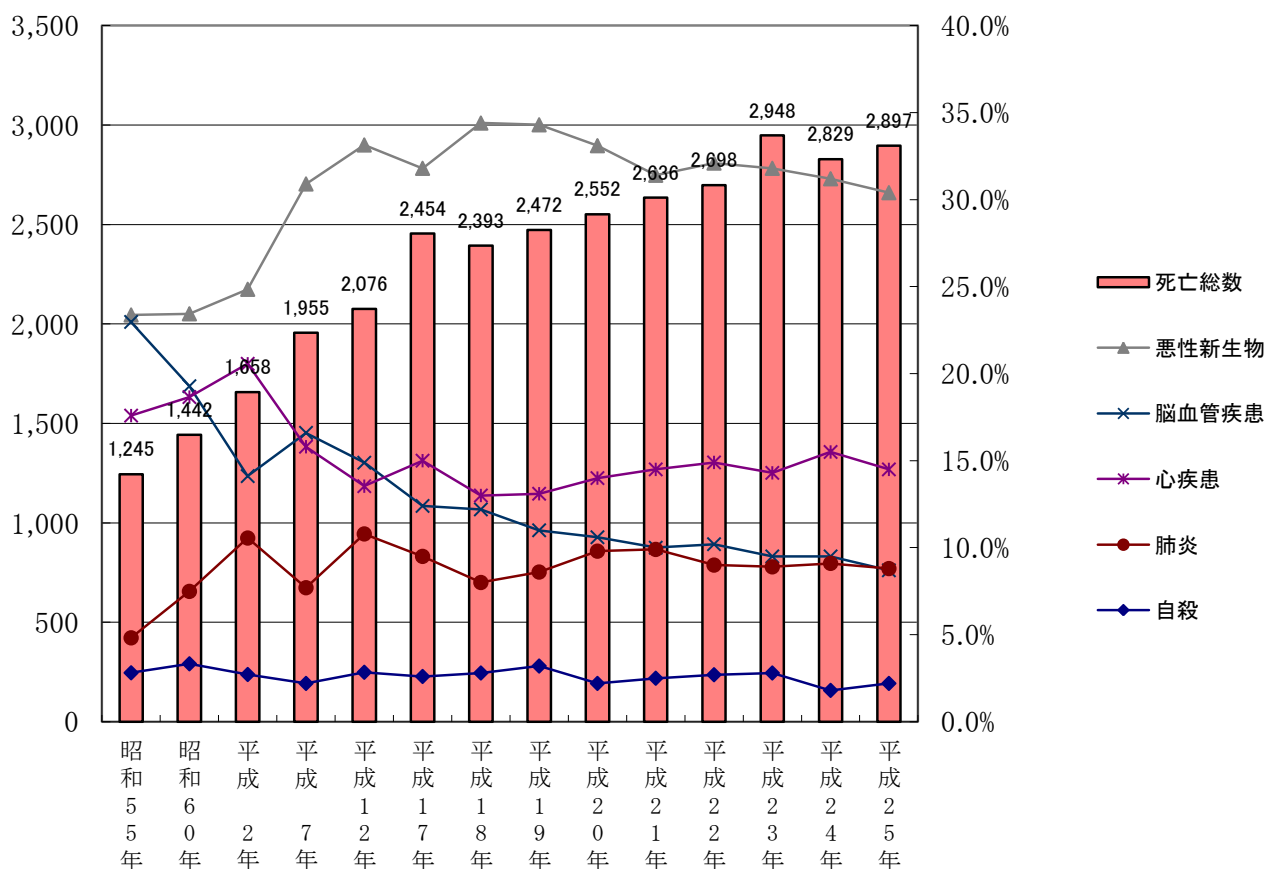
<死亡数全体に占める主要死因の割合 平成25年>



エ 主要死因による死亡者数及び全死因に占める割合の推移

(人)

区分	死亡総数	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	自殺
昭和55年	1,245	291 (23.4%)	286 (23.0%)	219 (17.6%)	60 (4.8%)	35 (2.8%)
昭和60年	1,442	338 (23.4%)	278 (19.3%)	269 (18.7%)	108 (7.5%)	48 (3.3%)
平成2年	1,658	412 (24.8%)	234 (14.1%)	341 (20.6%)	175 (10.6%)	45 (2.7%)
平成7年	1,955	605 (30.9%)	325 (16.6%)	308 (15.8%)	151 (7.7%)	43 (2.2%)
平成12年	2,076	688 (33.1%)	309 (14.9%)	281 (13.5%)	224 (10.8%)	59 (2.8%)
平成17年	2,454	781 (31.8%)	305 (12.4%)	368 (15.0%)	233 (9.5%)	64 (2.6%)
平成18年	2,393	822 (34.4%)	292 (12.2%)	312 (13.0%)	192 (8.0%)	67 (2.8%)
平成19年	2,472	849 (34.3%)	273 (11.0%)	323 (13.1%)	213 (8.6%)	79 (3.2%)
平成20年	2,552	844 (33.1%)	271 (10.6%)	357 (14.0%)	251 (9.8%)	56 (2.2%)
平成21年	2,636	829 (31.4%)	264 (10.0%)	383 (14.5%)	261 (9.9%)	67 (2.5%)
平成22年	2,698	866 (32.1%)	276 (10.2%)	402 (14.9%)	242 (9.0%)	72 (2.7%)
平成23年	2,948	936 (31.8%)	280 (9.5%)	422 (14.3%)	262 (8.9%)	82 (2.8%)
平成24年	2,829	884 (31.2%)	269 (9.5%)	439 (15.5%)	258 (9.1%)	51 (1.8%)
平成25年	2,897	881 (30.4%)	252 (8.7%)	420 (14.5%)	254 (8.8%)	63 (2.2%)



オ 悪性新生物による部位別死亡者数

(平成25年)

部 位 名		平 塚 市	大 磯 町	二 宮 町	管 内 計		神 奈 川 県
					人 数	割 合	
悪 性 新 生 物	総数	683	102	96	881	100.0%	22,509
	男	408	62	59	529	100.0%	13,577
	女	275	40	37	352	100.0%	8,932
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	総数	13	2	5	20	2.3%	506
	男	10	1	3	14	2.6%	369
	女	3	1	2	6	1.7%	137
食道の悪性新生物	総数	21	4	8	33	3.7%	878
	男	19	3	8	30	5.7%	736
	女	2	1	0	3	0.9%	142
胃の悪性新生物	総数	107	18	13	138	15.7%	2,890
	男	59	14	8	81	15.3%	1,955
	女	48	4	5	57	16.2%	935
結腸の悪性新生物	総数	75	10	4	89	10.1%	2,100
	男	35	4	3	42	7.9%	1,099
	女	40	6	1	47	13.4%	1,001
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	総数	30	4	4	38	4.3%	1,001
	男	17	2	4	23	4.3%	654
	女	13	2	0	15	4.3%	347
肝及び肝内胆管の悪性新生物	総数	63	5	8	76	8.6%	1,715
	男	49	3	8	60	11.3%	1,164
	女	14	2	0	16	4.5%	551
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	総数	28	3	2	33	3.7%	956
	男	17	1	1	19	3.6%	498
	女	11	2	1	14	4.0%	458
膵の悪性新生物	総数	44	9	6	59	6.7%	1,818
	男	25	5	2	32	6.0%	978
	女	19	4	4	27	7.7%	840
喉頭の悪性新生物	総数	2	0	0	2	0.2%	60
	男	2	0	0	2	0.4%	58
	女	0	0	0	0	0.0%	2
気管、気管支及び肺の悪性新生物	総数	116	15	10	141	16.0%	4,395
	男	89	12	8	109	20.6%	3,110
	女	27	3	2	32	9.1%	1,285
皮膚の悪性新生物	総数	5	0	1	6	0.7%	92
	男	2	0	0	2	0.4%	51
	女	3	0	1	4	1.1%	41
乳房の悪性新生物	総数	26	6	11	43	4.9%	1,009
	男	1	0	0	1	0.2%	6
	女	25	6	11	42	11.9%	1,003
子宮の悪性新生物	総数(女)	9	4	1	14	4.0%	393
卵巣の悪性新生物	総数(女)	17	1	2	20	5.7%	348
前立腺の悪性新生物	総数(男)	24	8	9	41	7.8%	729
膀胱の悪性新生物	総数	10	2	2	14	1.6%	446
	男	8	2	1	11	2.1%	322
	女	2	0	1	3	0.9%	124
中枢神経系の悪性新生物	総数	3	0	0	3	0.3%	142
	男	0	0	0	0	0.0%	81
	女	3	0	0	3	0.9%	61
悪性リンパ腫	総数	16	4	4	24	2.7%	701
	男	8	2	1	11	2.1%	396
	女	8	2	3	13	3.7%	305
白 血 病	総数	5	0	1	6	0.7%	462
	男	3	0	0	3	0.6%	282
	女	2	0	1	3	0.9%	180
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	総数	8	1	3	12	1.4%	247
	男	4	1	2	7	1.3%	122
	女	4	0	1	5	1.4%	125
その他の悪性新生物	総数	61	4	2	67	7.6%	1,621
	男	36	4	1	41	7.8%	967
	女	25		1	26	7.4%	654

管内について、男女別で見ると、悪性新生物による死亡者数全体のうち、男性の占める割合は60.0%、女性は40.0%で、男性が女性を上回っている。

男性

順位	部 位	人 数	割 合
1	気管、気管支及び肺	109	20.6%
2	胃	81	15.3%
3	肝及び肝内胆管	60	11.3%
4	結 腸	42	7.9%
5	前 立 腺	41	7.8%
6	膵	32	6.0%
7	食 道	30	5.7%
8	直腸S状結腸移行部及び直腸	23	4.3%
9	胆のう及びその他の胆道	19	3.6%
10	口唇口腔及び咽頭	14	2.6%
11	膀 胱	11	2.1%
	悪性リンパ腫	11	2.1%
13	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	7	1.3%
14	白 血 病	3	0.6%
15	喉 頭	2	0.4%
	皮 膚	2	0.4%
17	乳 房	1	0.2%
	その他	41	7.8%
計		529	100%

女性

順位	部 位	人 数	割 合
1	胃	57	16.2%
2	結 腸	47	13.4%
3	乳 房	42	11.9%
4	気管、気管支及び肺	32	9.1%
5	膵	27	7.7%
6	卵 巢	20	5.7%
7	肝及び肝内胆管	16	4.5%
8	直腸S状結腸移行部及び直腸	15	4.3%
9	胆のう及びその他の胆道	14	4.0%
	子 宮	14	4.0%
11	悪性リンパ腫	13	3.7%
12	口唇口腔及び咽頭	6	1.7%
13	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	5	1.4%
14	皮 膚	4	1.1%
15	食 道	3	0.9%
	膀 胱	3	0.9%
	白 血 病	3	0.9%
	中枢神経系	3	0.9%
	その他	28	8.0%
計		352	100%

カ 管内の悪性新生物を死因とする死亡者数の推移（部位別）

(人)

	気管、気管支及び肺	胃	結腸	膵	肝及び肝内胆管	乳房	胆のう及びその他の胆道	直腸S状結腸移行部及び直腸	前立腺	食道
H16	135	123	78	50	65	44	33	31	22	29
H17	121	149	72	44	79	26	29	37	30	36
H18	144	136	78	47	82	31	33	38	28	32
H19	145	148	70	60	66	35	38	36	22	35
H20	166	114	79	58	81	32	43	43	18	32
H21	137	132	76	62	75	26	48	30	24	32
H22	167	124	87	81	53	30	38	39	34	30
H23	156	141	92	72	65	52	49	39	29	28
H24	133	125	95	80	55	50	40	52	36	32
H25	141	138	89	59	76	43	33	38	41	33

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

キ 各種がん検診の受診率

(平成25年度)

		胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん	乳がん
		受診率		受診率		受診率		受診率	受診率
平塚市	男	6.9%	5.6%	32.8%	29.4%	9.3%	8.5%	27.2%	15.2%
	女	4.8%		27.6%		8.1%			
大磯町	男	3.7%	3.5%	11.7%	14.2%	12.5%	15.4%	6.0%	7.9%
	女	3.4%		16.4%		18.1%			
二宮町	男	2.1%	2.1%	22.1%	23.9%	22.4%	24.9%	5.9%	11.4%
	女	2.1%		25.2%		26.8%			
神奈川県			5.0%		10.2%		14.8%	27.3%	24.3%

※「平成25年度地域保健・健康増進事業報告」(各市町報告及び厚生労働省)。

・対象、検診

- 胃がん 40歳以上・問診及び胃部エックス線検査
- 肺がん 40歳以上・胸部エックス線検査
- 大腸がん 40歳以上・問診及び便潜血検査
- 子宮がん 20歳以上・頸部検診
- 乳がん 40歳以上・視触診方式及びマンモグラフィ

・受診率

- 胃がん、肺がん及び大腸がん
受診者数／対象者数
- 子宮がん及び乳がん
(前年度の受診者数＋当年度の受診者数－2年連続の受診者数)／当年度の対象者数

ク 年次別乳児死亡数

区分	昭和45年		昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	49	10.5	41	8.7	27	7.1	14	4.3	13	4.5
平塚市	42	11.2	35	9.2	21	6.7	12	4.5	11	4.6
大磯町	2	4.3	2	4.3	4	11.8	1	3.4	0	0.0
二宮町	5	10.8	4	9.4	2	5.6	1	3.3	2	7.4

区分	平成7年		平成12年		平成15年		平成18年		平成19年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	16	5.5	11	3.9	12	4.5	4	1.5	7	2.7
平塚市	15	6.2	11	3.9	9	3.9	4	1.8	6	2.8
大磯町	0	0.0	0	0.0	1	5.4	0		1	4.4
二宮町	1	3.6	0	7.9	2	9.1	0	0.0	0	0.0

区分	平成20年		平成21年		平成22年		平成24年		平成25年	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
管内	5	2.0	3	1.2	5	2.0	3	1.3	4	1.8
平塚市	3	1.4	2	0.9	5	2.4	3	1.6	3	1.6
大磯町	1	4.3	1	5.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
二宮町	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

※乳児死亡率＝年間乳児死亡数/年間出生数*1,000

(5) 婚姻

月別婚姻数

(平成25年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	1,456	96	110	169	122	127	118	127	117	73	100	171	126
平塚市	1,257	88	88	141	113	114	94	110	97	64	83	150	115
大磯町	116	5	9	17	7	6	18	9	14	4	9	12	6
二宮町	83	3	13	11	2	7	6	8	6	5	8	9	5

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(6) 離婚

月別離婚数

(平成25年)

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
管内	563	47	49	65	46	33	46	54	40	38	59	38	48
平塚市	470	40	41	55	39	28	38	43	31	34	49	31	41
大磯町	50	4	5	5	5	4	5	5	3	4	3	4	3
二宮町	43	3	3	5	2	1	3	6	6	0	7	3	4

(県健康増進課「神奈川県衛生統計年報」より)

(7) 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶実施件数

(平成26年度)

区分	総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上
総数	350	54	76	67	63	53	31	6	0
満7週以前	156	23	24	34	30	28	13	4	0
満8～11週	192	31	52	33	32	25	17	2	0
満12～15週	0	0	0	0	0	0	0	0	0
満16～19週	1	0	0	0	1	0	0	0	0
満20～21週	1	0	0	0	0	0	1	0	0

(平塚保健福祉事務所調べ。)

4 市町における健康診査実施状況

(1) 母子保健関係

ア 4か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,130	2,055 (96.4)	1,820
平塚市	1,803	1,739 (96.5)	1,561
大磯町	176	173 (98.3)	139
二宮町	151	143 (94.7)	120

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)									合計
	発達問題	体重増加・発育	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	泌尿器科疾患	その他	
合計	10	9	1	3	3	15	33	6	7	87
平塚市	2	5		3	3	7	30	2	4	56
大磯町	7		1			3	1	3	2	17
二宮町	1	4				5	2	1	1	14

イ 1歳6か月児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,320	2,211 (95.3)	2,023
平塚市	1,924	1,825 (94.9)	1,693
大磯町	225	217 (96.4)	193
二宮町	171	169 (98.8)	137

区分	要精検・要医療・要観察の内訳 (延人数)										合計
	発達問題	発育問題	眼科疾患・視覚	耳鼻疾患・聴覚	呼吸器循環器	整形外科疾患	皮膚疾患	腎疾患 疑い	その他	精神面	
合計	7	19	1	0	2	2	3	3	2	191	230
平塚市	6	17	1		2	2	1	3	2	150	184
大磯町		2					2			12	16
二宮町	1								0	29	30

ウ 3歳児健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	問題なし
合計	2,487	2,340 (94.1)	2,171
平塚市	2,059	1,923 (93.4)	1,806
大磯町	248	230 (92.7)	214
二宮町	180	187 (103.9)	151

区分	要精検・要医療・要観察の内訳（延人数）										
	発達問題	発育問題	眼科疾患 ・視覚	耳鼻疾患 ・聴覚	呼吸器 循環器	整形外科 疾患	皮膚疾患	尿検査・ 腎疾患	その他	精神面	合計
合計	3	14	3	0	0	1	0	11	0	155	187
平塚市	3	13	2			1		10		118	147
大磯町										2	2
二宮町		1	1					1		35	38

(2) 歯科保健関係

ア 1歳6か月児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類（内訳）				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,320	2,211 (95.3)	46 (2.1)	40	4		2	118	0.05
平塚市	1,924	1,825 (94.9)	42 (2.3)	38	2		2	107	0.06
大磯町	225	217 (96.4)	2 (0.9)		2			8	0.04
二宮町	171	169 (98.8)	2 (1.2)	2				3	0.02

イ 2歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類（内訳）				う蝕総数	一人平均 う蝕数
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型		
合計	2,351	1,483 (63.1)	88 (5.9)	72	12	1	3	254	0.17
平塚市	1,959	1,111 (56.7)	59 (5.3)	50	7		2	182	0.16
大磯町	214	197 (92.1)	16 (8.1)	12	3	1		40	0.20
二宮町	178	175 (98.3)	13 (7.4)	10	2		1	32	0.18

ウ 3歳児歯科健康診査の結果

区分	対象数	受診数 (率)	う蝕り 患者数 (率)	う蝕の型別分類(内訳)				
				A型	B型	C ₁ 型	C ₂ 型	D型 (再掲)
合計	2,487	2,336 (93.9)	375 (16.1)	274	86	3	12	55
平塚市	2,059	1,923 (93.4)	319 (16.6)	231	73	3	12	49
大磯町	248	226 (91.1)	38 (16.8)	28	10			4
二宮町	180	187 (103.9)	18 (9.6)	15	3			2

区分	う歯総数	う歯の状況		一人平均 う歯数
		未処置歯 数	処置歯数	
合計	1,246	974	272	0.53
平塚市	1,079	841	238	0.56
大磯町	119	89	30	0.53
二宮町	48	44	4	0.26

(注) う蝕の型別分類

- A 型: 上顎乳前歯部のみ又は乳臼歯部のみとう蝕がある者
- B 型: 上顎乳前歯部及び乳臼歯部とう蝕がある者
- C₁型: 下顎乳前歯部のみとう蝕がある者
- C₂型: 下顎乳前歯部と他部位とう蝕がある者
- D 型: 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自の分類で、重度う蝕児として再掲する。)

5 各種委員会委員

(1) 湘南西地区保健医療福祉推進会議委員

<企画調整課>

区 分	氏 名	所属機関名	役職名
医 療 関 係 団 体	武 川 慶 孝	(社) 平塚市医師会	会長
	安 部 信 三	(社) 秦野伊勢原医師会	会長
	山 田 眞 一	(社) 中郡医師会	会長
	小 林 通 宏	(社) 平塚歯科医師会	会長
	大 塚 哲 也	(社) 秦野伊勢原歯科医師会	会長
	今 井 裕 久	(社) 平塚中郡薬剤師会	会長
	神 原 章 喜	NPO法人 秦野市薬剤師会	会長
	橋 口 章	(社) 伊勢原市薬剤師会	会長
	金 井 歳 雄	平塚市民病院	病院長
	高 畑 武 司	伊勢原協同病院	病院長
福 祉 関 係 団 体	金 田 和 子	(社福) 平塚市社会福祉協議会	会長
	藤 村 和 静	(社福) 秦野市社会福祉協議会	会長
	出 縄 守 英	(社福) 進和学園サンメッセしんわ	総合施設長
	伊 藤 崇 博	(社福) 常成福祉会	専務理事
	水 島 米 子	(社福) つちや社会福祉会	理事長
	長 本 貞 光	(社福) 湘南福祉センター	理事長
保 健 医 療 福 祉 関 係 団 体	真 壁 あけみ	食生活改善推進団体ママの会	会長
	太 田 眞 人	平塚労働基準監督署	署長
	石 田 有 信	平塚市健康・こども部	部長
	齋 藤 敦 匡	秦野市こども健康部	部長
	坂 間 敦	伊勢原市保健福祉部	部長
	佐 野 慎 治	大磯町町民福祉部	部長
	西 山 淳 一	二宮町健康福祉部	部長
	森 英 夫	中教育事務所	所長
保 健 福 祉 事 務 所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所	所長
	南 出 純 二	平塚保健福祉事務所秦野センター	所長

(2) 平塚保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議

ア 継続看護連絡会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関	職 名 等
医 療 機 関	田代 眞由美	平塚市民病院	看護部長
	浅沼 絵美		退院支援医療相談室長
	石井 美千代		感染管理認定看護師
	橋本 末子	平塚共済病院	看護部長
	川崎 進		感染管理認定看護師
	林 洋子	済生会平塚病院	看護部長
	根津 美保		感染管理認定看護師
	堀本 久美子	くらた病院	看護師長
	木佐木 みな子	研水会平塚病院	看護部長
	五十嵐 範子	研水会高根台病院	看護部長
	福島 みち子		師長
	広沢 美和子	平塚十全病院	看護部長
	尾田原るい子		企画調整室主幹
	小岩 正子	清風会富士見台病院	看護部長
	錦織 涼子	ふれあい平塚ホスピタル	看護部長
	長野 広敬	東海大学医学部附属大磯病院	看護部長
関 光子	東海大学医学部附属大磯病院	看護師長	
手島 芳江	東海大学医学部附属大磯病院	感染管理認定看護師	
訪 問 看 護 ステーション	植原 幸子	しんど訪問看護ステーション	管理者
	真間 あけみ	平塚市医師会訪問看護ステーション	所長
	高橋 久美子	医療生協かながわ生活協同組合訪問看護ステーションひらつか	管理者
	三橋 朋美	済生会平塚訪問看護ステーション	所長
	山本 節子	あさひの郷訪問看護ステーション	所長
	齋藤 明子	へいあん訪問看護平塚	所長
	小浅 恵美	平塚共済病院 訪問看護ステーションさくら	所長
	後藤 光栄	平塚共済病院 訪問看護ステーションさくら	主任
	相田 淑子	特定非営利活動法人KOKORO 訪問看護ステーションひかり	管理者
	鈴木 多加子	サン・ライフ訪問看護ステーション	管理者
	岩本 智恵美	SMC訪問看護ステーションさなだ	副所長
	大谷 一世	ユーマーナーシング	管理者
	水間 晃	ユーマーナーシング	事務
	金谷 益子	宝命訪問看護ステーション	管理者
	芹田 三保	つるかめ訪問看護ステーション	管理者
	都築 理恵	神奈川県看護協会おおいそ訪問看護ステーション	所長
	岸 博美	りんどうリハビリ看護ステーション	管理者
	青木 伸也	オリーブ訪問看護ステーション・二宮	管理者
	武久 旬子	ケアーズ訪問看護リハビリステーション平塚	管理者
千葉 志津	つながり訪問看護	管理者	
福岡 知子	訪問看護ステーションはあと	管理者	
上田 沙弥子	百年の杜訪問看護ステーション	管理者	

地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	小 島 宏 美	平塚市地域包括支援センターあさひ	保健師	
	渡 邊 育 子	平塚市地域包括支援センター倉田会	保健師	
	皆 木 基	平塚市地域包括支援センターごてん	看護師	
	清田 恵美子	平塚市地域包括支援センターサンレジデンス湘南	看護師	
	岩 田 敏 子	平塚市地域包括支援センターとよだ	保健師	
	熊 澤 和 美	平塚市地域包括支援センターひらつかにし	看護師	
	松 原 理 恵	平塚市地域包括支援センター富士白苑	保健師	
	宮坂 友吏子	平塚市地域包括支援センター富士白苑	保健師	
	小 峰 和 代	平塚市地域包括支援センターゆりのき	看護師	
	有 賀 敦 子	大磯町地域包括支援センター	保健師	
	西 野 邦 子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター	看護師	
市 町	香川 百合子	平塚市	健康課	主査
	佐 草 牧 恵		介護保険課	主査
	大 内 康 子		高齢福祉課	主査
	原 田 浩 子		障がい福祉課	主管
	坂 田 恭 子		保険年金課	主管
	田 辺 宏 美		子ども家庭課	主査
	吉 田 敏 美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹
	中 舘 恵 利 子	二宮町	子ども育成課	技幹
	田 代 宏 美		健康長寿課	副技幹
	釦 持 由 希 子		保険医療課	保健師
	保 健 福 祉 事 務 所	菊 間 博 子	平塚保健福祉事務所 保健福祉部	部長

イ 難病委員会 <保健予防課>

区分	氏名	所属機関		職名等
医師会	上野 善則	平塚市医師会		理事
	脇 和雄	中郡医師会		副会長
医療機関	進藤 厚子	平塚市民病院	病棟	看護師
	浅沼 絵美		医療相談室	看護師
	綿引 朋子	平塚共済病院 医療連携支援センター		医療ソーシャルワーカー
	朝永 朝子	東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター		医療ソーシャルワーカー
訪問看護 ステーション	齋藤 明子	ひらつか地域介護システム会議 訪問看護連絡会		看護師
	青木 伸也	中郡訪問看護連絡協議会		代表（保健師）
訪問介護	前田 由美子	ひらつか地域介護システム会議 訪問介護部会		介護福祉士
	井出 佐智子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会 訪問介護部会		代表
居宅介護 支援事業 所	山田 いづみ	ひらつか地域介護システム会議 居宅介護支援事業所連絡会		代表
	青柳 留美子	湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会		代表
地域包括 支援 センター	沼元 徳子	平塚市地域包括支援センターゆりのき		主任介護支援専門員
	有賀 敦子	大磯町地域包括支援センター		保健師
	西野 邦子	二宮町社会福祉協議会 地域包括支援センター		看護師
市 町	原田 浩子	平塚市	障がい福祉課	主管（保健師）
	大塚 敬三	平塚市	高齢福祉課	（理学療法士）
	吉田 敏美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹（保健師）
	斉藤 浩二		福祉課	係長
	田代 宏美	二宮町	健康長寿課	班長（保健師）
	大曾根 茉莉		福祉課	主事
保健福祉 事務所	菊間 博子	平塚保健福祉事務所		保健福祉部長

ウ 母子保健委員会委員名簿 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関		職 名 等
医 師 会	中 村 千 里	平塚市医師会		小児科部会員
	尾 形 慶			産婦人科部会員
	竹 末 良 三	中郡医師会		理事
歯 科 医 師 会	山 澤 秀 雄	平塚歯科医師会		公衆衛生担当理事
医 療 機 関	前 田 宣 紘	前田産婦人科		院長
	遠 藤 純 子			助産師
	小 清 水 勉	小清水産婦人科クリニック		院長
	日 浦 由 美 子			助産師
	鶴 原 た み 子	ひまわりレディース&マタニティクリニック		助産師
	竹 埜 格 子	平塚市民病院	産婦人科	看護科長代理兼看護師長
	藤 田 サ ヤ カ		退院支援・医療連携室	医療ソーシャルワーカー
市 町	宮 川 康 樹	平塚市	健康課	課長
	松 本 奈 美			主管
	大 野 勉		こども家庭課	課長
	信 國 希 和 子	主査		
	小 島 由 起 子	大磯町	スポーツ健康課	課長
	瀬 戸 克 彦		子育て支援課	課長
	松 本 幸 生	二宮町	子ども育成課	課長
児 童 相 談 所	野 坂 正 径	平塚児童相談所	子ども支援課	課長
	宮 崎 晃 子			副技幹
保 健 福 祉 事 務 所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所		所長

エ 地域食生活対策推進協議会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名	職 名 等
労 働 衛 生	廣 澤 正 子	神奈川労務安全衛生協会	副事務局長
事 業 所	和 田 俊 二	日産車体株式会社本社工場	人事部主管
	榎本 茂樹	大磯プリンスホテル	管理マネージャー
	中 野 みどり	田中貴金属工業株式会社平塚工場	健康管理室（看護師）
	鈴木 陽子	株式会社サンユウ	栄養衛生課長（管理栄養士）
関 係 団 体	高 橋 暁 子	地域活動栄養士 菜の花会	会長
	真壁 あけみ	食生活改善推進団体 ママの会	会長
行 政	宮川 康樹	平塚市健康課	課長
	小嶋 由起子	大磯町スポーツ健康課	課長
	戸丸 隆司	二宮町保険医療課	課長
学 識 経 験 者	秋吉 美穂子	文教大学健康栄養学部	准教授
保健福祉事務所	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所	所長

才 地域精神保健福祉連絡協議会 <保健予防課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名		職 名 等
医 療 関 係	樋口 誠逸	富士見台病院		院長
	大野 史郎	研水会平塚病院		院長
地 域 関 係 機 関 団 体	会 員	当事者会		代表
	谷田川 靖子	湘南あゆみ会		代表
	田中 直人	NPO法人平塚市精神障害者地域生活支援連絡会		理事長
	尾上 貴昭	ジョブコーチ大磯		施設長
	小沢 貞雄	精神保健福祉ボランティアグループこんぺいとう		代表
	大久保 一雄	サンシティひらつか		所長
	萩原 勝己	社会福祉法人素心会地域支援センターそしん		センター長
	堀内 禎晋	医療法人研水会ボラリス		施設長
	村田 剛	ほっとステーション平塚相談支援事業		管理者
	和田 吉司	湘南平塚断酒新生会		会長
	竹澤 光史	平塚市社会福祉協議会		事務局長
	木内 健太郎	大磯町社会福祉協議会		事務局長
	岡本 康則	二宮町社会福祉協議会		会長
	市 町	大野 富雄	平塚市	障がい福祉課
小島 昇		大磯町	福祉課	主幹
佐竹 大介		二宮町	福祉課	副主幹
県	晝場 壽代	精神保健福祉センター 調査・社会復帰課		課長
保 健 福 祉 事 務 所	竹村 隆夫	平塚保健福祉事務所		所長
	菊間 博子	平塚保健福祉事務所	保健福祉部	部長

カ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会 <保健福祉課>

区 分	氏 名	所 属 機 関 名		職 名 等
関 係 団 体	宮 本 成 彦	(一社)平塚歯科医師会		常務理事
	浅 井 玲 子	平塚地域歯科衛生士の会		会長
	中 尾 圭 作	(平塚市)		8020運動推進員
	杉 山 美 代 子	(大磯町)		8020運動推進員
	関 谷 文 子	(二宮町)		8020運動推進員
子 育 て 関 係 機 関	和久井 葉子	平塚市子ども家庭課		総括
行 政	鎌 田 安 之	平塚市	高齢福祉課	課長代理
	多 田 明 子			嘱託
	岡 田 博		健康課	課長代理・健康づくり担当長
	小 山 朱 美	主査		
	吉 田 敏 美	大磯町	スポーツ健康課	副技幹
	釧 持 由 起 子	二宮町	保険医療課	保健師
	金 城 美 栄 子		子ども育成課	嘱託
	竹 村 隆 夫	平塚保健福祉事務所		所長

6 職員研究論文等一覧

(1) 職員の研究会・学会等発表

演 題 名	発表者名	月 日	会 場	研究会等名称
高齢者施設・障害児者施設等における感染予防対策強化にむけた取組～感染管理認定看護師と取り組む感染予防対策の地域連携～	保健福祉課 岩本 雅子	10月31日	神奈川県総合医療 会館	神奈川県公衆衛生学会
HIV即日検査の陽性告知時相談における保健師の役割	保健予防課 田原 恵	2月13日	看護協会キャリア 研修センター藤沢	地域保健師研究発表会

(2) 作成印刷物

印 刷 物 名	年 月	規格	主 管 課
自殺対策普及啓発用クリアホルダー 成人用・若者用（増刷）	26年6月	A版（両面）	保健予防課
働く人の健康情報冊子 メンタルヘルス版 第3版	26年4月	A版（冊子）	企画調整課
在宅医療・地域包括ケアの推進に係る普及啓発用 リーフレット	27年3月	A 3 三つ折り（両面）	企画調整課

平成26年度 平塚保健福祉事務所年報

平成 27 年11月 発行

編集・発行 神奈川県平塚保健福祉事務所



神奈川県

平塚保健福祉事務所

平塚市豊原町 6-21 〒254-0051 電話 0463(32)0130 (代)

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f47/>